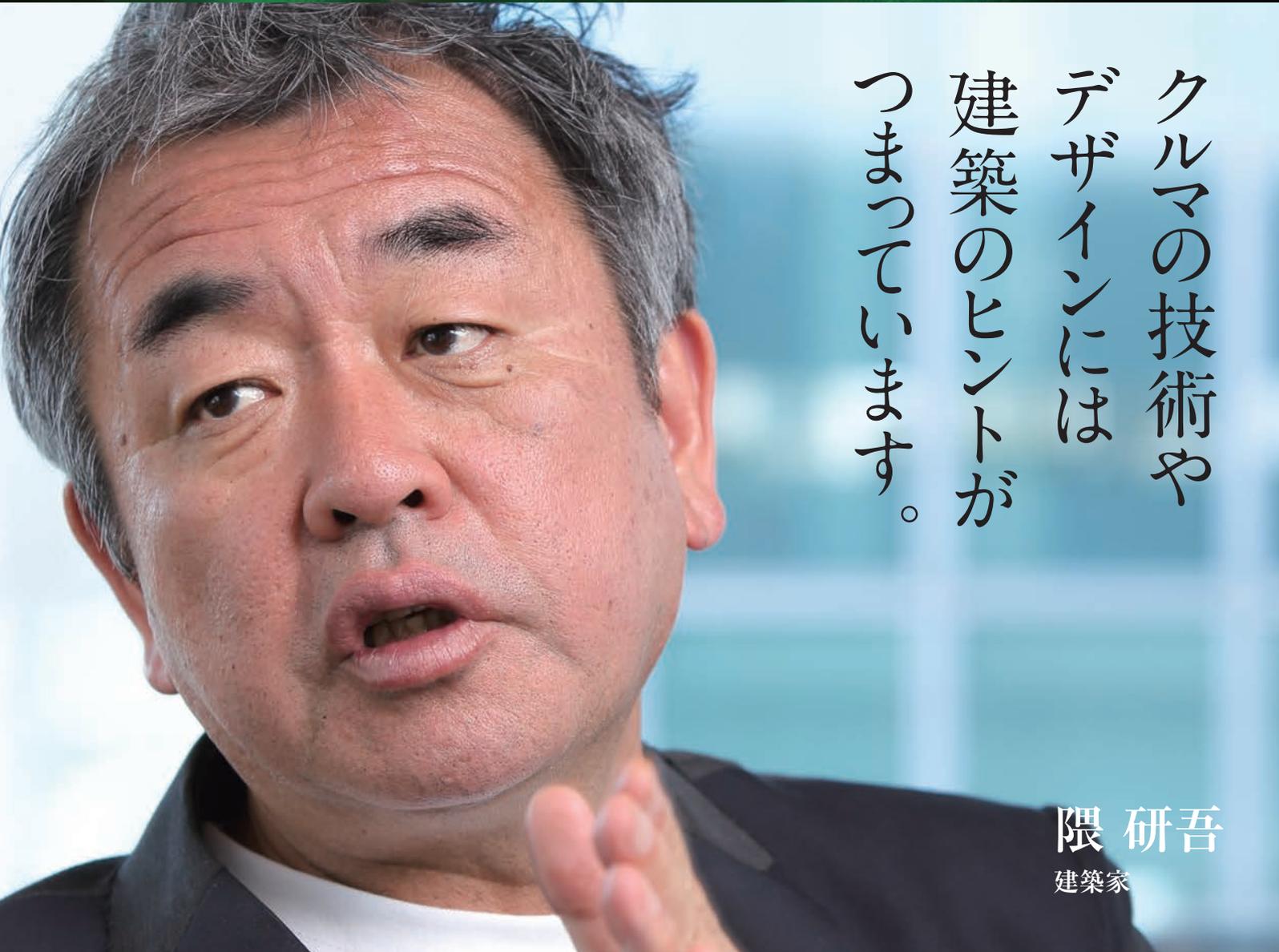


The 44th TOKYO MOTOR SHOW 2015 NEWS 11/4 [WED] Vol.08

行きたいところが
探しやすい!
**目的別
会場マップ
掲載!**



クルマの技術や
デザインには
建築のヒントが
つまっています。

隈 研吾
建築家



たとえば、ガソリンエンジン+電気モーターでダイナミックに走る
まったく新しいプラグインハイブリッドを。
Car-Netなどのスマートフォンと連携した次世代のコントロール機能を。
そして、Polo R WRCはじめモータースポーツで培われたテクノロジーを。
新しい技術でクルマを変えていくことは、
移動の可能性を変え、あなたの生活を少しずつ楽しくしていく。
そんな思いで、フォルクスワーゲンは
これからも最先端の技術を、すべての人に届けていきます。



クルマを変える。
モビリティを変える。
ライフスタイルを変える。

Volkswagen Motor Show 2015

詳しくはコチラ
<http://tms.volkswagen.co.jp/>



Volkswagen. Das Auto.

想いを 超える。

HONDA

The Power of Dreams





ドライバーとクルマの関係を、
もっともっと深いものへと変えていく。

人とクルマが息を合わせる。
走る喜びを分かち合い、深い愛着を覚える。
ともに走り、ともに喜び、ともに生きていく。

クルマは単なる道具ではない。
私たちは、人とひとつになれるクルマをつくっている。

Be a driver.



zoom-zoom





CONTENTS

- 007 **JAMA 会長メッセージ**
一般社団法人 日本自動車工業会 会長 池史彦
「TECHNOLOGY & FANTASY」心躍るような体験を
- 008 第44回 東京モーターショー 2015
「きっと、あなたの心が走り出す。」Your heart will race.
イントロダクション
- 011 **EVENT GUIDE**
11 乗用車同乗試乗会・二輪車試乗会のご紹介
12 シンポジウム・カンファレンスのご紹介
13 ガイドツアーその他のご紹介
14 本日のオススメイベント
- 016 **注目の出展者案内 [東] 編**
16 ホンダ 18 トヨタ 20 スバル 22 三菱自動車 24 スズキ
26 ダイハツ 28 レクサス 30 メルセデス・ベンツ
32 ジャガー・ランドローバー 33 日野自動車
34 トヨタ車体 / ヤマハ 35 デンソー 36 プリヂェストン
38 住友ゴム工業 40 グッドイヤー 41 NTN
42 日立オートモティブシステムズ 44 アルパイン 46 三菱電機
47 シェフラー / 曙ブレーキ 48 富士通 富士通テン
- 050 **特設お食事施設のご紹介**
東京モーターショー・ダイニング/グルメキングダム 2015
- 051 TOKYO BIG SIGHT MAP & EXHIBITORS LIST
東京ビッグサイト会場案内図
東 サービス施設案内
東4 5 6
東1 2 3
東・西全体配置図
西1 2
西3 4
西 サービス施設案内
- 064 **注目の出展者案内 [西] 編**
64 日産 66 マツダ 68 フォルクスワーゲン
70 アウディ 72 バイオニア
73 九都県市首脳会議 環境問題対策委員会 大気保全専門部会

- 074 **SMART MOBILITY CITY 2015**
もっと自由に…クルマが変わる、暮らしが変わる、社会が変わる。
- 076 **注目の出展者案内 [SMC] 編**
76 ナビタイムジャパン
- 078 **東京モーターショー 60年史**
写真とポスターで振り返る60年
- 080 **注目の展示車**
●国産車 ●輸入車 ●二輪車 ●商用車
- 090 **世界に通用する日本人**
[特集企画] 表紙のひとインタビュー
- 092 **出展者ブリーフィングレポート**
10.28~29 プレスブリーフィングアーカイブス
- 096 **TOP NEWS**
昨日のトピックス
- 100 **会場ウォッチング**
Look around TOKYO MOTOR SHOW
- 102 **抽選でプレゼントが当たる! 読者アンケート**
- 103 **わくわくスタンプラリーガイド**
- 104 **たべあるキングがプロデュース
グルメキングダム 2015**
- 106 **臨海副都心エリアお得なクーポン**

※10月28日発行の01号、10月29日発行の02号は、P92~101までの内容が一部異なります。

■発行
一般社団法人 日本自動車工業会

■制作
株式会社 モーターマガジン社
株式会社 レゾナンス

■総合プロデューサー
近藤正純(パート) (株式会社 レゾナンス)
田中克明 (株式会社 モーターマガジン社)

■プロデューサー
旭形安生 (株式会社 モーターマガジン社)
堀江史朗 (株式会社 CCCカーライフ ラボ)

■総合プランナー / チーフディレクター
多田裕彦 (株式会社 エンターブレイン)

■アートディレクター
さとうだいち (株式会社アズワン)

■表紙撮影
芳賀元昌 (株式会社スタジオロム)

■CGデザイン (会場案内図 / 会場内パネル)
浜口泰昭

■編集チーム
神原久 (株式会社 モーターマガジン社)
千葉知亮 (株式会社 モーターマガジン社)
松本雅弘 (株式会社 モーターマガジン社)
若林葉子 (株式会社 レゾナンス)
籠島康弘 (有限会社 びえいる工場)
谷津正行
深澤誠人
藤野太一 (スタジオジーノ)
松尾大
松本秀哉 (RacerLink Japan)
丸山佳彦

■デザインチーム
ページデザイン
石橋青大 (株式会社アズワン)
金田悠未 (株式会社アズワン)
Studio BOZZ

DTP
株式会社アズワン

カバーデザイン
佐々木博昭 (PRESTO)
池田伸哉 (有限会社イクダシヤ・デザイン事務所)

■撮影チーム
井上雅行 (株式会社 モーターマガジン社写真部)
玉井充 (株式会社 モーターマガジン社写真部)
永元秀和 (株式会社 モーターマガジン社写真部)
伊藤嘉啓
熊倉一光

■広告ディレクター
神戸信英 (株式会社 モーターマガジン社)

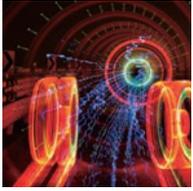
■広告チーム
渡辺孝禎 (株式会社 モーターマガジン社)
神谷朋公 (株式会社 レゾナンス)
向野佑 (株式会社 CCCカーライフ ラボ)
湯浅伸一郎 (株式会社 CCCカーライフ ラボ)

■翻訳チーム
[英語版] 数賀山まり
[中韓版] 株式会社 メリットファイブ
凸版印刷 株式会社

■取材協力
JAXA 宇宙航空研究開発機構

■協力
臨海副都心まちづくり協議会
株式会社 電通

■印刷
凸版印刷 株式会社



Chairman's Message

東京ビッグサイトに会場を移して3回目となる「第44回東京モーターショー2015」は、10月29日(木)から11月8日(日)までの11日間に渡って開催いたします。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催が近づき、世界から東京への視線は熱くなるばかりです。この様な中、今回の東京モーターショーは、「きっと、あなたのココロが走り出す」(“Your heart will race.”)をテーマに、世界一の“テクノロジー・ショーケース”を目指しております。

出展は、国内すべての乗用車・商用車・二輪車メーカーに加え、FCA(フィアット・クライスラー・オートモービルズ)グループの8年ぶりの復帰や、フランスのDSブランド初出展、等、前回以上に多くの海外ブランドが集結します。ワールドプレミア(世界初発表)は75台、ジャパンプレミア(日本初発表)は68台が予定されております。

3回目を迎えます主催者テーマ事業「SMART MOBILITY CITY2015」では、テーマパークの装いで近未来の「明日の街」をお見せします。併せて、自動運転をテーマとした国際シンポジウムを開催し、2020年に向けての我々の“自動運転ビジョン”を発表いたします。

ホスピタリティの向上も図りました。「会場内無料シャトルバス」の運行と、行きたいブースへのナビゲーションや混雑具合等が確認できる公式総合アプリ「TMS Mobile」の導入です。

多くの方々にご来場いただき、心躍るような体験をしていただきたいと思います。

心躍る世界一の
”テクノロジー・
ショーケース”を
ご覧ください

Profile

1952年生まれ。1982年本田技研工業㈱入社。事業管理本部長、常務取締役、アジア・大洋州本部長、取締役専務執行役員事業管理本部長兼IT本部長などを歴任し、2013年に本田技研工業㈱代表取締役会長に就任、現在に至る。

一般社団法人
日本自動車工業会会長

池 史彦
(いけ ふみひこ)





The 44th TOKYO MOTOR SHOW 2015



世界一のテクノロジー・モーターショーをめざす
東京モーターショー。1954年に第1回を開催してから
60年以上の歴史を重ねてきました。
今回のテーマは「TECHNOLOGY×FANTASY」を
コンセプトに、ご来場いただくお客さまにとって
最新テクノロジーとの出会いによる、心躍るような体験を
お届けする場にしたいという思いを表現しています。

一般公開日：**10/30**[金] → **11/8**[日]

10/30 [金] 12:30-20:00 月曜日 - 土曜日、祝日 10:00-20:00 日曜日 10:00-18:00

きっと、あなたのココロが走り出す。
Your heart will race.

開催概要

第44回東京モーターショー2015 [The 44th Tokyo Motor Show 2015]

主催：一般社団法人 日本自動車工業会 (JAMA)

共催：一般社団法人 日本自動車部品工業会 (JAPIA)

一般社団法人 日本自動車車体工業会 (JABIA)

一般社団法人 日本自動車機械器具工業会 (JAMTA)

日本自動車輸入組合 (JAIA)

入場券のご案内

※詳しくはオフィシャル Web サイトをご参照ください。

	当日券	アフター4入場券
一般	1,600円	700円
高校生	500円	200円
中学生以下	無料	無料

※障がい者手帳をお持ちの方 (要手帳提示)：本人及びび付添者1名 (車いすの場合2名まで) 無料

アフター4入場券：日曜日を除く16時以降入場可能

- 入場券は、コンビニエンスストア、公共交通機関、主要旅行代理店、各種プレイガイドで発売しています。
- 国内外どこからでもインターネットで第44回東京モーターショー2015の入場券を購入することができます。
- また、スマートフォン・タブレット端末向けに、入場券を画面に表示して入場できるサービスもございます。
- 事前登録制のイベント参加券付入場券も販売しております。

ご購入は <http://www.tokyo-motorshow.com/> で!



「東京ビッグサイト」で開催!

ご来場は、公共交通機関のご利用をお願い致します。

会場へのアクセス (所要時間はおよその目安です)

■りんかい線 (「国際展示場」駅下車 徒歩約7分)

大崎駅 (JR) ← 13分 → 国際展示場駅 ← 5分 → 新木場駅 (JR、東京メトロ)
※大崎駅よりJR埼京線に接続。国際展示場から渋谷 (約20分)、
新宿 (約25分)、池袋 (約31分)、大宮 (約56分)、川越 (約78分) の各駅
を直接結びます。

■ゆりかもめ (「国際展示場正門」駅下車 徒歩約3分)

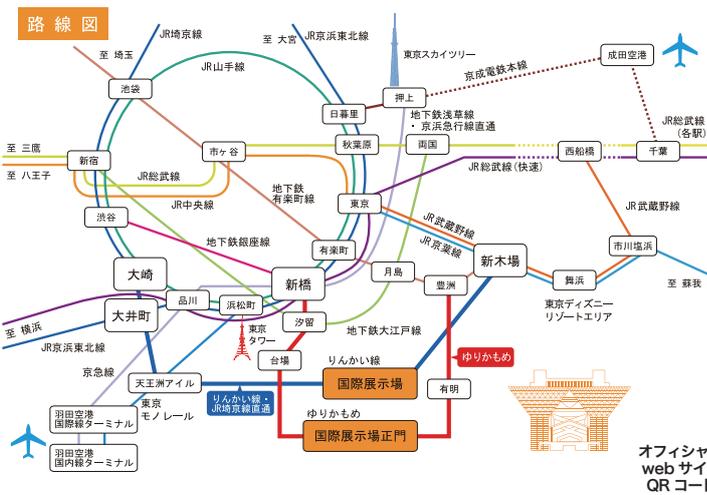
新橋駅 (JR、東京メトロ、都営地下鉄) ← 22分 → 国際展示場正門駅
豊洲駅 (東京メトロ) ← 8分 → 国際展示場正門駅

■路線バス (東京ビッグサイト・中央ターミナル)

- [都営バス] 東京駅八重洲口 (東16系) から約40分
東京駅丸の内南口 (都05系) から約40分
門前仲町 (門19系) から約30分
- [km フラワーバス] 浜松町駅から約40分
- [京急バス] 横浜駅東口から約50分
- [空港バス] 羽田空港 (リムジンバス、京急バス) から約25分
成田空港 (リムジンバス) から約60分 (東京ベイ有明フシントンホテル発着)

■水上バス (有明客船ターミナル 下船 徒歩約2分)

日の出桟橋 (JR浜松町駅から徒歩約7分) から約30分
※不定期運行のため運行状況はWebサイト等でご確認ください。



お問い合わせ
**東京モーターショー
東京ビッグサイト事務局**

TEL:03-5530-1315 受付時間 平日 9:00-17:00 (会期中は開催時間内)

JAMA 一般社団法人 日本自動車工業会 千105-0012
JAPAN AUTOMOBILE MANUFACTURERS ASSOCIATION, INC. 東京都港区芝大門1-1-30
日本自動車会館

オフィシャル
web サイト
QRコード



特別企画

1 乗用車同乗試乗会・二輪車試乗会

日本自動車ジャーナリスト協会(AJAJ)の会員やインストラクターによる同乗試乗会。解説を聞きながら、クルマ本来の性能を体感していただくことを目的に屋外展示場特設コースで行う「乗用車同乗試乗会」と、ご自身で運転していただける「二輪車試乗会」を開催します。

プロの運転による乗用車同乗試乗会

【日程】

10月29日(木) 14:30～16:30
10月30日(金) 12:30～16:30
10月31日(土)～11月3日(火・祝) 10:00～16:30

【参加ブランド】 トヨタ、レクサス、日産、ホンダ、マツダ、三菱、スバル、スズキ、ダイハツ、アウディ、BMW、MINI、シトロエン、DS、プジョー、ジャガー、ランドローバー、メルセデス・ベンツ、ボルシェ、ルノー、フォルクスワーゲン、BRPの22ブランドから38台



二輪車試乗会

当日受付の先着順による試乗券でご試乗いただけます。

【日程】

11月5日(木)～11月8日(日)
各日 10:00～17:00
※日没前に終了

【参加ブランド】 スズキ、ホンダ、ヤマハ、INDIAN、BMW、VICTORYの6ブランドから28台



関連企画

トミカコーナー [西3]

2001年開催の第35回ショー以来、子供から絶大な人気を誇る、トミカの展示・販売コーナー。毎回恒例の東京モーターショー開催記念モデル「トミカ」12車種をはじめ、ディズニーモーターズなどを販売。
(協賛：株式会社タカラトミー)



2 東京モーターショーシンポジウム 2015

【会議棟6階】

クルマをめぐる社会的に関心の高いテーマを採り上げます。

日時	実施者	テーマ	会場
11月3日(火) 事前登録者優先 14:00～15:00	一般社団法人 日本自動車工業会	はじめよう!楽しいバイクのある暮らし	605 会議室
11月4日(水) 事前登録者優先 13:00～15:00	国土交通省 自動車局	交通安全のための予防安全技術 ～これからの車両安全対策のなかで～	605 606 会議室
11月7日(土) 事前登録者優先 15:00～16:45	自動車旅行推進機構 (カーたび機構)	カーたびの明日 ～未来のクルマは旅をどう変えるか～	605 606 会議室

※上記は予定のため変更になる場合があります。

3 自動車ジャーナリスト(AJAJ)と巡る東京モーターショー

日本自動車ジャーナリスト協会(AJAJ)の会員がガイドとなり、専門家の視点でモーターショーとクルマの魅力をガイドする事前登録制の有料ツアー。参加者はワイヤレスインカムを付けていただき、会場内でも説明をはっきりと聞くことができます。

4 自動車ジャーナリスト(AJAJ)によるガイダンス付小中学生特別見学

小中学生を対象にした特別見学日を設定。参加校には日本自動車ジャーナリスト協会(AJAJ)の現役ジャーナリストが、ショーの見どころについてガイダンスを行います。

グルメキングダム 2015 [屋外展示場他]

食歩きの達人(グルメプロガー)たちのオールスターチーム「たべえるキング」を活用した、飲食販売ブースを展開。達人自らのネットワークを活かして、全国から超有名飲食店を20店舗誘致。西屋外展示場の試乗会場手前に8店舗、その他会場内各所に12店舗が揃う。



第44回東京モーターショー2015 主催者テーマ事業 SMART MOBILITY CITY 2015

Supported by DUNLOP

もっと自由に…クルマが変わる、
くらしが変わる、社会が変わる。



テストライド (詳細は75ページ)

【西4～トラックヤード、屋上展示場】

「パーソナルモビリティ」、「超小型モビリティ」、「自動運転・高度運転支援システムデモンストレーション」の体験試乗会を、“SMART MOBILITY CITY”の街中から屋外コースまで、さまざまな場所で展開します。

【実施期間】

【パーソナルモビリティ体験走行】
10月29日(木)～11月8日(日)

【超小型モビリティ体験走行】
10月29日(木)～11月8日(日)

【自動運転・高度運転支援システムデモンストレーション】
10月29日(木)～11月8日(日)

※実施期間は変更になる場合があります。

参加メーカー

【パーソナルモビリティ体験走行】トヨタ、ホンダ、WHILL、Ninebot
【超小型モビリティ体験走行】トヨタ、日産、ホンダ、ジード、トヨタ車体
【自動運転・高度運転支援システムデモンストレーション】自動車メーカー各社



エキシビション

企業・団体の出展ブースと主催者による駅や研究所などの展示により、都市とクルマと人々の関わりをリアルに体験できる「明日の街」を創出。クルマの新しい役割や価値、人々のくらしの変化、都市や社会との関わり、夢、楽しさ、喜びを体感いただけます。

カンファレンス

ICTはクルマをどう進化させるのか、新たなデザインの可能性や多様なエネルギー社会への取り組み、自動運転の将来ビジョンなど、クルマ、くらし、社会の変化と新たな関わりを議論します。

SMCカンファレンス (事前登録制)			
11/2(月)	[SMCフォーラム] 「もっと自由に…」クルマが変わる、くらしが変わる、社会が変わる	605-608	会議室
11/6(金)	[SMC国際シンポジウム] 自動運転は、クルマを、くらしを、社会をどう変えていくのか		
読売新聞 未来貢献プロジェクト (事前登録制)			
11/1(日)	[シンポジウム] 「次世代自動車の普及がもたらす、新しい暮らし、新しいビジネス」	605-608	会議室

アドバンス・テクノロジー・セミナー (詳細は75ページ)

SMART MOBILITY CITY 2015 出展者による、技術・システムのプレゼンテーション。
実施者：(一社)電気自動車普及協会、本田技研工業(株)、さいたま市、(株)エフエム東京、(株)ヒット

キッズ・ワークショップ (詳細は75ページ)

次代を担う子供たち(児童・生徒)が対象。クルマと社会の面白さを楽しみながら、明日への夢を思い描いていただきたプログラム。
実施者：日産自動車(株)、(株)ツールズインターナショナル、マブチモーター(株)

※掲載情報は予告なく変更する場合がございます。

使用している写真は過去のものやイメージであり、実際のものとは異なります。イベントおよびシンポジウムなどは予定のため変更・中止になる場合があります。また、これを理由にした入場券の払い戻しは一切行いません。



WHAT WOWS YOU?

Toyota Tokyo Motor Show 2015

人の心を動かすものは何だろう。

いくつもの感情に揺られながら私たちは生きている。

日々とは心が動いたそのぶん輝くものだと思う。

そのためにTOYOTAは何ができるだろう。

世界はものすごいスピードで変化を続けている。

クルマも数十年たつと違う意味のものに

なっているかも知れない。

その変化を見つめるときにふと思った。

いちばん大切なことは、変化を追うだけではなく

変化しないものは何かを

きちんと見極めることなのかも知れないと。

はじめて自分のクルマを持ったときの気持ちを。

知らない道の先に大きな海があったときのうれしさを。

大声で歌いながら帰ったあの日のことを。

大好きだったあの子を乗せたときの柔らかな気持ちを。

クルマがたとえどんな未来を走ろうとも、

TOYOTAはそれを忘れないようにしよう。

そのクルマにはWOWがあるか。

そのクルマの走る世界にはWOWがあるか。

私たちはすべての人の心にWOWをつくるために

ここにいるのだから。

すべての人の心にときめきを。

 **TOYOTA**

最新テクノロジーとの出会いによる、心躍るような体験をしよう。

東京モーターショー EVENT GUIDE

最新車種に乗れるチャンス!

乗って感じる参加型コンテンツ

プロの運転による乗用車同乗試乗会

10月29日(木)～11月3日(火・祝) 6日間

10月29日(木) 14:30～16:30

10月30日(金) 12:30～16:30

10月31日(土)～11月3日(火・祝) 10:00～16:30

日本モータースポーツ推進機構の運営協力による、日本自動車ジャーナリスト協会(AJAJ)のモータージャーナリストやインストラクターによる同乗試乗会です。



クルマ本来の性能を体感していただくことを目的に、会場内のクローズドコース(屋外展示場)にて実施します。プロの運転に同乗試乗することで、性能を体感できるだけでなく、特徴などの解説もお聞きいただけます。参加方法は当日受付での抽選となります。

二輪車試乗会

11月5日(木)～11月8日(日) 4日間

各日10:00～17:00

会場内のクローズドコース(屋外展示場)にて行われる二輪車試乗会では、ご自身でハンドルを握って各メーカーの最新モデルを試乗し、その性能を体感していただくことができます。



試乗会場にはビギナー向けの専用コースも設けていますので、ビギナーの方も安心して試乗できます。なお、安全確保のため、日没前終了となりますのであらかじめご了承ください。参加方法は当日受付による先着順となります。

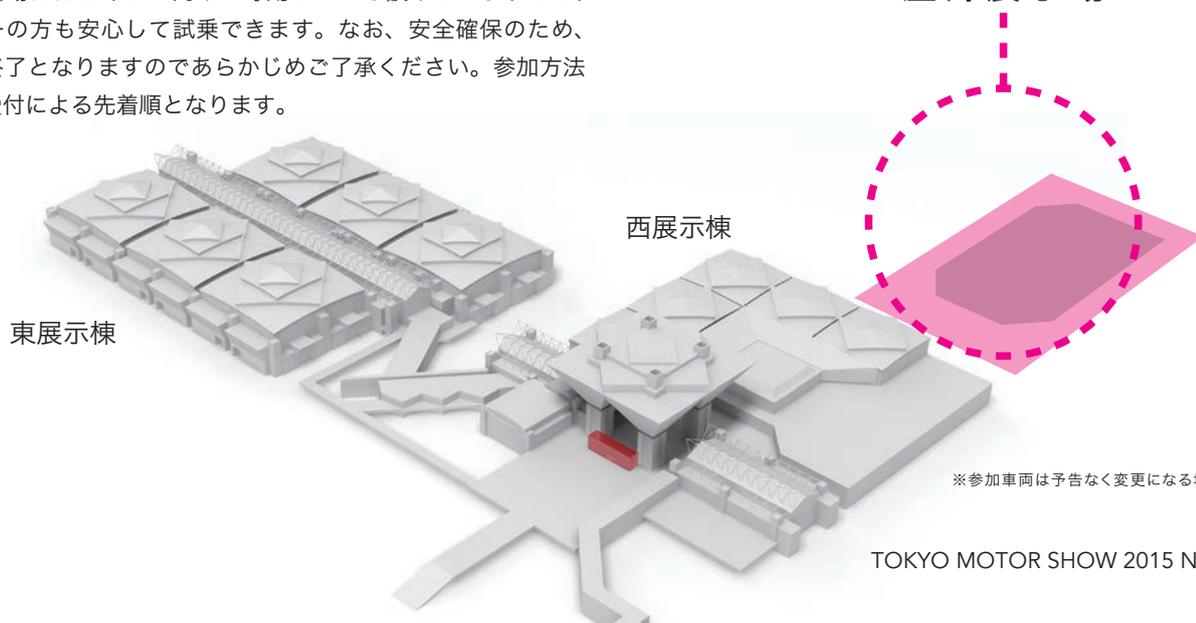
乗用車同乗試乗会 試乗車両

トヨタ	MIRAI	G's AQUA
レクサス	RC300h	—
日産	日産リーフ	ジューク NISMO RS
ホンダ	S660	—
マツダ	ROADSTER	ROADSTER
三菱	アウトランダー PHEV	アウトランダー
スバル	LEVORG	インプレッサ SPORT HYBRID
スズキ	アルト ターボ RS	スイフトスポーツ
ダイハツ	COPEN Cero	キャスト スポーツ
アウディ	Audi A3 Sportback e-tron	Audi A3 Sportback e-tron
BMW	BMW i3	—
MINI	MINI COOPER S 5 DOOR	MINI COOPER SD CROSSOVER ALL4
シトロエン	CITROËN C4	CITROËN GRAND C4 PICASSO
DS	DS 3	DS 3 CABLIO
プジョー	PEUGEOT 308 GT Line	PEUGEOT RCZ GT Line
ジャガー	XE	—
ランドローバー	レンジローバー イヴーク	—
メルセデス・ベンツ	B-Class	V-Class
ボルシェ	Panamera S E-Hybrid	—
ルノー	ルノー ルーテシア	ルノー キャブチャーター
フォルクスワーゲン	Golf GTE (PHEV 車)	Golf GTI (M/T 車)
BRP	Can-Am Spyder RT-S	Can-Am Spyder RT LTD

二輪車試乗会 試乗車両

スズキ	隼(ハヤブサ)、GSX-S1000 ABS、GSX-S1000F ABS、GSR250、アドレス 110、グラディウス 400 ABS
ホンダ	CB1300 SUPER BOL D'OR、VFR800X、CB400 SUPER FOUR、CRF250L、NM4-02、CBR250R
ヤマハ	MT-09 TRACER、MT-09、MT-07、MT-25、YZF-R3、TRICITY
INDIAN	Indian Scout、Indian Roadmaster
BMW	R nineT、F 800 R、S 1000 XR、K 1600 GTL Exclusive、C 650 GT、S 1000 RR
VICTORY	Victory Judge、Victory Magnum X1

屋外展示場



※参加車両は予告なく変更になる場合があります。

クルマをめぐる社会的に関心の高いテーマを取り上げる

シンポジウム・カンファレンス

自動運転などのモーターリゼーションの進化は、暮らしや都市との関係を大きく変化させます。東京モーターショー 2015では、クルマをめぐる社会的に関心の高いテーマを取り上げるシンポジウムとカンファレンスを開催します。



東京モーターショーシンポジウム

はじめよう! 楽しいバイクのある暮らし

11月3日(火・祝)
14:00~15:00
会議棟 6階
605会議室
一般社団法人
日本自動車工業会

これからバイクに乗りたいと思っている人が、「危険だから乗らない方がいい」との周りの声に対し、「これなら安心して乗ることができる、大丈夫だ!」と思える話題やライディング方法を伝授します。
二輪ジャーナリスト兼ライディング・インストラクターの宮城光氏と、「二輪車乗車と脳の活性化の関係」についての研究結果を発表された東北大学・川島教授のお二人が、現役ベテランライダーとしての経験を交えつつ、賢くライディングする秘訣や運転技量を向上させるトレーニング法などをトークします。

発表者 宮城 光 (二輪ジャーナリスト兼ライディング・インストラクター)
川島 隆太 (東北大学加齢医学研究所 所長)

交通安全のための予防安全技術~これからの車両安全対策のなかで~

11月4日(水)
13:00~15:00
会議棟 6階
605・606会議室
国土交通省

近年、衝突安全技術に加え、予防安全技術が充実したクルマが続々と登場してきています。それでは、さまざまなクルマから「より安全なクルマ」を選ぶにはどうしたら良いのでしょうか? このシンポジウムでは、最新の予防安全技術とその性能評価などについて、今後の方向性も含め、分かりやすくご紹介いたします。

コーディネーター 室山 哲也 (日本放送協会 解説委員室 解説委員)
講演者・パネリスト 高橋 信彦 (一般社団法人 日本自動車工業会)
久保田 秀暢 (国土交通省 自動車局 技術政策課 国際業務室長)
パネリスト 鎌田 実 (東京大学 高齢社会総合研究機構 機構長・教授)
森山 みずほ (モータージャーナリスト)
鳥塚 俊洋 (株式会社 JAF メイト社 編集部 編集長)

カーたびの明日 ~未来のクルマは旅をどう変えるか~

11月7日(土)
15:00~16:45
会議棟 6階
605会議室
自動車旅行推進機構

エコカー、自動運転、超小型モビリティなど自動車自体の技術革新や情報通信技術の高度化などは、クルマのあり方ばかりでなく、人々のライフスタイルや社会構造をも変革しようとしています。こうしたなか、未来のクルマの旅はどう変わるのか、クルマや旅の愛好家、専門家の方々に考えていただきます。

コーディネーター 飯田 裕子 (モータージャーナリスト)
パネリスト 中島 秀之 (はこだて未来大学学長)
後 智仁 (クリエイティブディレクター/アートディレクター)
川内 イオ (エディター/ライター)

SMART MOBILITY CITY カンファレンス

SMC国際シンポジウム

自動運転は、クルマを、くらしを、社会をどう変えていくのか

11月6日(金)
10:30~17:10
会議棟 6階
605-608会議室

「自動運転」に係る日米欧の技術者・有識者による国際シンポジウムです。国内外の行政・企業・研究機関等専門家の知見を集め、意見を交わし、自動運転の実現性と課題、今後のクルマ、くらし、社会の展望等について、広く世界に情報発信します。

SMCフォーラム

もっと自由に...クルマが変わる、くらしが変わる、社会が変わる

11月2日(月)
10:30~16:20
会議棟 6階
605-608会議室

クルマの進化は、くらしや都市の関わりを大きく変化させつつあります。今東京は大きく変わろうとしています。それは新しい時代のモビリティ都市《SMART MOBILITY CITY》のグローバル・モデルになることでしょう。明日の豊かなクルマと都市とくらしの在り方を、その期待を、そして夢をみんなで語り合しましょう。

読売新聞主催 未来貢献プロジェクト

次世代自動車の普及がもたらす、新しい暮らし、新しいビジネス

11月1日(日)
13:00~16:00
会議棟 6階
605-608会議室

環境・エネルギー問題を解決しうるEV(電気自動車)やFCV(燃料電池車)等の次世代自動車は、日本の自動車産業が世界をリードしている分野です。今後のさらなる普及に向けて、経済産業省や各自動車メーカー等と連携し、課題と可能性について専門家や有識者らが語り合います。



日本自動車ジャーナリスト (AJAJ) と巡る東京モーターショー

10月30日 (金)、11月2日 (月)、11月4日 (水) ~ 6日 (金) の5日間は、日本自動車ジャーナリスト協会 (AJAJ) の会員有志がガイドとなり、専門家の視点でモーターショーとクルマの魅力をガイドする有料ツアーを行います。参加者にはワイヤレス・インカムを付けていただきますので、案内役のジャーナリストの説明を会場内でもはっきりと聞くことができます。参加するには参加券付入場券が必要です。



東京モーターショー
開催記念モデル12車種!

トミカコーナー



第35回ショー (2001年) 以来、子供から絶大な人気を誇る株式会社タカラトミー協賛による、ミニカーの展示・販売です。恒例の東京モーターショー開催記念モデルの「トミカ」12車種 (700円・税込) をはじめ、「ディズニーモーターズ」 (860円・税込) などを販売します。



親子で参加できるレースカー実走行体験

ソープボックスに のってみよう&記録会

NPO法人日本ソープボックスダービーの協力のもと「お客様参加体験型イベント」の一環として、本物のソープボック



ス・レースカーの実走行体験と簡易の記録会を実施します。ブレーキが踏める小学生以上なら誰でも参加でき、乗り方指導等を含めて1回5分程度のお時間でお楽しみいただけます。大人用の車両も用意していますので、親子で参加できるファミリーイベントになります。

小さいお子様向けには、ソープボックスの実車に乗車して、走行映像を見ることによって、レースの雰囲気を楽しむことができます。ソープボックス・シミュレーターをご用意しています。

食べ歩きの人「たべあるキング」プロデュース

グルメキングダム2015

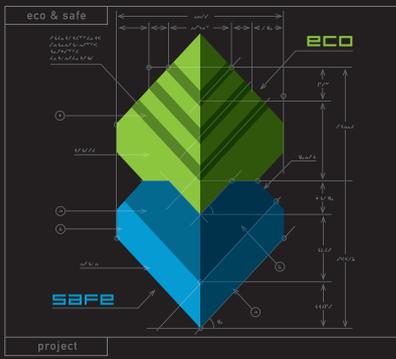
グルメ界で名をはせる最強メンバーが集結し、自らのネットワークを活かして、超有名飲食店の出店が実現しました。西ホール・屋外展示場の特設試乗会場手前に8店舗、その他会場内に12店舗出展予定。日本最大の肉イベント「肉フェス」で4期連続のチャンピオンに輝いた岩手の名店「格之進」や、「浜松餃子まつり2012」、「新浜松餃子決定戦」で最優秀グランプリ受賞の浜松餃子を代表する名店「浜太郎」、日本人初の世界チャンピオン、大西誠氏によるナポリピッツァ「サルヴァトーレ クオモ」の出店が決定。普段はなかなか出店しない名店の味を是非この機会にお試しください。



今日楽しめるお勧めイベント PICK UP

TODAY'S EVENT

<p>09:30-11:30 12:00-14:00 14:30-16:30 17:00-19:00</p>	 <p>自動車ジャーナリスト (AJAJ) と巡る東京モーターショー [全館] 日本自動車ジャーナリスト協会(AJAJ)の会員有志がガイドとなり、専門家の視点で東京モーターショーとクルマの魅力をガイドする有料ツアーです。</p>
<p>13:00-15:00</p>	<p>[シンポジウム] 交通安全のための予防安全技術～これからの車両安全対策のなかで～ [会議棟 6階 605・606会議室]・主催：国土交通省 近年、衝突安全技術に加え、予防安全技術が充実したクルマが続々と登場してきています。それでは、さまざまなクルマから「より安全なクルマ」を選ぶにはどうしたら良いのでしょうか？このシンポジウムでは、最新の予防安全技術とその性能評価などについて、今後の方向性も含め、分かりやすくご紹介します。</p>
<p>10:00-19:45</p>	 <p>SMC[テストライド] パーソナルモビリティ体験走行 [西4ホール パーソナルモビリティ研究所] 新しい移動手段として生まれた一人乗りのピークル。ますます便利さと楽しさを拡大します。 ※試乗受付は先着順となります。また、試乗内容は予告なく変更になる場合がございます。</p>
<p>10:00-19:50</p>	 <p>SMC[テストライド] 超小型モビリティ体験走行 [西4ホール ステーションコア] コンパクトで地域の手軽な移動の足となる、1～2人乗りの新しいピークルに試乗いただけます。 ※試乗受付は先着順となります。また、試乗内容は予告なく変更になる場合がございます。</p>
<p>10:00-16:45</p>	 <p>SMC[テストライド] 自動運転・高度運転支援システムデモンストレーション [西展示棟 屋上展示場] 10:15-13:00 ホンダ ●レーダーとカメラを融合した先進の運転支援システム「Honda SENSING」の体感試乗 10:15-16:45 メルセデス・ベンツ ●アクティブパーキングアシスト(並列駐車)の試乗体験 14:00-16:45 三菱 ●リモート操作による自動縦列駐車(入庫・出庫) ●低速度域での前走車の走行に合わせた追従走行 ※試乗受付は先着順となります。また、試乗内容は予告なく変更になる場合がございます。</p>
<p>10:00-11:30 ※9:30受付開始</p>	<p>SMC[カンファレンス]アドバンス・テクノロジー・セミナー 国際学生EV超小型モビリティデザインコンテスト2015表彰式 [会議棟 6階 607-608会議室] 実施者：一般社団法人 電気自動車普及協会 (APEV) 第2回目の開催となる本コンテストの表彰式を行います。また実際に作品を制作した学生が入賞作品をプレゼンテーションします。</p>
<p>13:00-16:30 ※12:30受付開始</p>	<p>SMC[カンファレンス]アドバンス・テクノロジー・セミナー スマートモビリティが変える「未来の暮らし」～超小型モビリティ導入促進事業から未来のまちづくりを考える～ [会議棟 6階 607-608会議室] 実施者：本田技研工業株式会社 3自治体がHondaと進めている超小型モビリティ導入促進事業を通じて得られた知見と見えてきた課題から未来のまちづくりの方向性を紹介する。3自治体の首長と有識者、メーカーを交えて地域のニーズ、あるべき交通社会を議論することにより、未来のスマートモビリティが創る交通社会像を考える場とします。</p>
<p>16:00-17:00 ※15:45受付開始</p>	<p>SMC[カンファレンス]アドバンス・テクノロジー・セミナー スマートシティさいたまモデルの構築について～公民+学による世界標準への挑戦～ [会議棟 6階 609会議室] 実施者：さいたま市 スマートシティさいたまモデルについて、パネルディスカッションを実施します。</p>
<p>17:30-20:00</p>	 <p>東京ビッグサイト会議棟壁面にプロジェクションマッピング [東京ビッグサイト 会議棟壁面] 会場の盛り上げ施策として、東京モーターショーでは初めてのプロジェクションマッピングを実施。今回の東京モーターショーのテーマ「きっと、あなたのココロが走り出す。」をイメージしたオリジナル映像が15分に1回、夜の東京ビッグサイトに映し出される。</p>



theme

その動きで、アシタを動かす。

ここは、様々な「あたらしい動き」を開発する研究所。車の「未来」を変えるため、そして世の中から「環境問題」や「交通事故」を少しでもなくすため「こうなったら、どうなる？」を合い言葉に日夜、終わることのない研究と実験を今日も繰り返す。そんなNSKの技術に、あなたが出会うのはもう、明日のことかも知れませんよ。

new
EV DRIVE
SYSTEM

噛み合う歯車をなくしたら
音も振動もなくなる？

環境と安全を両方考えたら
明日のクルマはこうなる。

e-motion modules

wheel hub
motor

クルマが、もっと自由に
駆け抜けるための脚を。

ムダなく「止まる」技術には
ムダなく「動く」技術が。

自動アシストの進化で
交通事故をゼロに近づける。

advanced
assist
steering II

ball screw
for
electric brake
booster

ashita-mirai Lab.

THIS IS OUR LABORATORY WHERE WE DEVELOP ALL KINDS OF "NEW MOTION." WE AIM TO CHANGE THE "MIRAI" OF CARS, AND DO WHATEVER WE CAN TO RESOLVE ENVIRONMENTAL PROBLEMS AND TO ELIMINATE TRAFFIC ACCIDENTS. WE ARE CONSTANTLY RESEARCHING AND WORKING TODAY AS WE DO EVERY DAY TO TEST THE POSSIBILITIES AND ALWAYS ASKING THE SAME QUESTION, "WHAT HAPPENS IF WE DO THIS?" YOU MIGHT BE EXPERIENCING THE RESULT OF NSK TECHNOLOGY A LOT SOONER THAN YOU THINK.

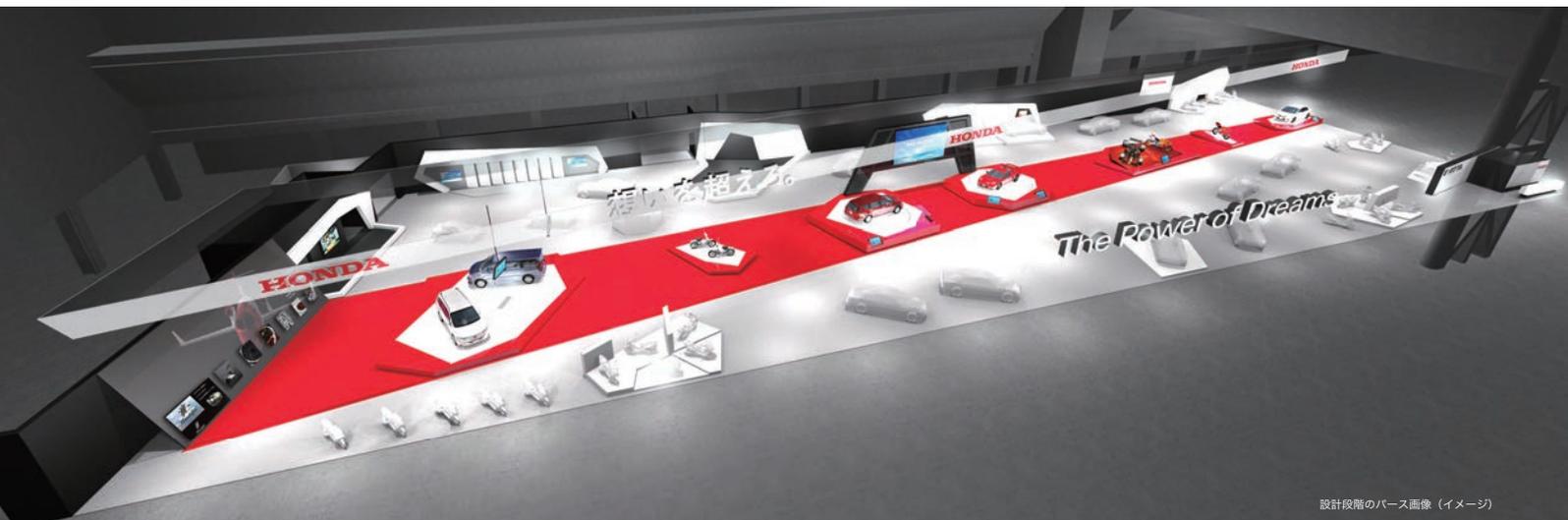


<p>information</p> <h2>NSK 出展ブース：東1・2・3ホール [E2101]</h2> <p>The 44th TOKYO MOTOR SHOW 2015</p>	<p>2015.10.30 FRI. - 11.8 SUN.</p>	<p>MOTION & CONTROL™ NSK 日本精工株式会社</p>
---	------------------------------------	--

ホンダ

Hondaのスピリットを体現する、多彩なモビリティ

コンセプトモデルから市販車両まで。独創のモビリティに息づくHondaの熱い想いを感じてほしい。



設計段階のブース画像（イメージ）

ブーステーマは、「想いを超えろ。」

単独ブランドとしては最大規模の広さと、計40台以上の出展車数を誇るHondaブースは、「想いを超えろ。」をテーマに掲げている。これは「人々の願いや期待、過去の自分たちを超えるモノをつくっていく」という決意を示したものの。そのHondaの意志を表す赤い“ライン”上には、Hondaの原点とも言える「Cubシリーズ」

や、究極のクリーン性能をめざした「CLARITY FUEL CELL」など、人々の生活に役立つモビリティから、F1™やMotoGP™マシンを頂点とする走りを追求したモビリティまでが並ぶ。いずれも、独自の発想と革新の技術をDNAとした、Hondaのモノづくりに対する志が体現されている。

TOPIC 1

TOPIC 2

最注目は、「CLARITY FUEL CELL」と「NSX」。

注目モデルが並ぶ赤い“ライン”上でも、特に目玉となるのが、水素社会を切り拓く革新のFCV（燃料電池自動車）「CLARITY FUEL CELL」と新時代のスポーツ体験を提案する新型「NSX」だ。Hondaスピリットを象徴する2モデルを、まずはチェックしよう。



CLARITY FUEL CELL

燃料電池パワートレインを市販車として世界で初めて*ボンネット内に集約し、大人5人が座れるフルキャビンパッケージを実現するなど、新たなステージに進化した一台。
* 2015年10月現在。セダンタイプの燃料電池自動車として、Honda調べ。

NSX

軽量なボディに新開発の縦置き直噴V型6気筒ツインターボエンジンと、革新的な3モーターハイブリッドシステム「SPORT HYBRID SH-AWD®」を搭載した新時代のスポーツカー。



●環境にやさしく、世界中の人々に愛され、生活に役立つ存在をめざした2台の「Cub」も見逃さない。



EV-Cub Concept

「継承と進化」をテーマとした、近距離移動用パーソナルコミューター。



Super Cub Concept

1チャージあたりの航続距離がより長いエンジンを搭載。初代Super Cubをモチーフとしている。

TOPIC 3

モビリティの可能性への 新たなチャレンジ。

“WANDER=自由に動き回る”をコンセプトにした「Honda WANDER STAND CONCEPT」や、より多くの方が開放感とアクティブな走りを楽しめるスポーツハイブリッド三輪「NEOWING」など、モビリティの新たな可能性を切り拓くチャレンジングなモデルも必見。



Honda WANDER STAND CONCEPT
自由な移動の先にある、新しい発見やドラマを多くの人を楽しめるように。そんな想いで開発されたコンセプトモデル。

NEOWING
コーナリングの楽しさと安定感を両立したスポーツハイブリッド三輪。



写真は欧州仕様車

CRF1000L Africa Twin
日常での走行から広大な大地まで走破できる、本格アドベンチャーモデル。



TOPIC 4

世界のモータースポーツシーンで活躍する2台も出展。

さらに、F1™参戦中のMcLaren-Honda「MP4-30」と、二輪ロードレース世界選手権の最高峰MotoGP™で活躍するHonda「RC213V」。世界の舞台上で挑戦するレーシングマシンを間近で見ることができる（いずれも展示用車両）。



McLaren-Honda「MP4-30」
Hondaのハイブリッド技術を駆使して開発したパワーユニット「Honda RA615H」を搭載したレーシングマシン。



RC213V
2015年MotoGP™参戦マシン（マルク・マルケス）。



スマートモビリティが変える 未来の交通社会。

西ホール の SMART MOBILITY CITY 2015では、Hondaが提案する「つくる」「つかう」「つながる」技術で、より安心して快適になる社会を提案している。また、11月4日には13時から会議棟で、「スマートモビリティが変える未来の交通社会」と題したシンポジウムを開催。

TOPIC 5

トヨタ

WHAT WOWS YOU?

—すべての人の心にときめきを—

WHAT WOWS YOU?

Toyota Tokyo Motor Show 2015

人の心を動かすものは何だろう。

いくつもの感情に揺られながら私たちは生きている。

日々とは心が動いたそのぶん輝くものだと思う。

そのためにTOYOTA は何が出来るだろう。

トヨタブース2015のスローガンは「WHAT WOWS YOU?」。

人の心を突き動かすクルマ本来のWOW、

未来のモビリティがもたらすWOW、

人とクルマとの豊かな関係にうまれるWOW。

WOWにあふれたトヨタブースにご期待ください。

TOPIC 1

TOYOTA New Global Architecture (TNGA) を初採用した
次世代ハイブリッド「PRIUS」



クルマ本来のWOWは
人の心を突き動かす

TOYOTAが進めてきた新しい開発戦略 TNGA (TOYOTA New Global Architecture) を初採用したのが、今回展示される4代目プリウスだ。時代をリードするプリウス(ラテン語で先駆けの意)の名に相応しい、革新的な進化が追求されている。エクステリアデザインは、TNGAによる低重心パッケージと融合させ、先進的でエモーショナルなデザインを実現。ルーフの頂点を20mm低くするとともに前出しし、エンジンフードも低く抑えることで、スタイリッシュなシルエットを実現した。

TOYOTA C-HR Concept



日本初出展となる新世代コンパクトクロスオーバーコンセプト。個性際立つスタイリングは、TOYOTAデザインの新たな方向性を具現化する。

TOYOTA S-FR



自分の意のままにクルマが反応し、日常使いの中でもクルマとの対話ができる楽しさをエントリーモデルに追い求めたコンセプト。世界初出展。

TOPIC 2

モビリティの未来が
もたらすWOWを
感じよう



TOYOTA FCV PLUS

エネルギーを消費するだけでなく、社会に分散する電源ともなる新世代FCV。エコカーからエネカーへ、クルマはもっと愛される存在になる。世界初出展。



TOPIC 3

クルマと人の豊かな
関係にWOWがある

KIROBO MINI

ロボット宇宙飛行士 KIROBO が育んだ「かっこいい頭とやさしい心」を宿すとともに、常に寄り添えるサイズを追求した、笑顔をもたらす「コミュニケーションパートナー」。世界初出展。



TOPIC 4

次世代の“つながる”
モビリティ社会を
リアルに感じてみよう

ITS専用周波数を活用した運転支援システム「ITS Connect」、環境負荷を抑えつつ移動の自由度を高める次世代交通システム「Ha:mo（ハーモ）」を中心に紹介。ITS Connectでは、ステージ上で模擬交差点を再現するのでぜひブースを覗いてみたい。



TOYOTA KIKAI

クルマを人の手が生み出す「機械」と捉え、その精巧さ、美しさ、素朴さ、あたたかさ、動きの面白さなどの豊かな魅力で、「人とクルマの関係再構築」を目指す。世界初出展。

TOPIC 5

メガウェブへもGO!
「東京モーターフェス2015
with みんなモーター」

東京モーターショー開催期間中、メガウェブでもイベントが予定されている。各社メーカーが車両を出し合っ、ライフスタイル別に様々なクルマを展示したり、最新車両の試乗ができた、と、見て乗って楽しめる空間に。本会場からメガウェブまではバス送迎も行われているので移動もらくらく。2年に一度のクルマのイベントを味わい尽くそう!



東京モーターショーを手のひらでもっと楽しもう!

トヨタポータル

WHAT WOVES YOU?

トヨタポータル

検索

Download on the App Store

GET IT ON Google play

トヨタブースをもっと楽しめるように、トヨタ自動車公式アプリ「TOYOTA Portal」がリニューアル。アプリを持って展示車両に近づくと、WOWに溢れたムービーをはじめ、様々な情報があなたの手元に飛んできます。気になるクルマの魅力を、すぐに手のひらでチェックしよう! ※端末のBluetoothをオンにしてください。

スバル

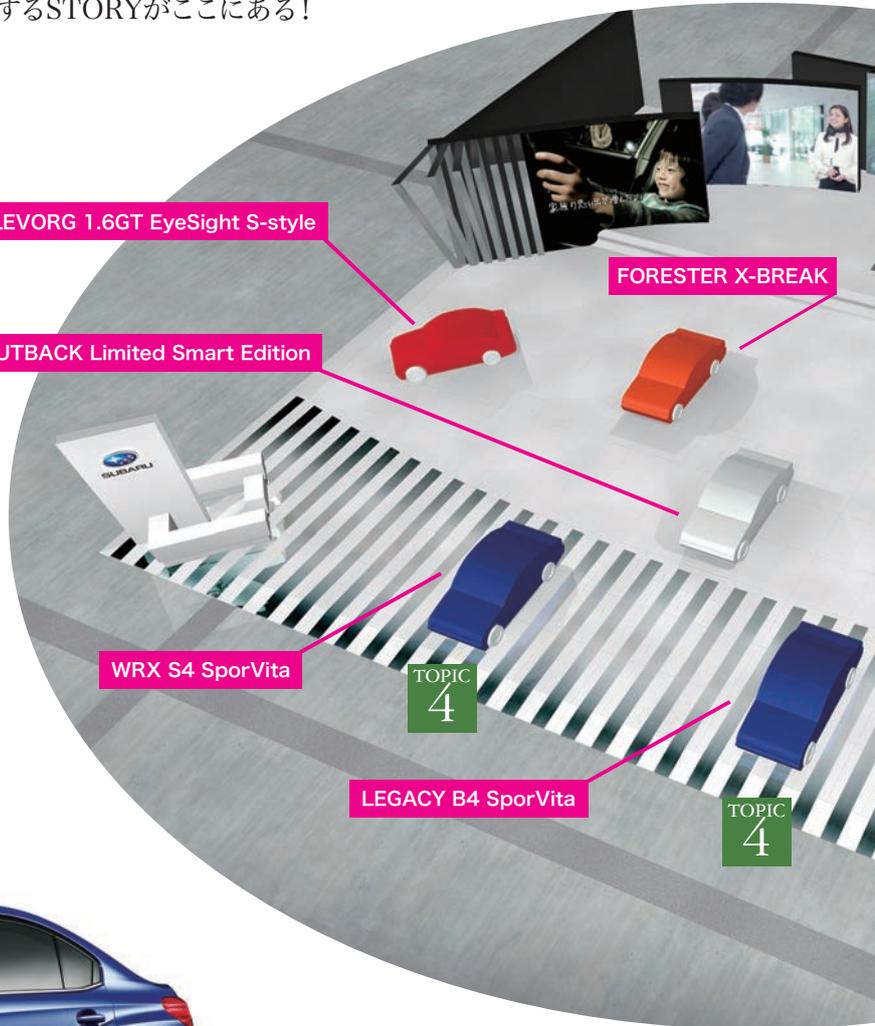
SUBARU LIFE THEATER

“理想のクルマとは?” “SUBARUらしさとは?” 「安心と楽しさ」を提供価値に据えるSUBARUのクルマづくりとお客様の人生とが共鳴するSTORYがここにある!

TOPIC 1

来場者を惹きつける積層型の5面LED!

ブースを一面に埋め尽くすLED映像装置。5面のLEDを積層型に配置し、ただの映像演出に留まらない、劇場型の演出によってSUBARUと共にある人生のSTORYを表現!



TOPIC 4

SUBARUのクルマづくりにイタリアのクラフトマンシップが融合!
SUBARUの新しい内装デザインシリーズ“SporVita”

コンセプトは、Sportiva (スポーティな) xVita (人生)。イタリアのクラフトマンシップが息づくレザーシートをはじめ、インテリアやエクステリアにモダンでスポーティな

エッセンスをちりばめた特別なWRX S4とLEGACY B4。

人生をアクティブに走り抜ける大人のためのセダンだ。

TOPIC

2

SUBARUが目指すブランドの未来像
“SUBARU VIZIV FUTURE CONCEPT”

スバルがお客様にお届けする安心で楽しいクルマづくりの将来ビジョンを具現化したSUVタイプのコンセプトモデル。もっとアクティブに、もっと出掛けたいくなるデザイン・パッケージ。そして、アイサイトが進化したその先にある自動運転技術やダウンサイジング

グターボとハイブリッドシステムを組み合わせたパワーユニットを採用するなど、スバルらしい次世代技術が支える安心で楽しいドライビングを提案。乗る人の人生をよりアクティブでワクワクするものに変え、新たな人生のストーリーを生み出していく。



TOPIC

3



次期インプレッサのティザーデザインコンセプト “IMPREZA 5-DOOR CONCEPT”

SUBARUデザインフィロソフィー「Dynamic×Solid」のネクストステージを示唆するデザインコンセプトカー。フロントか

らリアへと繋がる躍動的なモチーフと絞り込んだキャビンは「Dynamic」を、随所に施した研ぎ澄まされた面質は「Solid」を表現。

水平対向エンジン、空力処理をはじめとする独自技術をデザインで表現し、高度な調和を目指している。

三菱自動車

Driving Beyond

SUVと電気ので、一歩先へ

SUV×電動化技術の現在、そして未来へ。

機動力が高く多用途に応えるSUVが電動化技術によって広がる可能性を提案する、次世代EVシステムを採用したコンパクトSUV『MITSUBISHI eX Concept』を世界初披露。また、プラグインハイブリッドEVの『アウトランダー PHEV』の展示エリアで

は、同車の技術特長を分かりやすく紹介するほか、クルマと住宅を繋いで蓄電池としてスマートライフに貢献したり、アウトドアでは家電への給電により新しいキャンプの楽しみ方を提案するなど、一歩先のカーライフを提案しています。

TOPIC 1



TOPIC 4

三菱自動車独自の最新技術が学べるラボ

クルマが情報ネットワークと繋がるコネクティッドカー技術。力強く滑らかな加速、圧倒的な静粛性、優れた燃費性能、レジャーや非常時には頼もしい電源となるPHEVシステム。これらを博士と助手が分かりやすく説明するスクール形式のコーナーです。



TOKYO MOTOR SHOW 2015 MITSUBISHI MOTORS Special Website
車両情報や技術の情報がもりだくさん。ぜひご覧ください。
<http://www.mitsubishi-motors.com/jp/events/motorshow/2015/tms2015>

TOPIC 2



次世代EVシステムによってSUVの魅力を増強したコンパクトSUV『MITSUBISHI eX Concept』

流麗なクーペスタイルとユーティリティを融合させた、躍動感あふれるスタイリングを実現。フロントには“人とクルマを守る”というデザインコンセプト「ダイナミックシールド」に、新たな機能をもたせています。

次世代バッテリーと高出力モーターにより、力強く滑らかな走りと航続距離400km

を実現。ツインモーター 4WD&S-AWCにより、爽快感がありながら安心感もある優れた操縦安定性を発揮します。

このほか、先進の接続型カー技術と予防安全技術を組み合わせ、自動運転（準自動走行）を可能としたコンセプトモデルです。



SUV×電動化技術の先駆者、『アウトランダー PHEV』が拓く一歩先のカーライフ

デビューから約2年半でスタイリングを一新させたほか質感・性能を大幅に向上させた『アウトランダー PHEV』。展示エリアでは、PHEVシステムとツインモーター 4WD&S-AWCの技術特長を解説するシャシーモデ

ル、駆動用バッテリーからV2H(Vehicle to Home)機器を介して住宅やビルに繋いだり、キャンプで家電製品に繋いだりして、停まっている時にも価値がある存在であることを紹介しています。

TOPIC 3



スズキ

スズキが目指す「次の100年」を全ジャンルで網羅

2020年に100周年を迎えるスズキは、「次の100年」に向けたさまざまな取り組みを提案。四輪車・二輪車はもちろん、船外機、セニアカーなど、「次のスズキ」のすべてが見えてくる。

TOPIC

1

革新的なアイデアで広がる「SUZUKI NEXT 100」

高い天井に加え遮るものがほとんどないブースレイアウトは、スズキが手がけるすべての商品ジャンルの「次」を見渡すことができる開放感が特徴。メインステージには3台の参考出品車が揃い、後方に設置された約5m×30mの大型LEDスクリーンには、スズキ製品のさまざまな魅力が多彩な映像表現によって紹介さ

れる。さらに2つのサブステージにも四輪車、二輪車の参考出品車をそれぞれ展示。新開発エンジンをはじめ、環境技術・予防安全技術などのさまざまな次世代技術の展示も充実させている。人とモビリティの「次の100年」を見据えて走り始めたスズキの、革新的な発想と最先端の技術が実感できるはずだ。

TOPIC

2

クロスオーバー、ミニバン、オープンデッキスタイル…世界観が大きく広がる!



イグニス トレイルコンセプト



エアトライサー



マイティデッキ

四輪車としては、クロスオーバーカー、コンパクトミニバン、そして軽自動車…それぞれの新しい楽しさを提案する3台のコンセプトモデルが展示される。「イグニス トレイルコンセプト」は新ジャンルの小型車にオフローダーのテイストをプラス。扱いやすいコンパクトなボディに多彩なアレンジを可能とした3列シートを採用する「エアトライサー」は、仲間たちと過ごす時間にもこだわった広々プライベートラウンジがコンセプトだ。オープンデッキスタイルの「マイティデッキ」は、遊べる軽自動車を提案したもの。さらに二輪車では、遊べるスクーター「ハスラー スクート」、気軽に乗れる楽しさをカタチにした原付クロスバイク「フィール フリー ゴー!」や、スズキの高性能スポーツバイクの象徴としてコンセプトオブジェ「コンセプト GSX」を出品。モビリティの多彩な可能性を、大きく広げるコンセプトモデルが揃っている。



ハスラー スクート



コンセプト GSX



フィール フリー ゴー!

TOPIC

3

多彩なラインアップで
“多才”な遊び方を提案 (四輪車)



新型エスクード



イグニス



バレーノ ※画像は欧州仕様車です

スズキの四輪車ラインアップの新機軸がそれぞれに実感できる、6台のモデルが出品される。10月15日に発売した新型「エスクード」は、高効率な1.6ℓエンジンに新開発の6ATを組み合わせ、さらに4モード走行切替機能を持つ新世代四輪制御システム「ALLGRIP」を採用して、優れた環境性能と卓越した走行性能を両立した。ゆとりのロードクリアランスで雪道でも安心して走ることが可能なコンパクトクロスオーバー「イグニス」は、オンでもオフでも活躍する新ジャンルの提案である。そのほか、アルト ワークスなどワクワクさせてくれる個性的なラインアップも登場。その「多才」ぶりにも注目して欲しい。



ソリオ ハイブリッド



アルト ワークス



ハスラー

TOPIC

4

スズキのスポーツモデルが勢ぞろい (二輪車)

今年から二輪車レースの最高峰、FIMロードレース世界選手権 (Moto GP) に4年ぶりに復帰し、順調にポイントを積み重ねている「GSX-RR」を筆頭に様々なスポーツモデルが展示される。今年、発売から30周年を迎えた「GSX-R」シリーズの頂点である海外向けモデル「GSX

-R 1000 ABS」30周年記念カラーも展示される。また、スタイリッシュな外観を持ち、インド国内で非常に高い評価を得ており、13のバイクオブサイヤーを受賞した、ロードスポーツバイク「ジクサー」も参考モデルとして登場する。



GSX-RR (MotoGP参戦車両)



GSX-R1000 ABS 30周年記念カラー



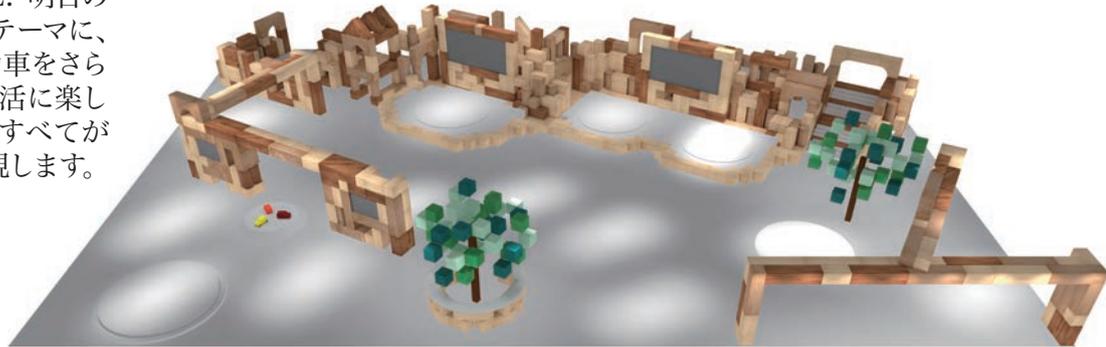
ジクサー

ダイハツ

POSSIBLE!

明日の「できる」を、ダイハツと。

ダイハツ工業は、『POSSIBLE! 明日の「できる」を、ダイハツと。』をテーマに、人々の生活に寄り添う軽自動車をさらに進化させることで、日常生活に楽しさや喜びをプラスし、乗る人すべてが笑顔になるクルマづくりを表現します。



TOPIC

1

乗り降りで、あしたを明るくするクルマ。

NORI ORI

「NORI ORI (ノリオリ)」はそのネーミングの通り、すべての人が直面する車に対してのハードルとして「乗り降り」に着目。“近未来のマルチユース通勤車”をコンセプトに、イージーアクセスなスモールカーを目指して超低床フロアと大開口の2ウェイアクセスドアを装備。助手席側に収納式スロープ、リヤにはフロアリフトを備え、さらにフラットフロアで車内での移動も簡単。折りたたまずに2台の車いすも乗車可能で、ベビーカーから車いすまで幅広い用途で、乗り降りのしやすさを徹底的に追求している。



話題の新型車「キャスト アクティバ」のレゴ® ブロックスペシャルキットがあたる、スタンプラリー実施中!

ダイハツブース内で実施されるスタンプラリーに参加して、応募すると抽選で500名にキャスト アクティバのレゴ® ブロックスペシャルキットをプレゼント。詳しい応募方法はダイハツブースで確認してください!





TOPIC 2

すいすい働くカワイイお店、「テンポ」。

TEMPO

軽商用車の新しいカタチとしてFFプラットフォームを最大限に活用した“新ジャンルスペース系商用車”を提案するのが「TEMPO（テン

ポ）」だ。FF車のメリットである室内空間の自由度を活かした移動販売車。LED照明付の大型ガルウィングドアを採用した助手席側にはカ

ウンターテーブルを組み込んだショーケースや、お店の看板として活用できるデジタルサイネージを装備するなど、ユニークな機能が特長。



TOPIC 3

更なる追求、ネクストベーシックへ。

**D-base
CONCEPT**

「D-base（ディーベース）」は、ニューベーシックスモールとして、ダイハツが考える次世代のスモールカーのあり方を提案。高価な技術や装置に頼るのではなく、エネルギーを効率よく使う工夫を重ねて燃費をよくする「e:Sテクノロジー」。それを進化させ、内燃機関を追求した次世代の環境車だ。先進性を感じるスタイリッシュなエコ&スマートデザインが魅力。

ベンリとキュート。母と私の、新しい満足。

Hinata

「HINATA（ヒナタ）」は、デザイン性とスペース性の融合による新しいラウンドデザインが特長。ナチュラルリラックスを表現したデザインで、両観音開きドアによる開放感と多彩なシートアレンジも大きな魅力。



TOPIC 4

モーターショースペシャルサイトも要チェック!! ダイハツブースの様子や、コミュニケーターたちによる車両レポートを紹介。お見逃しなく!
www.daihatsu.co.jp/motorshow2015/





レクサス

LEXUS AMAZING IN MOTION

期待を超えた驚きと、その先にある感動を。とどまることのないレクサスの創造力。つぎつぎと発想を形にしていくことで、あなたの感性を刺激します。

TOPIC 1



“Progressive Luxury” を具現化したブース。

時代の最先端を創造する、日本発のグローバルラグジュアリーブランド“レクサス”。

新しいレクサスの目指す方向性を具現化したブースは、白とシルバーで統一されて、

スタイリッシュかつクールだ。それだけではなく、今回新たにレクサスブース2階には来場者が誰でも入場できるレクサスのブランディング活動体感スペースも用意され、CM

で話題のホバーボードも展示されている（詳細は Topic 4 をご覧ください）。

五感を刺激するレクサスブースへぜひ足を運んでみたい。



TOPIC 2

「RX でありながら、RX であることを超えていく」を命題に開発された新型プレミアムクロスオーバー。SUVらしい力強さと知的な大人の色気を兼ね備えたエクステリアや、新技術と融合したエレガントなインテリアが、新しいRXの魅力を表現。





《 LEXUS GS F 》 日本初公開。新たな“F”モデルの高性能スポーツセダン。

“F”モデルが追求する、走るたびに心が躍り、笑顔になるクルマの基本要素であるサウンド、レスポンス、伸び感を大切にした高性能スポーツセダン GS F を日本初公開。

TOPIC 4

いくつもの、想像を超える感動を。
レクサスブランディング活動体感スペースで堪能しよう。

● CM でお馴染み、空飛ぶ“ホバーボード”
“AMAZING IN MOTION”をテーマにしたグローバルキャンペーン“SLIDE”で話題のホバーボードを特別展示。

●日本の匠とコラボレーションした
“CRAFTED FOR LEXUS”
レクサスのクラフトマンシップと日本の匠が共鳴して生まれた、ライフスタイル

を彩るコレクション“CRAFTED FOR LEXUS”。通常はINTERSECT BY LEXUS-TOKYO のみで販売しているアイテムの中から数点を展示。





Mercedes-Benz

AMG

MAYBACH



メルセデス・ベンツ メルセデスAMG メルセデス・マイバッハ smart

130年にわたり最善の車を世に送り出す

ダイムラー社（ドイツ）の乗用車ブランドが「メルセデス・ベンツ」と「smart」である。
今回はワールドプレミアのほか自動運転リサーチカー「F 015」や新型「GLE」、新型「smart」を日本初披露する。

TOPIC

1

メルセデス・ベンツ
F 015 Luxury in Motion



近未来の自動運転ラグジュアリーカー

2015年1月にラスベガスで行われたCESで世界初公開されたメルセデス・ベンツの自動運転リサーチカー「F 015 Luxury in Motion」が東京にもやってきた。この注目すべきモデルはメルセデス・ベンツが考える今後の高級セダンの姿であり、近未来都市における移動のビジョンを示すものとなっている。運転を

しなくていいということは、移動中にドライバーに自由な時間を与え、車内での過ごし方に大きな変化をもたらす。また、自動運転は都市インフラ設計への新たな可能性をも生み出す。「F 015 Luxury in Motion」は、次世代モータリゼーションのあり方に意欲的に取り組んだ一台である。



メルセデス・ベンツ GLE



TOPIC

2

プレミアムSUV、 「GLE」が日本初登場

ニューヨークショー（2015年4月）でワールドプレミアした「メルセデス・ベンツ GLE」が日本初お披露目となる。5ドアの堂々としたフォルムに呼応するかのように、優れた走行パフォーマンスや環境性能、安全性能などで、その存在感をアピール。メルセデスならではの高級感あふれるインテリアも魅力だ。都会派もアウトドア派も大いにうなずけるSUVといえるだろう。



smart fortwo



smart forfour

TOPIC 3 東京モーターショーをジャパンプレミアに選んだfortwoとforfour

3

東京モーターショーで発表された新型smartは、全長約2.7mの最小ボディに最大の安全性、快適性、利便性、環境適合性を高密度に凝縮した究極のアーバンモビリティだ。ボディタイプは、「fortwo」（2人乗り）に加え、「forfour」（4人乗り）も用意。エンジンは1ℓ 3気筒の自然吸気でリアエンジンリアドライブ。トランスミッションに6速DCTを採用し、都市における俊敏で高効率なドライビングを実現している。



メルセデスAMG GT3

TOPIC 4

メルセデスAMG GTをベースにした FIA-GT3規定車両のマシン

世界中のサーキットで活躍する「SLS AMG GT3」。その後継車がジャパンプレミアを果たした「メルセデスAMG GT3」である。これはハイパフォーマンスカーを生産するメルセデスAMGが手がけた最新の市販レーシングマシンで、FIAのGT3規定に合わせている。来年からのレース活動に先駆け、日本では東京モーターショーでのお披露目となる。



ジャガー

ギネス世界記録を樹立した「F-PACE」がお目見え

ジャガー初のパフォーマンスクロスオーバー「F-PACE」。
～スポーツカーの魂を持ったSUV～



今年9月に行われた、ジャガー初のパフォーマンス・クロスオーバー新型「F-PACE」の世界初披露イベントでは、世界的なスタント・ドライバーのテリー・グラントが、360度回転するループ・コースを、6.5Gという重力をものともせず見事な離れ技で走破。ギネス

世界記録を樹立した。

スポーツカーのような加速性能とパフォーマンス、そして俊敏性をも合わせもつ「F-PACE」だが、さらに注目すべきは、同時に家族で日常使いができる実用性も兼ね備えている点だ。デザイン・ディレクターである

イアン・カラム曰く、「F-PACEはスポーツカーの魂を持ったSUVだ。ハイパフォーマンスでありながら、同時に5人が乗ることのできる空間、収納スペースを備えている。究極の実用的なスポーツカーと言えるだろう」。

ぜひ家族でブースに足を運んでもらいたい。



ランドローバー

レンジローバー・スポーツ最上級モデルを展示

スペシャル・ピークル・オペレーションズが設計・開発を手がけた「レンジローバー・スポーツ SVR」を日本初披露。



ランドローバー・スペシャル・ピークル・オペレーションズ (SVO) は、特殊な塗装を使用するビスポークオーダーや最高級のラグジュアリー・エディション、最高性能を誇るパフォーマンスモデルなどランドローバーの中でも特別なモデルの開発・製造を行う部門。

そのSVOが手がけた「レンジローバー・スポーツSVR」は、最高出力550ps、最大トルク680Nm、0-100km/h加速はわずか4.7秒、最高速度260km/h(リミッター作動時)というランドローバー史上最速のハイパフォーマンスモデル。ドイツのニュルブルクリンク

北コースで8分14秒というSUVのラップレコードを更新(2014年8月時点)し、話題をさらった。ジェームズ・ボンド・シリーズ「007」の24作目となる『スペクター』(今冬、日本公開)でも、登場する予定だ。実車をその目で確認できるこの機会、見逃せない。



日野自動車

「Transport Heroes」～情熱をはこぶ。夢をとどける。

人、そして物の移動を支えるトラックやバスは“ヒーロー”
そして、トラックやバスを運転・整備する人も“ヒーロー”
日野自動車はクルマづくりとサービスで、
豊かで住みよい世界と未来に貢献する。

TOPIC 1

究極のクリーンエネルギー!? 「水素」で走る路線バス



空気中の酸素と水素タンクの水素を化学反応させて発電し、その電気でモーターを動かして走る燃料電池バス。発電しても水しか排出しないのが最大のメリットだが、それ以外にも「音が静か」「加速がスムーズ」「災害時に電気を供給できる」など、いろいろなメリットがある。日野のブースでは燃料電池バスの仕組みをわかりやすく解説してくれる。その他にも、人々の暮らしを支え、豊かな未来に貢献する日野の最先端のクルマたちが勢揃いしている。

燃料電池バスはエンジンを積まない分、車内のレイアウトの自由度が増し、広くてフラットな室内スペースを確保することができる。車椅子やベビーカーの移動もラクラク。その広さ、使い勝手の良さを展示されている燃料電池バスに“乗って”体感してみよう。



TOPIC 2

砂漠を走る“日野レンジャー”

1本の重さ150kgのタイヤ交換デモを見に行こう!

世界一過酷と言われている砂漠のレース、「ダカールラリー」で活躍する日野レンジャーが展示される。ダカールラリーへの挑戦は、日野の技術革新への情熱、諦めない精神の象徴。ドライバーのみならず、このレースで重要な役割を担っているのがメカニックの存在だ。毎年、全国のディーラーから選抜されたメカニックたちが、ダカールラリーの経験を日常の仕事に活かしている。



※タイヤ交換デモのスケジュールは日野ブースまたは公式サイト (<http://www.hino.co.jp/>) でご確認下さい。

初参戦以来2015年まで24年連続完走を果たし、1997年にはトラック部門総合1-2-3位を独占した。また、2010～2015年までクラス6連覇を果たし、日野レンジャーはその名を世界に轟かせている。

トヨタ車体

Active Life Vehicles

「もっといいクルマづくり」を通じて、お客様を笑顔に70年間のありがとうの気持ちをたくさんお寄せしたトヨタ車体のクルマが、あなたの心を刺激します。



開放感に満ちた上質な空間を備えたオープンクルーザー「ALPHARD Hercule Concept」(参考出展車)



左上/アーバンライフとアクティブライフに対応した「NOAH ACTIVE CROSS」 上/ニュージャンルクロスオーバーSUV「LAND CRUISER XJ700」 左/人とクルマと社会をつなげるマルチパーパスな超小型モビリティ「COMS CONNECT」(すべて参考出展車)



4座ナイト エクスクルーシブ ワゴン「HIACE PLATINUM LOUNGE」(参考出展車)

今年8月に創立70周年を迎えたトヨタ車体。今回のモーターショーでは「Active Life Vehicles」をテーマに、トヨタ車体が担うトヨタのミニバン・商用車・SUV、そして超小型EVに感謝の気持ちをのせて出展。トヨタ

車体ならではのまったく新しい発想で生まれた個性際立つ5台のクルマが、クルマとともにある新しいライフスタイルを提案する。

トヨタ車体は70年間、人々の営み、暮らしに密着し、役に立ち、喜ばれるクルマをつ

くることで世の中に貢献してきた会社。これからも「もっといいクルマづくり」を通じて、お客様に笑顔をもたらす、豊かな社会づくりを目指すトヨタ車体を、ぜひブースで体感してほしい。



ヤマハ

YAMAHA MOTOR PRODUCTS ORCHESTRA

「広がるモビリティの世界」
ヤマハは未来のモビリティをもっと楽しくする。

「YAMAHA MOTOR PRODUCTS ORCHESTRA」をテーマに、オーケストラホールをモチーフとした「広がるモビリティの世界」を表現するヤマハ。ブースでは、さまざまなモビリティが奏でるハーモニーが美しく、また時に激しく響きわたる。

世界初披露のワールドプレミア6モデル、日本初披露のジャパンプレミア1モデルを含むモーターサイクル、スクーター、リーニング・マルチ・ホイール (LMW)、電動アシスト自転車、四輪バギー (ROV)、四輪車、さらにモーターサイクル技術とロボティクス技術を融合したライディングロボットなど合わせて20モデルを展示し、小型モビリティを基幹事業とするヤマハならではの「広がるモビリティの世界」を提案している。

▼スポーツ自転車の長所と電動アシスト機能のメリットを合わせ持つ「YPJ-R」。車体重量は約15kgと軽く、アシスト機能のない領域でも快適なスポーツ走行が可能だ。



▲自由自在に走れる、と人気の高いMTシリーズの「MT-03」(エムティ ゼロスリー)。軽量コンパクトな、水冷・直列2気筒エンジンを搭載。

▶新開発の水冷3気筒998ccエンジンを採用した二人乗りピュアスポーツモデル「YZZ1000R」。荒地や砂漠でも高い走破性を見せる。



DENSO

デンソー

次世代に明るい未来を届けるための、最先端技術を体感

人に優しい安全で安心の運転支援技術とともに、地球に優しい環境維持の各種テクノロジーを追求し続けるデンソーの技術・製品の先進性を「肌で感じ取れる」展示が揃った。

TOPIC 1

「わかりやすさ」に
こだわる体験型展示が充実

自動車のさまざまな機器・部品を、提供し続けているデンソー。2020年に向けたグループ全体の長期スローガンとして「地球と生命（いのち）を守り、次世代に明るい未来を届けたい」というテーマを掲げている。今回の東京モーターショーでも、このテーマに基づきコックピットに乗り込んで実感する近未来の「安心・安全」と、AR技術を用いた「地球環境への負荷低減」関連の技術・製品などを紹介している。



ハーモニアス
コミュニケーション コックピット

ほどなく実現される可能性が高い「少し未来」のHMI(ヒューマン・マシン・インターフェイス)技術を体感できるのが、「ハーモニアス コミュニケーション コックピット」と名付けられた展示だ。カメラで撮影した周囲の状況を表示する電子ミラー、周囲の危険を色と位置で知らせるHarmonious Lumiと呼ばれるインジケーターなどを搭載。「感知する新技術」に加え、自動運転の普及を想定した各種表示などを体験して欲しい。



環境総合展示

撮影した映像にさまざまな表現を追加できるのが、「AR(拡張現実)」と呼ばれる技術だ。台上に載った白いクルマの模型の映像に環境負荷低減に向けた4つの技術が投影される。たとえば「エアコンの効率向上技術」ではその効率を向上させることで、快適性を保ちながら環境にも優しい様子が表現されている。ほかにも、「エンジンの効率向上」「電動化の普及促進」「家、社会とつながる」といったテーマで、取り組みを紹介。環境技術をわかりやすく実感できる。

TOPIC 2

コックピットやARを通して
体感する近未来

ブリヂストン

イノベーションで一人ひとりを支える

「イノベーティブな世界観」と「心地よい、おもてなし空間」を通して、「環境」「安全・安心」「ワクワク」「プレミアム」を感じてみよう。



TOPIC 1



◀ ECOPIA with ologic



ランフラットテクノロジー採用タイヤ体感什器



POTENZA S001 RFT

「ECOPIA with ologic」「ランフラットテクノロジー採用タイヤ」 「エアフリーコンセプト」など独自の技術イノベーションを見に行こう！

タイヤ幅を狭め、かつ大径化することで低燃費を実現し、高い設計と、同時に原材料技術で安全性をも担保したタイヤの新技术が「ologic」だ。この技術を採用した「ECOPIA with ologic」は環境技術開発促進を主旨とする「World Solar Challenge」で活躍する

ソーラーカーや、BMWが開発した革新的な電気自動車「i3」にも搭載されている。

また、空気圧がゼロになっても（パンクしても）一定距離を走行できる「ランフラットテクノロジー採用タイヤ」は実際に体感出来る什器が用意されており、ぜひ試してみたい。

一方、空気の充填が不要でパンクの心配がない。そんな未来のタイヤ「エアフリーコンセプト（非空気入りタイヤ）」も展示される。

「効率的な資源活用」「低燃費性能」を通して、環境面からも未来のモビリティ社会をサポートするタイヤをブースで見ることができる。



POTENZA S001

REGNO XI

BLIZZAK VRX

TOPIC 2

ブリヂストンが誇るプレミアムタイヤ 「POTENZA」「REGNO」「BLIZZAK」

ブリヂストンのグローバルプレミアムブランドである「POTENZA (ポテンザ)」。スポーツドライビングでの性能を極め、国内外の多くのスポーツカーの新車装着タイヤとして採用されている。一方「REGNO (レグノ)」は優雅な

乗り心地や優れた静粛性において他を圧倒し、「28th 日刊自動車新聞用品大賞 2015」ではグランプリを受賞。そして冬用タイヤ「BLIZZAK (ブリザック)」はブリヂストンの独自技術をさらに進化させ、「非対称サイド形状」によって路

面への接地性を向上させるとともに、「アクティブ発泡ゴム」の高いグリップ力でしっかり止まり、冬道でのふらつきの不安を低減し、低燃費性も高めている。展示される製品のトレッドパターンなどを見比べるのも面白いかもしれない。

TOPIC 3

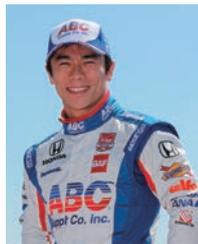
ブリヂストンは、自動車メーカーと共に「楽しいクルマ・バイク社会づくり」に貢献することを目的として、積極的にモータースポーツ活動を展開している。走る歓びを伝え、もっとクルマ好きを増やすために、INDYCAR や SUPER GT などの観戦型モータースポーツだけでなく、GAZOO Racing 86/BRZ Race やロードスター・パーティレースII、全日本ジムカーナ選手権などの参加型モータースポーツにも力を入れている。ブースではレーシングマシンの展示のほか、F1 チャンピオンでもあり INDYCAR レースでも 4 度のチャンピオンに輝いたマリオ・アンドレッティと、INDYCAR レースで日本人初優勝を飾った佐藤琢磨がタイヤを語ります！（スケジュールは公式 HP で。http://www.bridgestone.co.jp/corporate/event/exhibition/tokymotorshow/index.html）

世界中のモータースポーツシーンを足元から支えるブリヂストン



▲ INDYCAR/A.J.Foyt Racing

▼ブリヂストンのブースにマリオ・アンドレッティと佐藤琢磨が来場する！



▶ SUPER GT/
PETRONAS TOM'S RC F



フランクフルトモーターショーで発表された、日産のコンセプトカーに装着。

TOPIC 4

各社コンセプトカーにも ブリヂストンのタイヤが 装着されている

グローバルに展開する自動車メーカー各社の車両開発を足元から支えている。



住友ゴム工業株式会社

技術で超える、タイヤで変える。

1913年、日本で初めて自動車用のタイヤを生産し、常に時代を先駆けてきたダンロップ。そして、住友ゴムの世界戦略ブランドとして展開するファルケン。タイヤに求められる課題に常にトップランナーとして取り組み、高い技術力と開発力によりタイヤで社会を、環境を、未来を変えていくことを考え続けています。



代表取締役社長
池田育嗣氏



TOPIC

1

「100年を超える歴史を持つダンロップブランド。
最先端テクノロジーで時代を切り開く！」

TOPIC

2



ダンロップは、日本で初めて自動車用タイヤを開発して以来、石油や石炭などの化石資源を全く使用しない100%石油外天然資源タイヤや静粛性能を高める特殊吸音スポンジなど、多くの世界初・日本初の技術や商品を送り出してきた。低燃費タイヤの需要が高まっている近年も業界のフロントランナーとして、低燃費タイヤブランド「エナセーブ」を中心にラインアップの充実を図り、低燃費タイヤの普及に努めている。



エナセーブ

「欧州で好評のファルケンブランド。
新たな世界観を発信！」



2015年 世界で最も過酷なレースの一つである、ドイツの「ニュルブルクリンク24時間耐久レース」でチーム「FALKEN Motorsports」が日本のチームとして初の総合3位を獲得。さらに世界最速のモータースポーツである「Red Bull Air Race World Championship 2015」に参戦する室屋義秀選手をサポートするなど、高性能且つ、エネルギー、そして躍動感あふれるブランドとして、新たなファルケンがここから発信される。



ダンロップ
低燃費タイヤ

5年連続

No.1

全国カー用品量販店上位2社 (2014年は3社) 計販売本数

※住友ゴム工業(株)が第三者の調査会社に委託し調査。詳しくは当社HPをご参照下さい。

TOPIC 3

「変形する固体、ゴムを徹底的に見つめ、可能性を引き出し尽くす！」

タイヤのほとんどはゴムでできている。ゴム分子はナノレベルでしなやかに動いているので、固体なのに変形することができる、特殊な材料。だからこそ分子がどう動くか可視化しナノレベルで分子構造をコントロールする「4D NANO DESIGN」(2011)は当社の画期的な技術だった。

今回は、4D NANO DESIGNを進化させ、新材料開発をさらに加速させる「ADVANCED 4D NANO DESIGN」を完成発表。世界最速レベルのスーパーコンピュータ「京」、大型放射光施設「SPring-8」、大強度陽子加速器施設「J-PARC」といった世界に誇る日本の最先端研究施設を連携活用することで住友ゴムの新材料開発テクノロジーが完成。グリップ性能、燃費性能、耐摩耗性能といった背反する性能を同時にコントロールする事が可能となり、次世代の新材料開発を大幅に促進させていく。

ナノの世界を精密かつ大規模にシミュレーションし、コントロールする、ADVANCED 4D NANO DESIGNの世界観をここに再現する。



TOPIC 4

「さらなる技術革新で次々と課題を超えていく！」

1 高機能バイオマス材料

ダンロップは2013年東京モーターショーで100%石油外天然資源タイヤ「エナセーブ100」を発表・発売し、自然界に存在しないものをバイオマス技術で創出できるという最先端技術を見せつけた。バイオマス材料開発は環境のために単に天然資源へ置き換えるだけでなく、天然資源ならではの新たな価値を生み出す高機能バイオマス材料開発へと進化を続けている。



2 エアレスタイヤテクノロジー

1888年世界で初めて空気入りタイヤを発明して以来、常に先進的なタイヤを生み出してきたダンロップが、あえて空気を入れないエアレスタイヤテクノロジーを確立。「GYROBLADE(ジャイロブレイド)」と銘打って、メンテナンスフリーの良さに加えカラフルでポップな遊びの要素も実現した。



3 シーラントタイヤテクノロジー

高速走行をしている時などの危険なパンクを防ぐシーラントタイヤテクノロジー。今回独自技術として「CORESEAL(コアシール)」を開発。タイヤ内側のシール材が釘などによる穴を瞬時にふさぎ、空気漏れを防ぐCORESEALのしくみを体感できるコーナーが用意されている。



4 ランフラットタイヤ

安全性と省資源につながるため普及が進むランフラットタイヤにおいて、ノーマルタイヤよりも軽量で、優れた低燃費性能とファルケン史上最高のウエット性能を有し、乗心地においても非常に洗練されたプレミアムタイヤの開発を「NEO-T01」で進めており、今回そのプロトタイプを出展する。





グッドイヤー

2015年10月、新生グッドイヤー始まる。

グッドイヤーは世界3大タイヤメーカーのひとつ。グローバルネットワークを活かした商品ラインアップに加え、日本初公開となる「発電タイヤ」コンセプトも展示される。3D映像によるエキサイティングな演出も見どころだ。



TOPIC 1

今までも、これからも。
走り続けるグッドイヤー。

日本グッドイヤーは2015年10月、米国The Goodyear Tire & Rubber Companyの100%出資会社となり、新たなスタートを切った。日本でタイヤビジネスをスタートして63年。世界トップクラスの技術力とグローバルネットワークを活かし、日本のクルマと道路に最適な商品を提供し続けてきた。

日本のドライバーにもっとドキドキとワクワクを。新生グッドイヤーの新たな挑戦が、ここから始まる。



翼をあしらった「ウィングフット」の意味は？

ローマ神話の神、マーキュリーの羽が生えた靴から生まれたのが、グッドイヤーのシンボルマーク「ウィングフット」。吉報を届ける使者、マーキュリーの俊足にあやかりデザインされたものだ。

TOPIC 2 未来のモビリティを支える革新的コンセプト。発電するタイヤ「BH-03」、日本初公開！

販売台数の上位を占めるハイブリッド車、今後ますます普及が進む電気自動車、そして近未来の自動運転化。電気をいかにクルマに安定供給するか？という大きな課題に対する1つの答えが、発電タイヤ「BH-03」だ。

走行中はタイヤの発熱と変形による圧力を電気に変換、停止時には太陽光の熱を電気に変換してバッテリーに充電する。「走る＝発電」という革新的なコンセプトタイヤだ。



TOPIC

3

グローバルネットワークを活かした豊富なラインアップ。

例えば、高性能な輸入車には、その特性に合う輸入タイヤを。例えば、燃費を重視するドライバーには、国内で開発・生産した低燃費タイヤを。そして、四季で路面状況が変わる日本だからこそ、オールシーズンタイヤという選択肢を。

世界中のネットワークを駆使して、ドライバーのニーズに合わせた最適なタイヤを提供することができるのが、グッドイヤーの強みなのだ。



ハイパフォーマンス
スポーツタイヤ
EAGLE F1 ASYMMETRIC2



ハイパフォーマンス
エコタイヤ
E-Grip Performance



オールシーズンタイヤ
Vector 4Seasons



NTN

さまざまな“体験”を通して実感する先進の力

環境への配慮、安全性の向上、さらには「快適さ」まで追求し続けるNTNは、プロジェクションマッピングなど最先端の演出を用いて“体感”できる技術展示を充実させている。

TOPIC

1

NTNの最新技術で クルマの未来を体感

回転するところには必ず使われているベアリング。NTNはベアリングや等速ジョイントで培った技術をベースに、クルマの電動化、モジュール化、低燃費化に貢献するさまざまな商品を提供している。東京モーターショーのブースではNTN商品が使われている箇所を分かりやすく紹介し、体感してもらうことがテーマ。プロジェクションマッピングやドライブシミュレーター、ベアリングの組立て体験などを通して、NTNの最新技術を肌で感じて欲しい。



TOPIC

2

2モータオンボード駆動システム

EV用として、左右輪を個別モータで駆動する2モータオンボード駆動システムを展示。走行状態に応じて左右輪の駆動力を個別に制御するため、従来のワンモータタイプと比べてクルマの運転性能が飛躍的に向上する。また、NTNの主力商品であるハブベアリングやドライブシャフトもあわせて出品される。

システムで
総合的に支える、
安心と安全



次世代ステアリング用メカニカルクラッチユニット(MCU)

次世代ステアリング用メカニカルクラッチユニット(MCU)は、ステアパイプイヤー(次世代ステアリング)のステアリングとタイヤ間を機械的につなぐバックアップクラッチ機構である。通常運転時、MCUが解放されていることで路面状況に左右されないハンドリングが可能となり、悪路での操作性が向上する。

また、万が一の電氣的故障時には、ステアリングとタイヤを瞬時にMCUで機械的に連結することで、ステアリング操作が可能。ブースでは、これらの動きをドライブシミュレーターで体感することができる。

日立オートモティブシステムズ

『人・クルマ・社会がつながる未来へ』

「環境」「安全」「情報」分野のシステムイノベーションとシナジーソリューションによって、グローバルでクルマの進化を支え、次世代車両開発の駆動力となる企業である。

TOPIC

1

「Moving Forward !」 日立グループブース

今回の日立オートモティブシステムズのブースでは、「Moving Forward ! 人・クルマ・社会がつながる未来へ」をテーマに、カメラ、レーダなどのセンシング技術と地図、通信、ビッグデータ解析技術を融合した先進運転支援システムなどを映像でわかりやすく紹介する。

前回の東京モーターショーでも人気のアトラクション「モーションライドシアター」はさらに臨場感、没入感が向上。同社がスポンサーをしているインディカーレーシング「TEAM PENSKE」と国内で展開されているスーパーフォーミュラカーの映像などで、擬似ドライブ体験を楽しむことができる。他にも、同社が取組むモータースポーツに関する特設コーナーも充実。モーションライドシアターで体験したインディカーとスーパーフォーミュラカーの実車が展示され、実際のレースシーンの映像とともに迫力たっぷりの演出で魅せる。

このブースで、日立オートモティブシステムズならではの新たな取り組みや技術を実感しよう。



TOPIC 2台の フォーミュラカーを 迫力展示

2

モータースポーツコーナーでは、日立オートモティブシステムズがスポンサーシップを通じ、日立ブランドの浸透とともにモータースポーツの振興に貢献していることが実感できる。

まずはインディカー。同社はインディカー・シリーズに参戦中のチーム・ Penske に対するスポンサー契約を2012年から継続。今年は16レースの内、日立オートモティブシステムズがメインスポンサーとなるプライマリーレースが8レースあり、日立契約ドライバーのエリオ・カストロネベス



選手が日立のロゴと共に疾走、2015年年間チャンピオンシップ5位でフィニッシュ。

一方スーパーフォーミュラでは、全日本選手権スーパーフォーミュラを主催する日本レースプロモーションとパートナー契約を締結。全レースにおいて、参戦する11チーム計19台のスーパーフォーミュラの車両すべてに、日立ロゴが貼られている。

今回はこの2つのカテゴリーに参戦する実車を展示。「戦うためのクルマ」の迫力を、目の当たりにするチャンスだ。

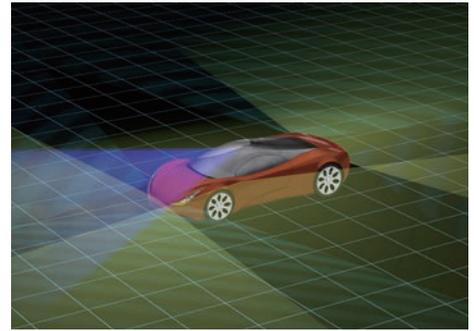
TOPIC 未来のクルマへ近づくテクノロジー

3

クルマの安全・安心を実現する技術として期待されているのが、自動運転システム。

自動運転の実現には、自車における360°センシングと自車が社会インフラとつながり、刻々と変化する環境の中で判断する必要がある。同社はクルマにおける高度なセンシング技術と日立グループが有している多彩な先進技術を活用することで、自動運転に向けた取り組みを実現。

今回のモーターショーでは、その成果である先進運転支援システムを映像で紹介。また、同社の強みであるエレクトロニクス化製品および電動化に向けたモーター、インバーター、Liイオン電池の展示を行っている。インバーターについては2015年10月に「超”モノづくり部品大賞”を受賞している。



TOPIC

4

オートモティブシステム事業の展開

日立オートモティブシステムズは、「人・クルマ・社会」に新たな価値を創造し、豊かな社会の実現に貢献」するため、グローバルに事業展開をしている。新たにインドネシア、インド、中国重慶などへ拡大を図り、世界各地のニーズに即した現地強化を行っている。

近年、自動運転を見据えた技術の進展や情報通信・電力網との融合など、自動車は独立した個別の製品から社会インフラを構成する重要な要素として変革の時を迎えている。

同社はそうした中、メガサプライヤー企業として、「環境」「安全」「情報」分野のコアコンポーネントに加え、自動運転システムの基盤となる先進運転支援システムの技術革新に注力している。

TOPIC

5

クリーンなクルマ社会に向けて「SMART MOBILITY CITY」 出展

併設開催の「SMART MOBILITY CITY2015」では、同社の関連会社である日立オートモティブシステムズメジャメントが水素ステーションを出展。

NEORISE（ネオライズ）と命名されたこの新型ディスペンサーは、高精度で安定した計測・充填を行うとともに、両側から充填することも可能になっている。信頼度と使い勝手が両立されているのだ。

また、ラウンドシャッターや表示部の全面がガラスにされるなど、デザイン面でのこだわりもみせている。

クリーンな未来の実現に向け、期待は大きい。



アルパイン

カーライフの“未来”と“いま”を回転ステージで提案。

近未来のコクピットと、車種専用カーナビを中心とした「ALPINE STYLE プレミアムスペースデザイン」。わくわくするドライブ体験を創造するアルパイン・ワールドを見に行こう。



近未来コクピットステージ

TOPIC 1

街と人と世界とつながる近未来のコクピット。

ハイブリッドカーや電気自動車が街を走り、自動運転カーの開発が進むなど、クルマの進化は急速に進んでいる。

そんな時代の変化をいち早くキャッチし、自動車ユーザーに新たなカーライフの価値を提供しているのが、アルパインだ。

アルパインは、カーナビゲーションをはじめとしたカーエレクトロニクス製品を世界70カ国以上で展開。日本、アメリカ、ドイツ、中国と世界4カ所に開発拠点をもち、地域によって異なる環境に対応する製品を送り出している。世界の自動車メーカーから、そして市販マーケットからの信頼も厚いブランドだ。

「お客様のカーライフを豊かにするモビリティ・イノベーションカンパニー」を目指すアルパイン

ン。今回の東京モーターショーでは、“近未来”と“いま”、2つのテーマを回転ステージで魅せるという大がかりな仕掛けを用意している。

コクピットステージでは、ステージ上に近未来のコクピットが出現。カーナビゲーション、カーAV、通信機能、さらに安全運転支援システムまでカバーするアルパインの最新技術を結集し、近未来のドライブシーンを切り取ったカーライフを提案。近い将来の快適で安心して満ちた一日のドライブの姿が、大型スクリーンに広がる。

各種センサーやカメラ、通信から得た情報を駆使して、より安全で快適なドライブを実現する近未来のモビリティ。こんなクルマを運転できる日は、もうすぐそこかもしれない。

TOPIC

2

プレミアムな車種専用空間を創り出す「ALPINE STYLE プレミアムスペースデザイン」。

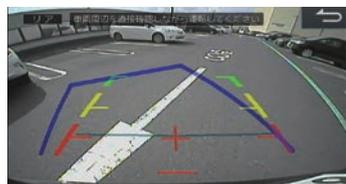


「ALPINE STYLE プレミアムスペースデザイン」ステージ

舞台がぐるりと回ると、「ALPINE STYLE プレミアムスペースデザイン」ステージに。8型、9型、そして市販ナビ最大の10型まで、「ビッグX プレミアムシリーズ」がズラリと並ぶ。この展示のサプライズは、アルファード、オデッセイ、セレナなどの実車のコンソールを用いて、フォルムや質感にこだわった専用パネルとともに収まっていること。実際に触って操作できるのはもちろん、車種専用設計されたフィッティングの完成度も体感できる。

アルパインは2010年の「ビッグ X」発売以来、徹底した車種専用設計を推し進めている。ナビ起動時にはその車種専用のオープニング画面が表示され、音響空間も専用チューニング。さらに、リアビジョンやバックビューカメラ、スピーカーを組み合わせることで車内をトータルデザインするのが、「ALPINE STYLE プレミアムスペースデザイン」だ。

VR（仮想空間）技術を使って、スマートフォンの画面で「ALPINE STYLE プレミアムスペースデザイン」を体感できるコンテンツも用意。車種専用のプレミアムな空間を味わってみよう。



バックビューカメラのガイド線は車種ごとに実車で計測したもの。ハンドル操作に合わせてガイド線が動くステアリング運動も、車種専用ならではの。



高精細なWXGA液晶の採用に合わせ、地図データもチューニング。地図画面はくっきりと見やすく、地デジ放送などの映像は息をのむほど美しい。



EX10-AL-B
アルファード専用10型WXGAカーナビ（ブラック）



スマートフォンの画面に「ALPINE STYLE プレミアムスペースデザイン」の車内空間が広がる。リアビジョンやスピーカーにタッチすると、各製品の機能が表示される。

リアビジョンを装着すれば、子供たちの笑顔があふれる。

子育て家族にとって、後席用モニターはドライブの必需品。アルパインのリアビジョンは、世界初の12.8型WXGA液晶搭載モデルなど、ラインアップが豊富。前席でナビ、後席でDVDと、異なるコンテンツを楽しむダブルゾーン機能も便利だ。

よく行くお店をすぐに探せる「クイックお気に入り検索」や、「ダブルゾーンコミュニケーション」機能など、子育てファミリーのドライブをサポートする機能も魅力だ。



12.8型WXGAリアビジョン PXH12-RB-AV
(アルファード / ヴェルファイア専用モデル)

リアビジョンも車種専用取付けキットで美しく装着。



よく行くお店をすぐに探せる「クイックお気に入り検索」。旅先でも、いつものお店が探せて安心。



ドライバーの声をマイクで拾ってリアスピーカーから出す「ダブルゾーンコミュニケーション」機能。後席との会話も弾む。

TOPIC

3

三菱電機

電機メーカーがつくる未来のクルマ社会！

自動車関連事業において約80年の歴史を持つ三菱電機。近未来の自動車像やクルマ社会を紹介するほか、最先端のコンセプトカーを展示。総合電機メーカーならではの体験型ブースに、ぜひ足を運んでみよう。



TOPIC 1

製品を扱い、クルマ社会を大きく支えている。

その三菱電機が今回、「Feel the EMIRAI (イーミライ)」をコンセプトに近未来の自動車像・クルマ社会を紹介する。

ブースでは、コンセプトカーの他、ヘッドアップディスプレイの体験、最新のDIATONE SOUND.NAVIの紹介など、最新技術を体験できるコーナーを多数設けている。

総合電機メーカーだからこそ創り出せる、「未来への取り組み」を、ぜひ体験して欲しい。

「Feel the EMIRAI」ーさあ、今すぐ最新技術を体感しよう！

家電を始め総合電機メーカーとして知られる三菱電機。実は自動車関連事業においても約80年の歴史と伝統がある。オルタネータやスタータ等のエンジン電装品、省エネ追求に

はもはや不可欠な電動パワーステアリング用モータやハイブリッド車用のモータ制御ユニット、そしてカーナビやオーディオ等の情報通信技術をベースにしたカーマルチメディア

TOPIC 2

最先端技術を搭載した コンセプトカー「EMIRAI3」

最先端のコンセプトカー「EMIRAI3 (イーミライスリー)」を2台展示。

2台のコンセプトカーのうち、1台は、予防安全(自動運転)コンセプトカー「EMIRAI3 xAUTO (イーミライスリーエクスオート)」である。「大切にしたいのは、どんな時でも人を想うこと」というテーマの下、「あなたを想う三菱電機の予防安全技術「Diamond Safety」」を搭載。実証試験を積み重ねた、自動走行を柱とする三菱電機の予防安全(自動運転)技術を知ることが出来る。

もう1台は運転支援系コンセプトカー「EMIRAI3 xDAS (イーミライスリーエクスダス)」である。「Feelings come true (想い

EMIRAI3 xDAS



狭路での高精度位置制御技術



視線移動低減 HMI



EMIRAI3 xAUTO

を叶える)」をコンセプトに、ユーザーの想いを察し、伝え、叶えることを目的とした次世代車載技術を搭載したものだ。例えば、視線移動低減HMI(ヒューマンマシンインターフェース)は、温度調節やボリューム調整を手の動きのみで感覚的に行うことが

可能だ。さらに、3Dヘッドアップディスプレイの搭載により、運転時の安全性と快適性を向上させている。他にも多数の技術が搭載されているxDASは、実際に会場で乗車体験をすることが出来る。

近未来のクルマ社会を実感してみよう！

SCHAEFFLER

シェフラー

観て感じる未来のモビリティ・ブース

自動車始め産業機械の世界的サプライヤーであるシェフラーグループが、未来のモビリティに貢献する様々なソリューションをわかりやすく展示。

このブースでは、シェフラーグループの先進技術がグッと詰まった“グラスカー”と“フォーミュラEショーカー”が来場者のお出迎えをする。

“グラスカー”では、エンジン・トランスミッション・シャシーといったドライブトレインの電動化技術や、将来の燃費・排気規制に対応するシステムソリューションを提案。

インターアクティブなタッチパネルが、エンジン（AS用ディカッピングテンショナー、電動VCT、UniAirシステム、転がり軸受）やトランスミッション（CVTチェーン、遠心振り子ダンパー）、シャシー（電動ロールスタビライザー、車高調整アクチュエータ）、e-Mobility（電動アクスル、ハイブリッドモジュール）等をわかりやすく解説してくれる。

“フォーミュラEショーカー”は、2014/2015年にシェフラーがスポンサーした「ABT Team Sportsline」のマシンSpark SRT_01Eの展示用車両。2014年9月の北京を皮切りに11戦が開催されたこのシーズンでは、チーム総合3位を獲得している。

2015/2016年も引き続きシェフラーがスポンサーをつとめ、ドライブトレインの開発を担当する。チーム名は「ABT Schaeffler Audi Sports」だ。



グラスカー



フォーミュラEショーカー

akebono

曙ブレーキ

さりげない安心と感動する制動性能を

akebonoはブレーキパッドやライニングなどの摩擦材、ディスクブレーキやドラムブレーキなどの機構部分を総合的に開発、製造し、グローバルに供給している。

akebonoは1929年の創業以来、「安全」・「安心」を提供するグローバルなブレーキ専門メーカーとして社会に貢献して来た。自動車用ブレーキ製品を中心に、一般車両向けからハイパフォーマンス車向けまで開発、製造を行っており、日本の自動車メーカー向けディスクブレーキパッドのOEMシェアでは、約40%を占めている。

また、長年のブレーキ開発で培ったコア技術を生かし、自動二輪から、フォークリフトや風力発電などの産業機械、鉄道車両にまで事業領域を拡大。鉄道車両用製品では、日本が誇る新幹線にブレーキシステムを供給し、約半数のシェアを獲得している。

さらに、2007年より自動車レースの最高峰であるF1に参戦する名門マクラーレンチームにブレーキシステムを供給するなど、モータースポーツ活動を通じた技術の研鑽を続けている。



富士通 / 富士通テン

ICTでクルマは人のベストパートナーに。

人とクルマ、社会とクルマがICT*1でつながると、クルマは人のベストパートナーになる。
富士通グループのブースで、近未来のドライブシーンをひと足先に体験しよう。



TOPIC 1

安心・安全、快適。クルマ社会が抱える課題にICTで挑む。

富士通/富士通テンブースのテーマは、「ICTでクルマは人のベストパートナーに」。2社の共同出展は今回が初めてだ。

パソコン、スマートフォンだけでなく、乗り物や家電、自宅や医療機器などあらゆるモノがインターネットにつながるIoT (Internet of Things) の時代が始まっている。2020年には500億ものモノがインターネットにつながり、自動的に多種多様なデータを送受信するようになる。流通、金融、健康・医療、交通など異なる情報がやりとりされ、生活の質を高め、より豊かな経験をもたらす。もちろん

クルマも、だ。

富士通グループでは、交通・クルマ分野におけるテクノロジーとサービスの提供を、重要な領域の1つと位置づけている。

そこで、今回の東京モーターショーでは、富士通の「ヒューマンセントリック・イノベーション」の考えに基づくICTと、富士通テンの「つながる」サービス「Future Link^{※2}」およびカーエレクトロニクス技術を融合させ、近未来のモビリティ社会をより快適に、より安全なものにする製品やサービスを提案している。

ドライバーの挙動や、先行車・後続車との車間距離、人や自転車など車両に接近してくる物体など、クルマの外の状況を捉える「センシング」。交通情報や天候などの情報をかけ合わせて先を予測する「情報分析」。ドライブに有益な情報を、ドライバーに適切なタイミングでわかりやすく伝える、まるでコンシェルジュのように気が利く「HMI^{※3}」。

この3つの技術を組み合わせることで、クルマの安全性、快適性を高め、もっと自由で快適なモビリティ社会を実現することができるのだ。

用語
解説

※1 ICT: ITにCommunicationをプラスした、Information and Communication Technology(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)の略。コンピュータやデータ通信技術を使って、暮らしやビジネスの情報や知識をより的確に伝達する情報通信技術。

※2 Future Link®: 「人」「クルマ」「社会」のデータをつなぎ合わせて、ユーザー1人ひとりに合わせた新たなモビリティライフを提供する、車載情報機器・サービスのコンセプト。

※3 HMI: Human Machine Interface (ヒューマン・マシン・インターフェイス)の略。人と機械が情報をやり取りするための手段や、そのための装置。

最新技術をわかりやすく解説するステージと、 コクピットコーナーで近未来を体感。

ステージでは、富士通グループのICTを活用したモビリティ社会を、大型ビジョンの映像にMCのパフォーマンスを交えて、わかりやすく紹介。先進のHMI技術を搭載したコクピットでは、ドライバーの注

意力低下を発見して適切な警告をしたり、ゲリラ豪雨など天候の変化による影響を予測してルートを変更する…といった近未来のドライブシーンをドライバー目線で体感することができる。

TOPIC 2



車内外の情報を収集して分析。より安全に、快適に移動するための情報をドライバーに提供する近未来のコクピット。ヒューマンセントリックの設計思想が注入されている。

TOPIC 富士通グループの最新技術がズラリ。その目で確かめよう。

3

ICT関連の技術展示も興味深い。カメラ映像を合成し、車両の周囲をさまざまな視点から見る事ができる「マルチアングルビジョン」。自動追従や衝突被害軽減システムなどに採用されている「ミリ波レーダー」。ドライバーの眠気を検知するセンサー「FEELythm」。人の目で個人を特定する生体認証技術「虹彩認証」。人やクルマなどの情報に、天候

などの社会情報を統合分析する「分析ソリューション」などなど。富士通グループの最新のICTを目のあたりにすることができる。

また、ECLIPSE最新カーナビ（11月上旬発売）のタッチ&トライコーナーも必見だ。声で目的地を検索したり、オーディオを操作するのを実際に体験できる。



ミリ波レーダー

ミリ波レーダーは、対象物までの距離・角度・相対速度を高精度に測定。危険と判断した時に、ブレーキと連動させるなど、衝突を未然に防ぐのに貢献。



虹彩認証

虹彩認証は、人の黒目にある「虹彩」と呼ばれる部分のシワのパターンを認識して本人確認を行う。



分析ソリューション

個々の車両情報や蓄積された交通情報、さらに天候などの社会情報を分析することで、「先」を予測する。

Future Link.



ECLIPSE「つながるナビ」AVN-SZX05i

「Future Link」のコンセプトを実用化した最新カーナビ。通信ユニットが付属していて、毎月1回、全国すべての道路が自動で更新される。専用のエージェントアプリ「CarafL」を使って、会話しながら目的地を探したり、カーオーディオを操作することもできる。



ブースめぐりの合間にホテルの味を。

東京モーターショー・ダイニング

今年の東京モーターショーはグルメも充実。498席もある広々とした空間で本格的な料理を味わえるのが、会議棟1階にある「東京モーターショー・ダイニング」だ。

東京ベイ有明ワシントンホテルが提供するメニューは日替わりで、本日のカレー、本日の肉料理、本日の魚料理の中から選べる。どの料理

も1000円（税込み）均一。これはお値打ちだ。

会議棟の1階に行くには、会場を一度出ることになる。エントランスホールにある「会議棟連絡口」という出入口で、スタッフに再入場用のリストバンドを手首にまいてもらおう。エスカレーターで1階へ降りて左方向へ進めば、「東京モーターショー・ダイニング」は目の前だ。

**場所：会議棟 1階
レセプションホール**

営業日：10月31日（土）～
11月8日（日）

営業時間：
平日 11:00～15:00
土日・祝 11:00～17:00

ラストオーダー
平日 14:30
土日・祝 16:30
価格：1,000円（税込み）
総座席数：498席



東京ベイ有明ワシントンホテル
総料理長
植木俊昭 氏

「東京ベイ有明ワシントンホテルのあたたかいお料理をご用意しております。ぜひお越し下さい。」

本日のカレー (サラダ付)

Today's Curry & Rice with Salad



シーフードカレー
Seafood Curry 11月1日・5日・8日



ビーフカレー
Beef Curry
10月31日 11月3日・7日



海老のグリーンカレー
Shrimp Green Curry
11月2日・4日・6日



ローストポーク
ジンギスカンソース
Roast Pork
with Barbecue Sauce
10月31日 11月4日・7日



鶏肉の唐揚げ おろしポン酢
Deep Fried Chicken
with Grated Radish & Ponzu
11月2日・5日・8日

本日の肉料理 (ライス付)

Today's Meat Dish & Rice

和風
ハンバーグステーキ
おろしソース
Hamburger Steak
with Grated Radish & Ponzu
11月1日・3日・6日



鯾のフライと海老フライの盛合せ
Deep Fried Horse Mackerel
& Deep Fried Shrimp
with Tartar Sauce
10月31日 11月3日・6日

本日の魚料理 (ライス付)

Today's Fish Dish & Rice

鮭のソテーと白身魚 (ホキ) の唐揚げ
Sauteed Salmon
& Deep Fried HOKI
with Sweet & Sour Sauce
11月1日・4日・7日



白身魚 (舌平目) の
バルサミコ酢入りバターソース
Steamed Sole with Butter Sauce
& Balsamic Vinegar
11月2日・5日・8日



(提供日の青は土曜日、赤は日祝日です)



食べ歩きの人たちが厳選した全国の美味しいものが、東京モーターショー会場に集結。その数なんと20店。各展示ホールに点在しているので、ブースを回りながら食べ歩くのも一興だ。(詳細はP104-105)

レストランマップ

Food & Drink



レストラン
Restaurant



カフェ
Cafe

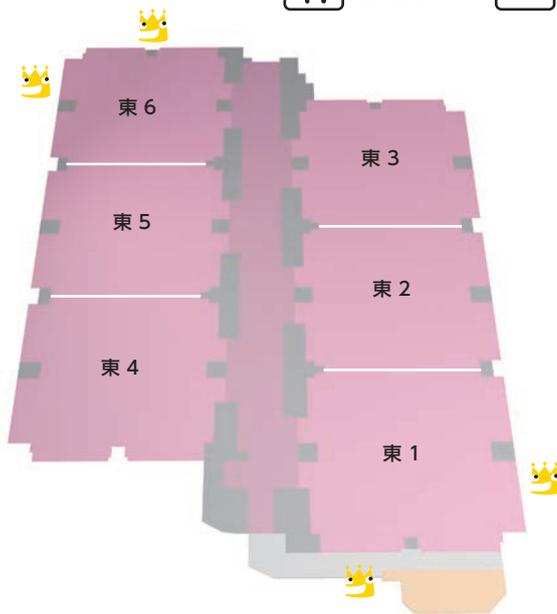


コンビニエンス
convenience store



グルメキングダム 2015
Gourmet Kingdom 2015

東1F



東2F



トイレマップ

Restroom & Nursery



化粧室
Restroom

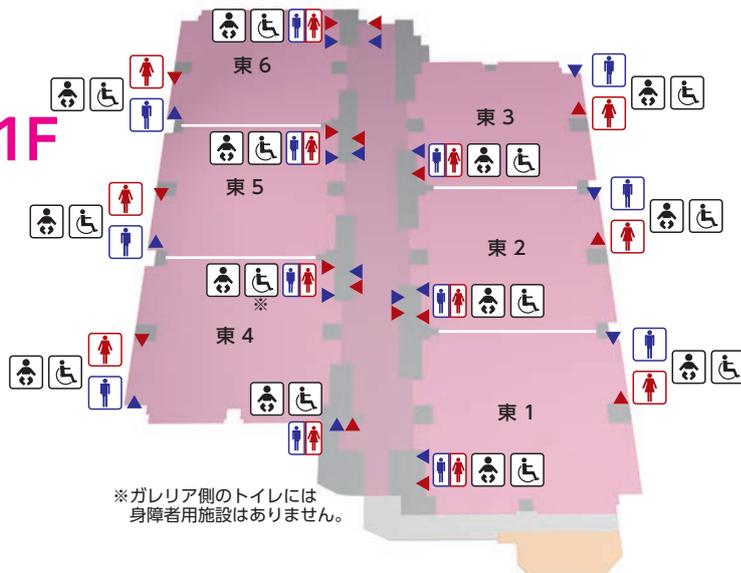


身障者用施設
Accessible Facility

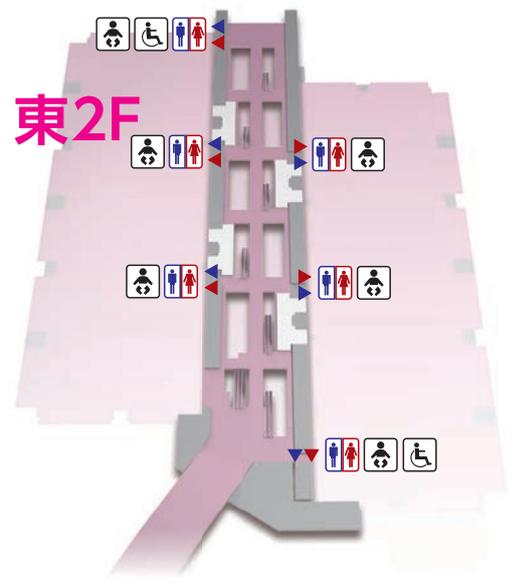


乳幼児用施設
Nursery

東1F



東2F



その他の施設

Other facilities



救護室
First-Aid



AED
AED



喫煙所
Smoking room

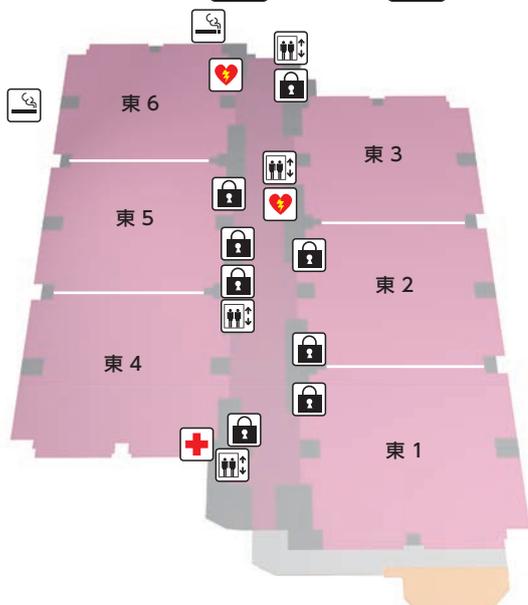


コインロッカー
Coin locker



エレベーター
Elevator

東1F



東2F



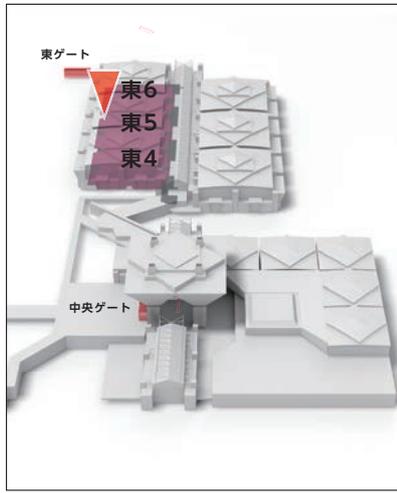
EAST

Exhibition Hall
1F



4・5・6 東

東展示棟 1階



東3

東京ビッグサイト全体図



化粧室
Restroom



自動車ガイドブック販売所
Japanese Motor Vehicles
Guidebook Store



インフォメーション
Information



オフィシャルグッズショップ
Official Merchandise Shop



エレベーター
Elevator



グルメキングダム 2015
Gourmet Kingdom 2015

● カロツェリア Carrozzeria

CZ	01	株式会社KEN OKUYAMA DESIGN	Ken Okuyama Design
	02	株式会社高山自動車	Takayama Cars

● 部品 / 機械器具 Parts, Machinery and Tools

E4	001	スタンレー電気株式会社	Stanley Electric Co., Ltd.
	002	株式会社東海理化	Tokai Rika Co., Ltd.
	101	株式会社豊田自動織機	Toyota Industries Corp.
	102	日本特殊陶業株式会社	NGK Spark Plug Co., Ltd.
	103	三菱電機株式会社	Mitsubishi Electric Corp.
	201	株式会社デンソー	DENSO CORPORATION
		アスモ株式会社	Asmo Co., Ltd.
		アンデン株式会社	Anden Co., Ltd.
		浜名湖電装株式会社	Hamanakodenso Co., Ltd.
		京三電機株式会社	Kyosan Denki Co., Ltd.
E5	202	日立オートモティブシステムズ株式会社	Hitachi Automotive Systems, Ltd.
		株式会社日立製作所	Hitachi, Ltd.
	003	NOK株式会社	NOK Corp.
	004	住友理工株式会社	Sumitomo Riko Co., Ltd.
	005	住友電気工業株式会社	Sumitomo Electric Industries, Ltd.
	006	株式会社小糸製作所	Koito Mfg. Co., Ltd.
	007	矢崎総業株式会社	Yazaki Corp.
	104	株式会社クゼー	Kuzeh Corp.
	105	株式会社ケーヒン	Keihin Corp.
	106	Schaeffler AG	
	107	MAHLE GmbH	
		株式会社マールフィルターシステムズ	MAHLE Filter Systems Japan Corp.
		マールエンジンコンポーネンツジャパン株式会社	MAHLE Engine Components Japan Corp.
		マールベアアジャパン株式会社	MAHLE Behr Japan KK
	108	日本グッドイヤー株式会社	Goodyear Japan Ltd.
	109	横浜ゴム株式会社	The Yokohama Rubber Co., Ltd.
	110	ティ・エステック株式会社	TS Tech Co., Ltd.
112	TONE株式会社	TONE Co., Ltd.	
113	株式会社東日製作所	Tohnichi Mfg. Co., Ltd.	
114	クラリオン株式会社	Clarion Co., Ltd.	
203	Continental Automotive Corp.		
204	Robert Bosch GmbH		
	ボッシュ株式会社	Bosch Corp.	
205	株式会社ブリヂストン	Bridgestone Corp.	
206	住友ゴム工業株式会社	Sumitomo Rubber Industries, Ltd.	
E6	008	株式会社ミツバ	Mitsuba Corp.
	009	株式会社ベース	Basis Co., Ltd.
	010	株式会社カーメイト	Car Mate Mfg. Co., Ltd.
	111	豊田合成株式会社	Toyoda Gosei Co., Ltd.
	207	トヨタ紡織株式会社	Toyota Boshoku Corp.

東2

東1

東 1・2・3

東展示棟 1階



化粧室
Restroom



自動車ガイドブック販売所
Japanese Motor Vehicles Guidebook Store



インフォメーション
Information



オフィシャルグッズショップ
Official Merchandise Shop



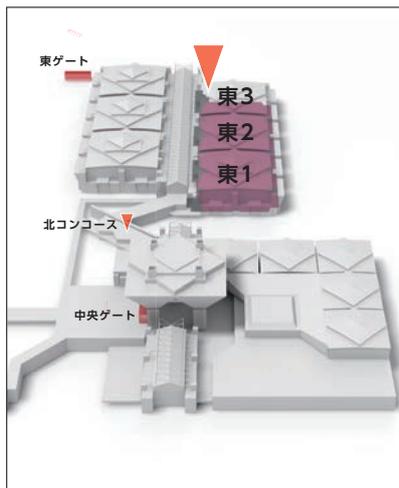
エレベーター
Elevator



グルメキングダム 2015
Gourmet Kingdom 2015

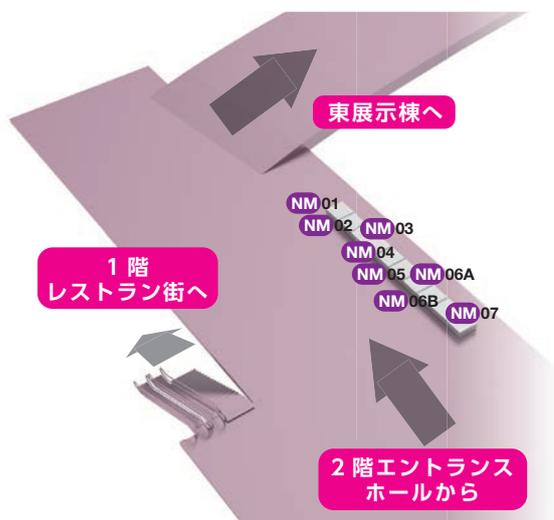
● 車体 Vehicle Bodies

EB	01	トヨタ車体株式会社	Toyota Auto Body Co., Ltd.
	02	トヨタ自動車東日本株式会社	Toyota Motor East Japan, Inc.
	03	日産車体株式会社	Nissan Shatai Co., Ltd.



東京ビッグサイト全体図

北コンコース North Concourse



● 新聞・雑誌コーナー Newspaper & Magazine Corner

NM	01	株式会社交通毎日新聞社	Kotsu Mainichi ShimbunSha Co., Ltd.
	02	株式会社講談社ビーシー	Kodansha-bc, Co., Ltd.
	03	株式会社フォーイン	Fourin, Inc.
	04	株式会社カーアンドレジャーニュース	Car and Leisure News Inc.
	05	株式会社ぼると出版	Porte Publishing Co.
	06A	株式会社グランプリ出版	Grand Prix Book Publishing
	06B	有限会社三樹書房	Miki Press
07	株式会社日刊自動車新聞社	Nikkan Jidosha Shimbun, Inc. (Daily Automotive News)	

● 部品・機械器具 Parts, Machinery and Tools

E1	001	ZF Friedrichshafen AG	
	002	Öhlins Racing AB	
	003	日信工業株式会社	Nissin Kogyo Co., Ltd.
	004	株式会社エクセディ	Exedy Corp.
	005	協和工業株式会社	Kyowa Kogyo Co., Ltd.
E2	007	株式会社ヨロズ	Yorozu Corp.
	008	日本発条株式会社	NHK Spring Co., Ltd.
	009	曙ブレーキ工業株式会社	Akebono Brake Industry Co., Ltd.
	010	日立金属株式会社	Hitachi Metals, Ltd.
	011	日本精工株式会社	NSK Ltd.
	012	株式会社松井製作所	Matsui Universal Joint Corp.
	013	NTN株式会社	NTN Corp.
	014	アルパイン株式会社	Alpine Electronics, Inc.
	015	富士通テン株式会社	Fujitsu Ten Ltd.
		富士通株式会社	Fujitsu Ltd.
	016	株式会社ソニックデザイン	Sonic Design Co., Ltd.
	017	富士機工株式会社	Fuji Kiko Co., Ltd.
	201	アイシン精機株式会社	Aisin Seiki Co., Ltd.
		アイシン高丘株式会社	Aisin Takaoka Co., Ltd.
		アイシン化工株式会社	Aisin Chemical Co., Ltd.
	アイシン・エイ・ダブリュ株式会社	Aisin AW Co., Ltd.	
	アイシン・エーアイ株式会社	Aisin AI Co., Ltd.	
	株式会社アドヴィックス	Advics Co., Ltd.	
202	株式会社ジェイテクト	JTEKT Corp.	
203	株式会社アステア	Asteer Co., Ltd.	
	株式会社アーク	Arrk Corp.	
	大野ゴム工業株式会社	Ohno Rubber Industrial Co., Ltd.	
	協栄プリント技研株式会社	Kyoei Print Giken Co., Ltd.	
	藤壺技研工業株式会社	Fujitsubo Giken Kogyo Co., Ltd.	
	丸子警報器株式会社	Maruko Keihoki Co., Ltd.	
	西岡可鍛工業株式会社	Nishioka Malleable Iron Ind. Co., Ltd.	
	やまと興業株式会社	Yamato Industrial Co., Ltd.	
	株式会社ワイビーシステム	YP System Co., Ltd.	
	一般社団法人	Japan Auto Parts Industries Association	
	日本自動車部品工業会	Association	
E3	011	オムロンオートモーティブエレクトロニクス株式会社	Omron Automotive Electronics Co., Ltd.
	012	ジャトコ株式会社	Jatco Ltd.

乳児・幼児 サービスセンター

授乳やオムツ交換の出来る施設。3歳から6歳までの幼児(未就学児)の預かりもします。

● 車体屋外展示場 (17時閉場) Vehicle Bodies (Outdoor Exhibition)

OE01	株式会社浜名ワークス	Hamana Works Co., Ltd.
	株式会社花見台自動車	Hanamidai Auto Co., Ltd.
	KYB株式会社	KYB Corp.
	極東開発工業株式会社	Kyokuto Kaihatsu Kogyo Co., Ltd.
	新明和工業株式会社	ShinMaywa Industries, Ltd.
	日本フルハーフ株式会社	Nippon Fruehauf Co., Ltd.
	日本トレクス株式会社	Nippon Trex Co., Ltd.
	日通商事株式会社	Nittsu Shoji Co., Ltd.
	須河車体株式会社	Sugawa Shatai Co., Ltd.
	株式会社タダノ	Tadano Ltd.
	東邦車輛株式会社	Toho Car Co., Ltd.
	八千代工業株式会社	Yachiyo Industry Co., Ltd.
	株式会社矢野特殊自動車	Yano Special Purpose Vehicle Co., Ltd.
	一般社団法人日本自動車車体工業会	Japan Auto-Body Industries Association Inc.

EAST

Exhibition Hall
1F



東3

会場内
シャトルバス

東2

東1

屋外休憩所

東1のりば

西1・2へ

西1・2より

屋外休憩所

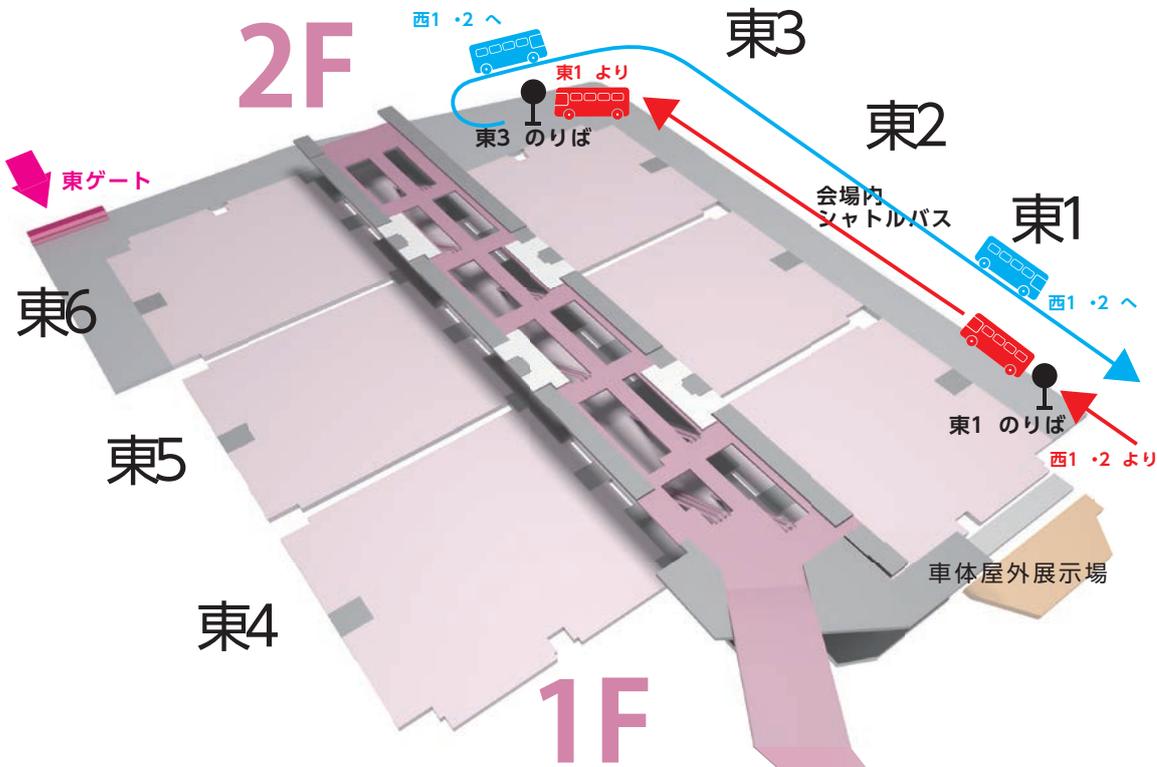
2階エントランス
ホールから

東 EAST Exhibition Hall

The 44th TOKYO MOTOR SHOW 2015 会場フロアマップ



▶ 東1 ・2 ・3 出展者



▶ 東4 ・5 ・6 出展者

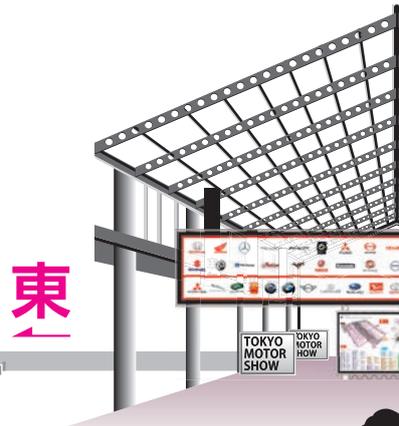


北コンコース1F レストラン街



2F

エントラン 中央ゲートを



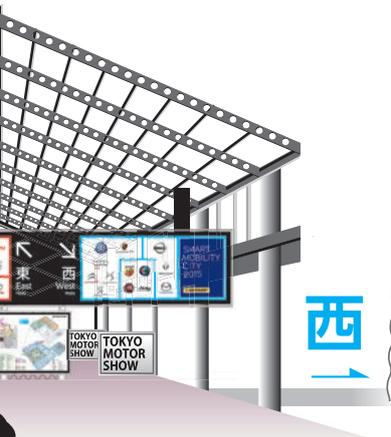
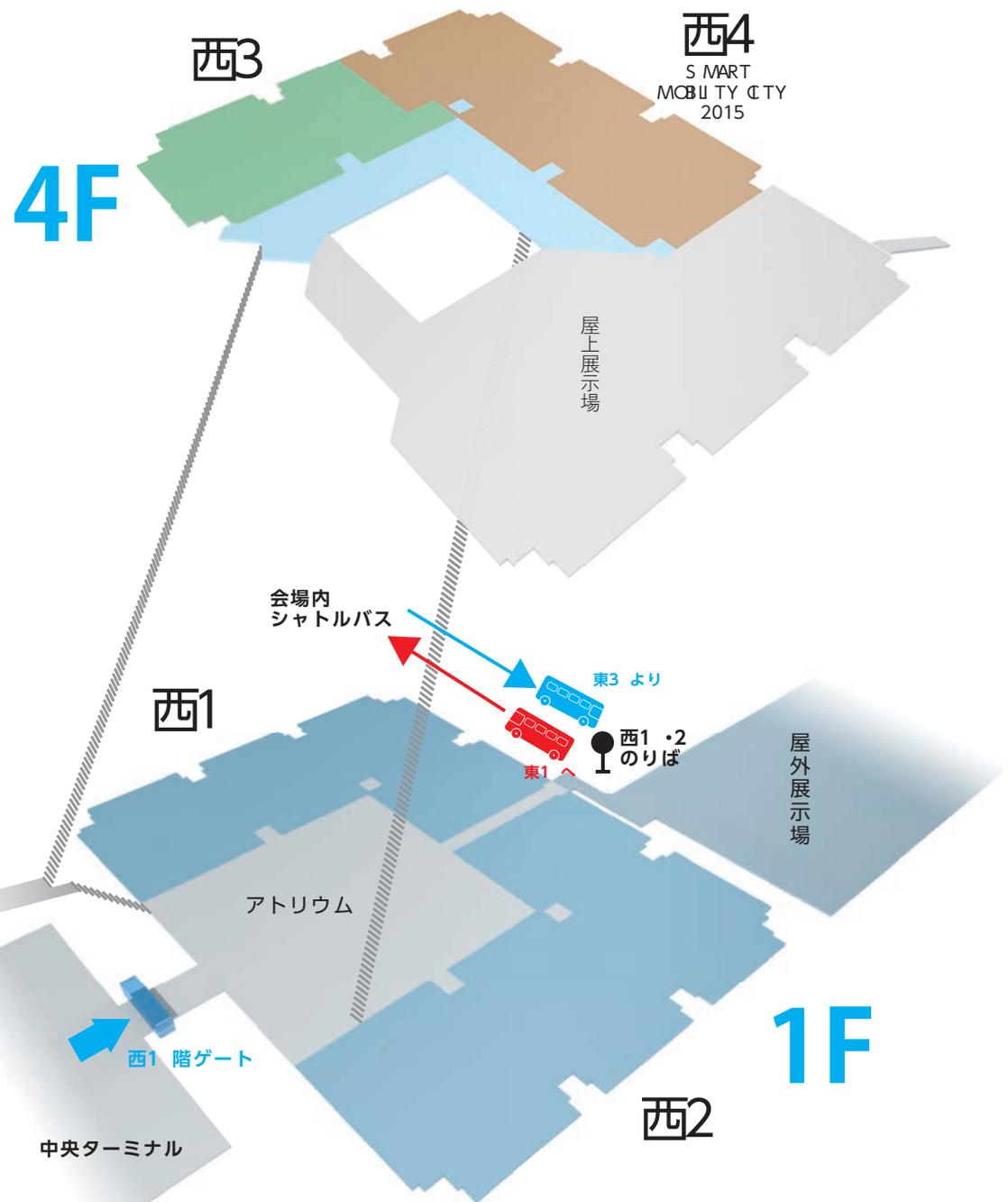
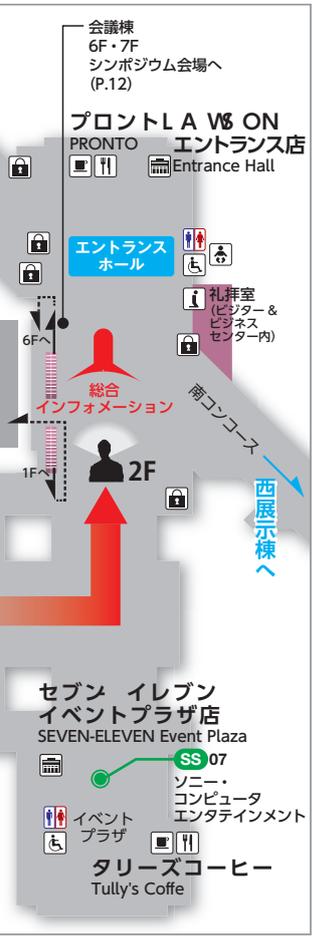


WEST 西

Exhibition Hall



ール2F マップ



▶ 西1・2 出展者



スホール
入って左へ

西 1・2

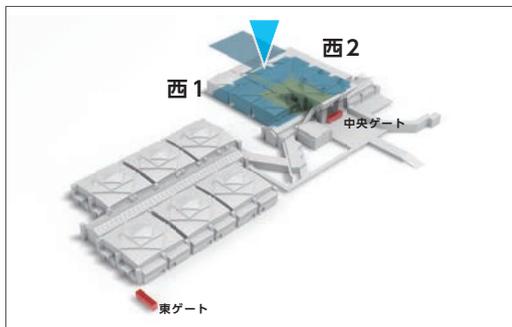
西展示棟 1階

屋外展示場

Outdoor Exhibition Area

プロの運転による乗用車同乗試乗会
10月29日(木)～11月3日(火・祝)

二輪車試乗会
11月5日(木)～8日(日)



東京ビッグサイト全体図



化粧室
Restroom



インフォメーション
Information



試乗受付
Reception desk of test drive



自動車ガイドブック販売所
Japanese Motor Vehicles
Guidebook Store



オフィシャルグッズショップ
Official Merchandise Shop



エレベーター
Elevator



グルメキングダム 2015
Gourmet Kingdom 2015

会場内
シャトルバス

東3より
東1へ

部品 Parts

W1	001	大豊工業株式会社	Taiho Kogyo Co., Ltd.
	002	イワタボルト株式会社	Iwata Bolt Co., Ltd.
	003	株式会社ミクニ	Mikuni Corp.
	004	株式会社ユーシン	U-Shin Ltd.
	005	株式会社今仙電機製作所	Imasen Electric Industrial Co., Ltd.
W2	006	八千代工業株式会社	Yachiyo Industry Co., Ltd.
	007	デルタ工業株式会社	Delta Kogyo Co., Ltd.
	008	株式会社データシステム	Datasystem Co., Ltd.
	009	株式会社タチエス	Tachi-S Co., Ltd.
	010	メキシコ大使館商務部PROMEXICO	Trade Commission of Mexico in Japan ProMexico

プロの運転による 乗用車同乗試乗会 (P.11)

10月29日(木)～
11月3日(火・祝)

屋外展示場の特設コースでは「乗用車同乗試乗会」を開催。モータージャーナリストやインストラクターの運転で、各メーカーの最新モデルを体験しよう。



二輪車試乗会 (P.11)

11月5日(木)～8日(日)



「二輪車試乗会」も開催。最新モデルに乗れるチャンスだ。

グルメキングダム 2015 (P.104～P.105)

たべあるキング(=トップグルメブロガー)が厳選したグルメの名店が東京モーターショーにやってきた! 普段はイベントに出店しない名店が20店、スペシャルメニューを提供。屋外展示場には8店が集結します。



西 4 階屋上展示場から

東京モーターショー
60周年記念パレードシンボルカー
Tokyo Motor Show
60th Anniversary Parade Symbol Car

西 2

西 3・4 へ

西 1 階ゲートから

2階エントランスホールから



SMART MOBILITY CITY 2015

Supported by DUNLOP

SMC	01	株式会社STYLE-D	STYLE-D Co., Ltd.
	02	WHILL株式会社	WHILL Co., Ltd.
	03	株式会社エクスマキナ	eX machina Corp.
	04	トヨタ自動車株式会社	Toyota Motor Corp.
	05	ジード株式会社	ZieD Co., Ltd.
	06	株式会社ヒット	Hit Co., Ltd.
	07	Ninebot Inc.	
	08	さいたま市	Saitama City
	09	経済産業省資源エネルギー庁	Agency for Natural Resources and Energy, Ministry of Economy, Trade and Industry
	10	水素供給・利用技術研究組合	The Research Association of Hydrogen Supply/Utilization Technology
	11	マツダ株式会社	Mazda Motor Corp.
	12	本田技研工業株式会社	Honda Motor Co., Ltd.
	13	株式会社エフエム東京	TOKYO FM Broadcasting Co., Ltd.
	14	国土交通省道路局	Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Road Bureau
	15	特定非営利活動法人ITS Japan	ITS Japan
	16	一般財団法人道路交通情報通信システムセンター	Vehicle Information and Communication System Center
	17	日立オートモティブシステムズメジャメント株式会社	Hitachi Automotive Systems Measurement, Ltd.
	18	三菱自動車工業株式会社	Mitsubishi Motors Corp.
	19	日産自動車株式会社	Nissan Motor Co., Ltd.
	20	旭硝子株式会社	Asahi Glass Co., Ltd.
	21	株式会社ナビタイムジャパン	NAVITIME JAPAN Co., Ltd.
	22	パイオニア株式会社	Pioneer Corp.
	23	環境省	Ministry of the Environment Government of Japan

新聞・雑誌コーナー

Newspaper & Magazine Corner

NM	08	株式会社交通タイムス社	Kotsu Times Sha
	09	株式会社三栄書房	San-ei Shobo Publishing Co., Ltd.
	10	株式会社ネコ・パブリッシング	Neko Publishing Co., Ltd.
	11	株式会社内外出版社	Naigai Publishing Co., Ltd.
	12	株式会社モーターマガジン社	Motor Magazine Ltd.
	13	株式会社八重洲出版	Yaesu Publishing Co., Ltd.

西4 SMART MOBILITY CITY 2015

クルマとくらしと社会の未来を展望する情報プログラム。(P74~75)

超小型モビリティ試乗コース

ステーションコア

パーソナルモビリティ試乗コース



部品・機械器具 / 自動車関連サービス

Parts, Machinery and Tools / Automobile Related Services

W3	001	国土交通省自動車局	Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Road Transport Bureau
		独立行政法人自動車事故対策機構	National Agency for Automotive Safety and Victims' Aid
	003	ミドリホクヨー株式会社	Midori Hokuyo Co., Ltd.
	004	Samvardhana Motherson Group	
	005	KYB株式会社	KYB Corp.
	101	一般社団法人全国自動車標板協議会	National Automobile License Plate Council
	102	国土交通省自動車局	Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Road Transport Bureau
	201	一般社団法人日本自動車連盟	Japan Automobile Federation
	202	九都県市首脳会議環境問題対策委員会 大気保全専門部会	9 Capital Prefecture City Expert Committee of the Atmospheric Environment Section
	301	イサム塗料株式会社	Isamu Paint Co., Ltd.
	302	アルコア・ホイール・プロダクツ・ジャパン株式会社	Alcoa Wheel Products Japan Ltd.
	303	朝日電装株式会社	Asahi Denso Co., Ltd.
	304	IPF株式会社	IPF Corp.
	305	市光工業株式会社	Ichikoh Industries, Ltd.
	306	HKT株式会社	HKT Corp
	307	株式会社レイズ	Rays Co., Ltd.
	401	パイオニア株式会社	Pioneer Corp.
	402	ユアサ工機株式会社	Yuasa Co., Ltd.
	403	大同メタル工業株式会社	Daido Metal Co., Ltd.
	404	東京濾器株式会社	Tokyo Roki Co., Ltd.
	405	株式会社リケン	Riken Corp.
	406	日本ピストンリング株式会社	Nippon Piston Ring Co., Ltd.
	407	日本サーモスタット株式会社	Nippon Thermostat Co., Ltd.
501	株式会社杉浦製作所	Sugiura Seisakusho Co., Ltd.	
502	株式会社コイワイ	Koiwai Co., Ltd.	
503	TPR株式会社	TPR Co., Ltd.	
504	株式会社ファインシンター	Fine Sinter Co., Ltd.	
505	水戸工機株式会社	Mito Tool Mfg. Co., Inc.	
506	京都機械工具株式会社	Kyoto Tool Co., Ltd.	
507	三輪精機株式会社	Sanwa Seiki Ltd.	

スポンサー Sponsor

SS	02	株式会社タカラトミー	TOMY Company, Ltd.
	03	東日本高速道路株式会社	East Nippon Expressway Co., Ltd.
	04	アサヒビール株式会社	Asahi Breweries, Ltd.
	05	株式会社バンダイナムコエンターテインメント	Bandai Namco Entertainment Inc.
	06	株式会社WOWOW	WOWOW Inc.
	07	株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント(イベントプラザ内)	Sony Computer Entertainment Inc.

WEST Exhibition Hall 4F

屋外展示場へ

屋上展示場 Rooftop Exhibition Area

自動運転・高度運転支援システム
デモンストレーション (P.75)
Automated Driving and
Advanced Driver Assistance Systems
Demonstration



屋外休憩所

西1・2ホール
から

新聞・雑誌
コーナー

トミカコーナー
Tomica Corner

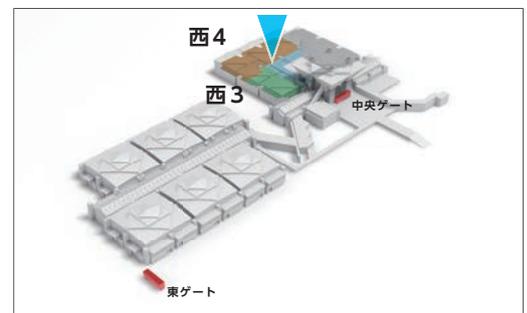
わくわくスタンプラリー抽選会場
Tomica Stamp Rally Drawing Stand

化粧室
Restroom

試乗受付
Reception desk of test drive

エレベーター
Elevator

グルメキングダム 2015
Gourmet Kingdom 2015



東京ビッグサイト全体図

全日本学生フォーミュラ
Student Formula Japan

3・4 西

西展示棟 4階



レストラン
Restaurant



カフェ
Cafe



コンビニエンス
convenience store



グルメキングダム 2015
Gourmet Kingdom 2015

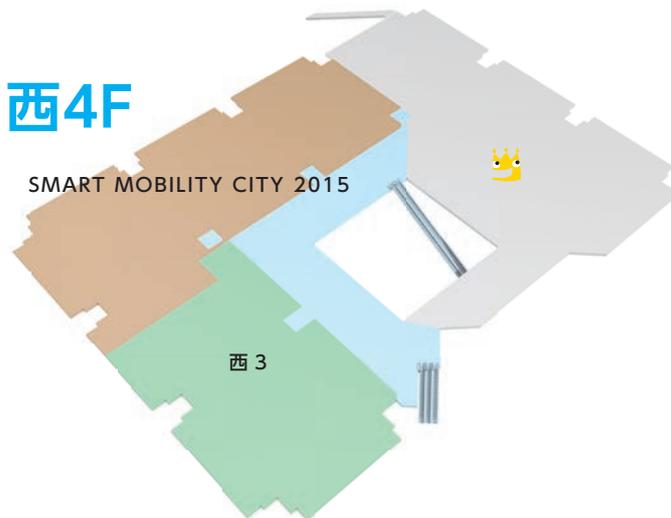
レストランマップ

Food & Drink

西1F



西4F



化粧室
Restroom



身障者用施設
Accessible Facility

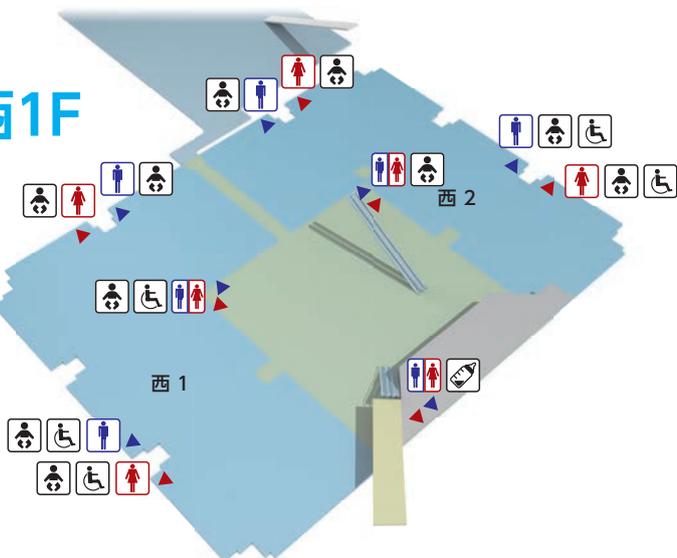


乳幼児用施設
Nursery

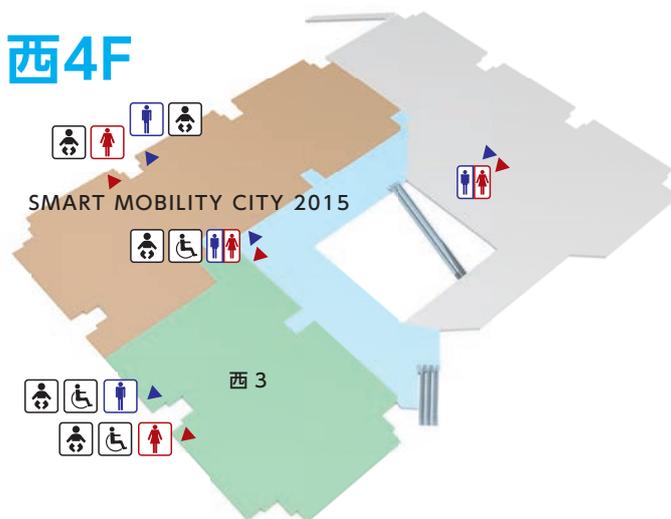
トイレマップ

Restroom & Nursery

西1F



西4F



救護室
First-Aid



AED
AED



喫煙所
Smoking room



コインロッカー
Coin locker

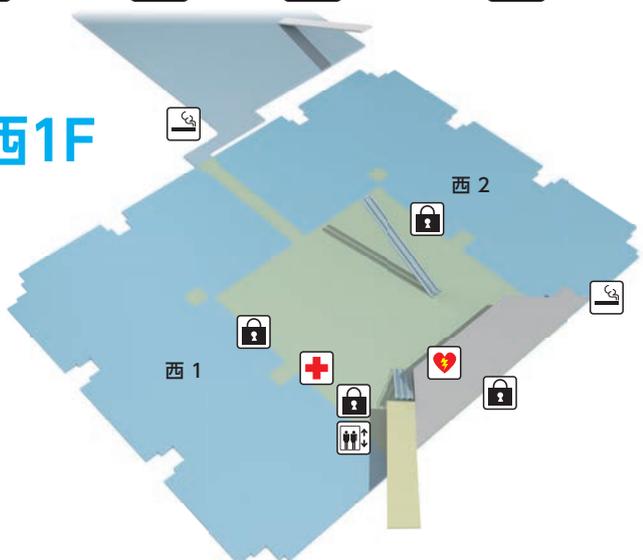


エレベーター
Elevator

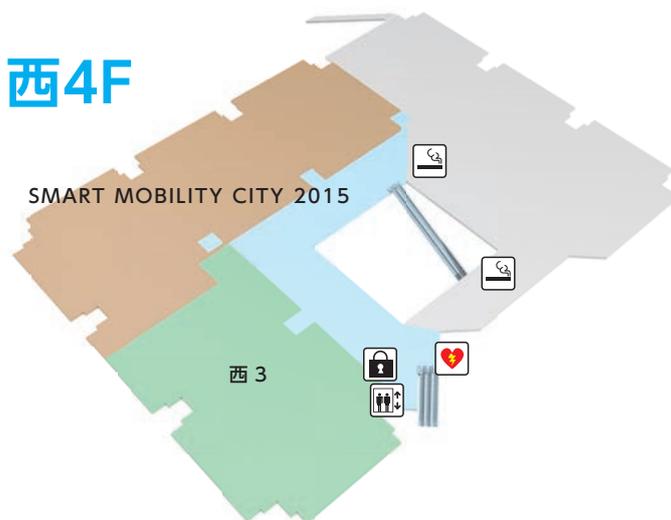
その他の施設

Other facilities

西1F



西4F



東京モーターショーをより楽しくしてくれる
初の公式アプリが誕生！

第44回東京モーターショー2015 総合アプリ「TMS Mobile」

今回初めて、東京モーターショーの様々な情報を一括で確認できる公式アプリが登場！
iOS版とAndroid版ともにリリース。

機能満載のアプリで 東京モーターショーをサポート。

初の公式アプリとして登場した「TMS Mobile」。会場内の混み具合をリアルタイムで可視化して表示してくれる「ヒートマップ」機能をはじめとして、実に数多くの機能を搭載している。

「マイスケジュール」を使えば、参加するイベントを登録でき、当日のスケジュールを管理できる。また、「会場ナビゲーション」を使えば、出展者ブースまでのルートや、各イベントの会場をマップ上に表示してくれる。展示会場マップでは、ブースをタップすると、そのブースの出展者情報が表示される。

出展者情報のページにはメモ機能がついており、E-mail/Twitter/Facebook/Evernoteへ送信できる。その他にも出展者の検索はもちろんのこと、気になる出展者をブックマーク登録することもできる。ぜひダウンロードして活用しよう。



名称：東京モーターショー
総合アプリ「TMS Mobile」
推奨 OS：iOS 8 以降、
Android 5.0 以降
対応言語：日本語、英語
端末の言語設定が日本語であれば
日本語画面、日本語以外であれば
英語画面を自動的に表示。

WiFi SSID：TMS_Free_Wi-Fi

カルチャ・コンビニエンス・クラブ (CCC) が、会場内外でさまざまなサービスを展開。

Tチケットで購入すると優先レーンから入場！ 会場内ではTポイント付与サービスも。

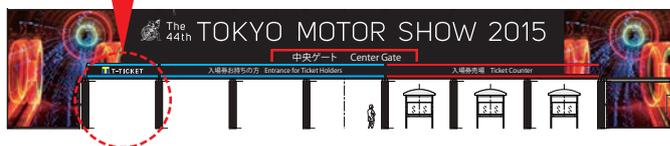
代官山 蔦屋書店での書籍を通じたカーライフ提案や、クラシックカーレース「La Festa Mille Miglia」関連イベントの実施、自動車雑誌の出版など、クルマ領域でも積極的に活動するカルチャ・コンビニエンス・クラブ。

あらかじめネットで購入手続きを済ませれば、Tカードだけで入場できる「Tチケット」は、入場列が混んでいる時も「優先レーン」から入場できる特別特典も付いている。

会場内3カ所（インフォメーションカウンター、東5ホールガイドブック販売所横、西3ホール休憩スペース）には「Tポイントスタンド」を設置。Tカードを持っていれば、スワイプするだけで期間中先着5万名に5ポイント付与されるサービスを行う。さらにWチャンスとして、抽選で100名に5000ポイントが当たる特典も付いている。

西3ホール内には休憩スペースを設置。コンシェルジュがセレクトした本が並び、会場内で一息つける落ち着いた空間になっている。また、西3ホール入口には販売ブースを展開。同グループのネコ・パブリッシングの自動車専門誌を中心に販売する。

メインゲート左に用意されているTチケット優先レーン。



▲西ホールにある休憩スペース「Car Life Rest Space supported by 蔦屋書店」。代官山 蔦屋書店のコンシェルジュがセレクトしたクルマ雑誌・関連書籍を読める。



◀セレクトされたクルマ雑誌が揃う販売スペース。



日産

技術の日産が、人生を面白くする。

日産はこれまで、技術で世の中を変えてきた。そしてこれからも、日産は技術で挑戦する。誰よりも早く、自動運転の未来を。誰よりも早く、電気自動車の時代を。これまでの人とクルマの関係を変え、クルマ社会、人生を、もっと面白くする。



TOPIC 1



誰よりも早く、自動運転を。誰よりも早く、電気自動車の時代を。

日産は挑戦する。自らが信じることに。
ほかの誰もやらないことに。
今まで誰もできなかったことに。

考えて考えて考え抜いて見つけた答えは、
きっと次の時代をつくるはずだ。
この強い思いと情熱で、必ず成し遂げていく。

技術の日産が、
人生を
面白くする。



TOPIC 2

TEATRO for DAYZ – “繋がり”と“シェア”を自由に楽しめるムービングデジタルガジェット

2020年以降に運転免許を取得する世代は、幼少期からインターネットの恩恵を受けてきたいわば“Share Native”である。テアトロ for デイズはそんな世代に向けて、まったく

新しい価値観を具現化したEV軽自動車だ。コンセプトは「真っ白なキャンバス」。インテリアは白一色。シートやドアトリムはキャンバスとなり、運転中はインストルメントパネル

のスクリーンに計器類が映し出され、そうではないときは写真やゲーム画面を映し出すなど、使い方は自由自在。コミュニケーションツールとしての車としても支持されるだろう。



TOPIC 3

PURE DRIVE
e-POWER

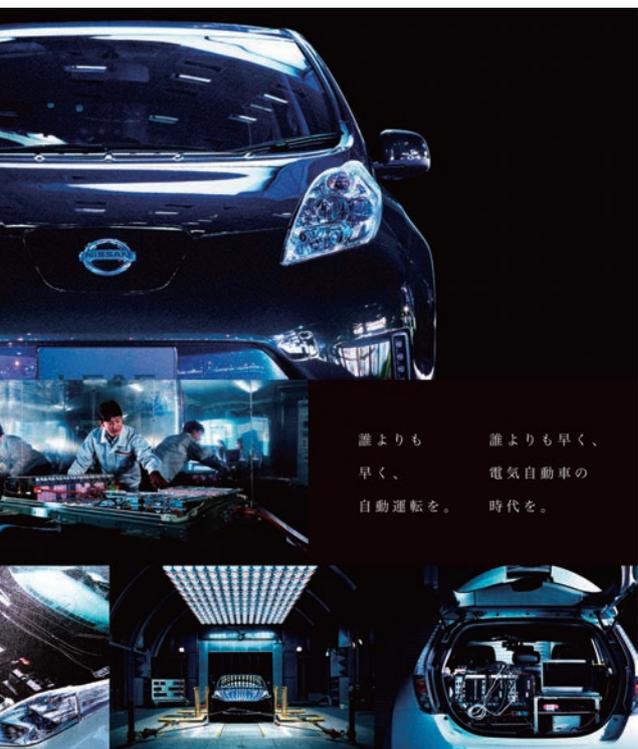


NISSAN GRIPZ CONCEPT—シリーズ・ハイブリッド EV システム搭載スポーツクロスオーバー

コンパクトクロスオーバーの性能と実用性にスポーツカーのワクワク感とパフォーマンスを兼ね備えたコンセプトカーが「ニッサン グリップス コンセプト」だ。電気自動車(EV)

技術をベースにしたシリーズ・ハイブリッド EVシステム「Pure Drive e-Power」をパワートレインに採用し、ガソリンエンジンで発電した電気で駆動する。静かでスムーズな加速、

優れた燃費性能も手に入れた。ダイナミックに流れる面とシャープなエッジが効いたエクステリアは力強さとシンプルさを両立し、軽快で洗練された印象を作り出している。



誰よりも早く、自動運転を。
誰よりも早く、電気自動車の時代を。



TOPIC 4

NISSAN CONCEPT 2020 VISION GRAN TURISMO

2014年6月、英国「グッドウッドフェスティバル・オブ・スピード2014」で初公開された「ニッサン コンセプト2020 ビジョン グランツーリスモ」が、装いを新たに「Fire Knight」のボディカラーをまとめて登場する。

SMART MOBILITY CITY 日産ブース (西4ホール)



TOPIC 5

『電動化と知能化』を進める日産が考える「これからのクルマ社会」を、シアター形式で体感。電気自動車や自動運転車が走る未来の街はどういう社会で、人々の暮らしをどう考えていくのか、その一端を見ることができる。是非ご覧下さい。

日産自動車のモーターショー スペシャルサイトにアクセス!

日産ブースの様子をはじめ、コンセプトカーやステージイベントなど様々な情報をお届けしています。

- スペシャルサイト
<http://www.nissan.co.jp/MS/TOKYO2015/>
「日産モーターショー」で検索!
また、公式アカウントでも会場の様子やイベント情報を発信しています。
- Twitter
<https://twitter.com/NissanJP>
- Facebook
<https://www.facebook.com/NissanJP>



マツダ

スポーツ、そしてクロスオーバー…新たな挑戦がここから始まる。

常にスポーツカーとともに歴史を築いてきたマツダは、新たに“スポーツコンセプト”を世界初公開。さらに新世代クロスオーバーのコンセプトモデル「KOERU 越」が、ついに日本デビューを果たす。

TOPIC

1

マツダは“走る喜び”の未来を拓く Accelerate toward Our Dreams

私たちマツダは“走る喜び”を実現するために様々な課題に挑戦して参りました。クルマに対する挑戦心と情熱をもって、マツダらしい“走る喜び”をお客様へ届け続けたいという思いが今回のテーマに込められています。



代表取締役社長兼 CEO 小飼雅道氏

マツダの“走る喜び”への挑戦として、最近の成果になるのが2012年に導入した「マツダCX-5」以降の新世代商品です。環境性能とパフォーマンスを同時に向上させたマツダ独自の新世代技術「SKYACTIV TECHNOLOGY（スカイアクティブ・テクノロジー）」、生命感あふれる野生動物の躍動感を表現したデザインテーマ「魂動（こどう）」を反映した新世代商品ラインアップは、今年になり6車種まで拡大。これまでグローバルに数多くの賞を受賞するなど、マツダの“走る喜び”が高いご評価をいただいております。

また、既に導入された商品においても、最新の技術や考え方を適宜織り込むことにより、ラインアップ全体の魅力の維持向上に努め、“走る喜び”をさらに高め続けていく取り組みを行っています。

今回の東京モーターショーでは、マツダのスポーツコンセプトを世界初公開します。
私たちが今後も“走る喜び”への挑戦を続ける決意の表れです。



TOPIC 2

“走る喜び”の限りない探求、それがマツダブランドの魂。

スポーツコンセプトでは、マツダデザインが考える美しいFRスポーツのカタチを探求し、新しさの中にスポーツカーの正統を感じさせる、マツダのスポーツカーの歴史を凝縮したスタイリングをつくり上げています。ひと目でスポーツカーとわかるパッケージに圧倒的に低いボンネットと全高を可能にするエンジンを搭載し、オンリーワンのFRプロポーションを生み出しました。

造形では、無駄を徹底して削ぎ落していくことでこそ生まれる、マシンとしての佇まいと緊張感を追求。キャラクターラインなどに頼ることなく、リフレクションによって「魂動（こどう）デザイン」が探求し続けている「動き」を表現し、エレガントかつ生命感あふれる造形を実現しました。

また、随所にマツダのスポーツカーの歴史を感じさせるデザインモチーフを織り込み、今も変わらぬスポーツカーに対するマツダの情熱を表現しています。

TOPIC
3

クロスオーバーへの新たな挑戦

コンセプトモデル

KOERU

越



既成の概念や枠組みを“越える”価値を提供したい。その想いを込めて創り上げたのが新しいクロスオーバーのコンセプトモデル「KOERU越」。

強い意志を示す存在感を増したフロントグリルのシグネチャーウイング。生命力に満ちた瞳を表現する、LED導光リング採用のヘッドランプ。タイトなキャノピーと抑揚のあるボディが織りなすスピード感あふれる動き。「KOERU越」は観る者を圧倒するプロポーションと日本的な奥行きある造形により既存クロスオーバーとは全く異なる独自の存在感を生み出しました。野生動物のような力強い生命感と研ぎ澄まされた品格を表現した「KOERU越」。洗練されたスタイリングは“走る喜び”を究めようとするマツダのクルマ創りへの挑戦を体現しています。

SKYACTIV TECHNOLOGY (スカイアクティブ テクノロジー)
マツダの安全思想「マツダ プロアクティブ セーフティー」
MAZDA MOTORSPORTSなど、新世代の力がここに集結する。

TOPIC
4

西棟4階のスマート モビリティ-シティ-では、クルマの環境性能とパフォーマンスを両立する独自技術、SKYACTIV TECHNOLOGY(スカイアクティブ テクノロジー)だけでなく、より快適で楽しい運転を安全にサポートする独自の安全思想 MAZDA PROACTIVE SAFETY(マツダ プロアクティブ セーフティー)に対する取り組みなども“走る喜び”を支える重要な取組みとして紹介いたします。

今回の東京モーターショーではマツダの新世代商品がフルラインナップでお客様をお迎え致します。また、マツダがお客様と共に参加するモータースポーツ普及活動についてもご紹介します。よりピュアにお客様の生活の中で広がるマツダの“走る喜び”にもご期待ください。



フォルクスワーゲン

ジャパンプレミア6台を展示

先日フランクフルトモーターショーで公開された新型Tiguanをはじめとしたコンセプトモデル1台を含む全6台を日本初披露。またWRC三連覇を果たしたPolo WRCも特別展示。

最新のモデルラインアップを日本でも一足早くお披露目

《フルモデルチェンジでより居住性と快適性が 増したGolf Touran》

モジュールコンセプトMQBを採用し、ホイールベースを延長、スポーティで、よりダイナミックなデザインとなった新型Golf Touran。彫刻のようにエッジの効いたプレスラインにより、シャープでスタイリッシュなデザインへと進化を遂げました。乗員全員が移動を快適に過ごせるよう、多彩なアレンジが可能なシートや最大47箇所の収納ボックスやポケットを装備。先進の安全装備により、一緒に移動する乗員全員に安心とゆとりをもたらします。



TOPIC 1

●**新型 Golf Touran** [欧州公表値]
全長：4,632mm 全幅：1,829mm
全高：1,659mm
ホイールベース：2,786mm
エンジン：直列 4 気筒 DOHC
インタークーラー付きターボ
最高出力：110kW 最大トルク：250Nm



《SUVを再定義するオールラウンドな 持ち味を備えた新型Tiguan》

第2世代となる新型TiguanはMQBを用いたフォルクスワーゲングループ初のSUV。よりスポーティなボディプローションを実現しながら荷室容量は145ℓ増加した615ℓへと拡大、室内とカーゴスペースに大幅な改善が図られています。

オンロード、オフロード両方の分野のニ-

ズを完全に満たすことのできる「SUVの中のSUV」。コンセプトモデルのGTEもブースには展示予定、新型Tiguanをご自身の目でお確かめください。

●**新型 Tiguan** [欧州公表値]
全長：4,486mm 全幅：1,839mm
全高：1,632mm ホイールベース：2,681mm
エンジン：直列 4 気筒 DOHC
インタークーラー付きターボ
最高出力：132kW

TOPIC 2

革新的な技術は、人々の生活に役立ってこそ意味があります。電気を動力としたクルマをもっと気軽でもっと身近な存在に。フォルクスワーゲンは一台でEV、スポーツカー、ロングツアラーという三つのキャラクターをあわせ持ったプラグインハイブリッドを開発しています。9月に国内販売を開始したGolf GTEと今回の東京モーターショーで日本初披露となるPassat GTEを展示、エレクトリックドライブのグランツーリスモ「GTE」に触れることができます。

ドライバーとクルマの関係性に大きな変革をもたらす 全く新しいプラグインハイブリッド



●**Passat GTE** [欧州公表値]
全長：4,871mm 全幅：1,832mm
全高：1,476mm ホイールベース：2,786mm
エンジン：直列 4 気筒 DOHC インタークーラー付きターボ / 電気モーター
エンジン最高出力：115kW エンジン最大トルク：250Nm
モーター最高出力：85kW モーター最大トルク：330Nm



●**Golf GTE**
全長：4,265mm 全幅：1,800mm
全高：1,480mm ホイールベース：2,635mm
エンジン：直列 4 気筒 DOHC インタークーラー付きターボ / 電気モーター
エンジン最高出力：110kW エンジン最大トルク：250Nm
モーター最高出力：80kW モーター最大トルク：330Nm

TOPIC 3

様々なライフスタイルに 応じたモデルラインアップ

PoloやGolfといったハッチバック以外にもフォルクスワーゲンは多彩なラインアップを揃えています。アクティブなライフスタイルを力強くサポートする日本初披露となるPassat Alltrackをはじめとしたラインアップを展示。あなたのライフスタイルにあったモデルをブースで探してみてください。

- Passat Alltrack [欧州公表値]
全長：4,882mm 全幅：1,832mm
全高：1,530mm ホイールベース：2,789mm
エンジン：直列4気筒 DOHC インタークーラー付きターボ
最高出力：162kW 最大トルク：350Nm



TOPIC 4

WRC三連覇を果たした マシンを特別展示

世界各国を舞台としたもっとも過酷なモータースポーツ、世界ラリー選手権WRCにフォルクスワーゲンは市販車をベースとしたPolo WRCで参戦、三年連続でマニファクチャラーズチャンピオン、ドライバーズチャンピオン、コ・ドライバーズチャンピオンの三冠を獲得しました。

スペシャルモデルの開発を担当するVolkswagen R GmbHによるRシリーズやホットハッチという言葉に世に広めたGTIも展示。日本では今年からスポーツモデルのGolf R、Golf GTI、Polo GTIにマニュアルトランスミッション仕様を設定、販売を開始しています。よりドライビングを楽しみたい、クルマと一体になって走る喜びを追求したい方々へのラインアップを充実させています。





Audi
Vorsprung durch Technik

アウディ

革新的な技術でAudiは時代を先駆ける。

最新のモデル ラインナップ、そしてコンセプト Audi prologue allroadも展示。
近い将来実現される最先端テクノロジー、今後のデザイン性を明示する。



Born on the track. Built for the road.

創業者アウグスト ホルヒが唱えた「レースは技術の実験室」という信念のもと、Audiは独創的な技術をレースに次々と投入して成功を収め、クルマに革新をもたらしてきた。1980年代に世界ラリー選手権を席卷し

たAudi quattroはその好例と言っていいだろう。現在、Audi Sportは、WEC、DTMをはじめ、R8 LMS GT3で世界各国のGTカーレースに積極的に参戦しているが、精緻な直噴ターボエンジン、複合素材を組み合わせた

高剛性軽量ボディ構造、照明を完璧にコントロールするマトリクスLEDライト技術、エアロダイナミクスなど、レースで培われた技術は実に数多い。ブースではこうしたAudiの先進技術をたっぷりと見ることができる。

TOPIC

1

「技術による先進」というブランドスローガンが示すように、Audiは革新的技術によって進化を続けてきた。ブースでは、レースで技術を磨き、それを市販車に生かしてきた歴史に触れることができる。



TOPIC 2



Audi A4
世界的に大きな注目を集めるA4が早くも登場。



Audi RS 3 Sportback
367psの2.5ℓターボを搭載したモンスター。

Audi R8
こちらも日本初上陸となる新型。正式発表は来年か。



市販車にはレースで培われた技術がふんだんに盛り込まれる。

Audiの先進技術がたっぷりと盛り込まれているのが市販車のRSモデル。Audi Sportの活動を支えるquattro社が開発するハイパフォーマンスモデルで、よりモータースポ-

ーツに近い特別な存在だ。ここに投入された技術はさらに熟成が進められ、通常のAudiモデルにいずれ搭載されていくことになる。ブースには、来年に日本デビューが噂される新型

Audi A4、そしてAudi R8、10月に発表されたAudi RS 3 Sportback、RSモデルの象徴的な存在であるAudi RS 6 Avantが展示されているので、間近でじっくりと見てみよう。

TOPIC 3

Audiデザインの方向性を示す未来への「プロログ」。

コンセプトカーとして「Audi prologue allroad」がジャパンプレミアされている。将来のデザインの方向性を示す重要なモデルで、インテリアも横幅いっぱい広がるフルデジタルディスプレイなど斬新なものになっているのが特徴。Audiのコンセプトカーは単なる試作ではなくいずれ必ず市販化されるので、要チェックだ。ここで見られるデザインアイコンや最新テクノロジーもまた市販車に反映されることだろう。



Audi prologue allroad
パワートレインは4ℓ V8 エンジン + モーターのプラグインハイブリッド。

人気の「Audi Expert Tour」を今回も実施。

前回の東京モーターショーでも人気を集めた「Audi Expert Tour」が今回も実施されている。Audiのことを熟知する専門スタッフがブース内の見所を説明してくれるもので、ブースで事前予約すれ

ば誰でも参加することができる。なお今回から、専用のiPadを貸し出すバーチャル版Audi Expert Tourも行っている。もちろんブース内には様々な疑問に答えてくれるスタッフが常駐している。

TOPIC 4

carrozzéria

TRIP to the EDGE

カロツェリア (パイオニア)

カーライフを革新するスペシャリティブランド。

カロツェリアブースは、先進機能を満載した「サイバーナビ」、10月に発売された新型「楽ナビ」、スマホ画面で操作できる最新カーオーディオと、体験コーナーが充実。最先端のカーAVに触れてみよう。



CYBER NAVI

サイバーナビ AVIC-ZH0999LS

今再生している曲のテンポや曲調、年代などから、再生リストを自動作成。画面にタッチすれば、選んだリストへ乗り換えることができる。

Try!
Music Cruise
Channel



「ミュージッククルーズチャンネル」のナビゲーター、きゃりーぱみゅぱみゅさんから、東京モーターショーご来場の皆さまへのメッセージを配信中。

TOPIC 1

ノンストップで新曲・名曲と出会う。車載用音楽ストリーミング機能を初搭載。

サイバーナビは、歴代モデルが様々な業界初の新機能を搭載してきたハイエンドモデル。現行モデルでは、音楽の聴き方を革新する「ミュージッククルーズチャンネル」を搭載し

ている。レコチョクの車載用音楽ストリーミングサービス「replay」に、パイオニア独自の楽曲解析技術を組み合わせ、約130万曲の楽曲からシーンや気分に合わせて曲をレコメ

ンドしてくれる。

最新のヒット曲や懐かしい名曲、大好きな楽曲と似た曲が流れ出し、今まで知らなかった音楽に出会うことができる。

TOPIC 2

「高性能」×「使いやすさ」をとことん突き詰め、極めた最新モデル。

楽NAVI

楽ナビ AVIC-RL99

ドライバーの思いのままに操れる「使いやすさ」を実現する「スマートコマンダー」を同梱。



楽ナビは、目的地の検索からルート案内まで、ストレスのないドライブを実現してくれる実力派。最新のデジタルメディアも再生できるAV機能も魅力だ。2015モデルは「スマートコマンダー」が進化。一般道ルート/有料道ルートの切り替えや、AVソース選択などが走行中でも手元でスムーズに操作できるようになり、使い勝手が向上した。

選曲も再生もスマートフォンの画面で。革新のインターフェイス「マルチディスプレイモード」に対応。

スマートフォンからカーオーディオを操作する新発想。専用アプリを使って、再生中の曲名、アーティスト名をスマートフォンの画面に表示したり、フリック&ドラッグ&プッシュ操作で、ソース切替、選曲、曲送りや再生、停止などができる。

TOPIC 3

1Dメインユニット MVH-5200

スマートフォンの画面を使うことで、より直感的な操作が可能になる。



九都県市あおぞらネットワーク

九都県市首脳会議環境問題対策委員会大気保全専門部会

Do! エコドライブ

首都圏の広域的課題に取り組む九都県市首脳会議（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）は、エコドライブの普及にも積極的に取り組んでいる。



九都県市首脳会議が運営する、自動車公害対策サイト「九都県市あおぞらネットワーク」(<http://www.9taiki.jp/>)をご存じだろうか。

同サイトでは、エコドライブの普及のほか、ディーゼル車規制、低公害車指定制度、ガソリンペーパー（給油の際などに生じるガソリン蒸気）対策の推進など、大気環境改善に向けた取り組みについて情報を発信している。

その中のエコドライブは、地球温暖化防止だけでなく、ユーザーの経済的なメリット（燃費向上）や安全運転にも有効だ。九都県市首脳会議のブースでは、「Do! エコドライブ」を合言葉に、エコドライブの大切さを紹介している。

〈新聞・雑誌コーナー〉

北コンコースと西3ホールに設けられているクルマ専門紙・誌のブース。定期刊行物とともに、「東京モーターショー2015」に向けてのスペシャルな刊行物を多数販売! ぜひともお立ち寄りを!!



- | | |
|---|--|
| NM 01 株交通毎日新聞社
http://www.koumai.co.jp/ | NM 05 株ぼると出版
http://www.portepub.co.jp/ |
| NM 02 株講談社ビーシー
http://www.kodansha-bc.com/cinfo/ | NM 06A 株グランプリ出版
http://www.grandprix-book.jp/ |
| NM 03 株フォーイン
https://www.fourin.jp/ | NM 06B 有)三樹書房
http://www.mikipress.com/ |
| NM 04 株カーアンドレジャーニュース
http://www.car-l.co.jp/ | NM 07 株日刊自動車新聞社
http://www.njd.jp/ |



- | | |
|---|---|
| NM 08 株交通タイムズ社
https://www.kotsu-times.jp/ | NM 11 株内外出版社
http://www.naigai-p.co.jp/ |
| NM 09 株三栄書房
http://www.sun-a.com/ | NM 12 株モーターマガジン社
http://www.motormagazine.co.jp/ |
| NM 10 株ネコ・パブリッシング
https://www.neko.co.jp/ | NM 13 株八重洲出版
http://www.yaesu-net.co.jp/ |

☆西3ホール前6社の出版社ブースでは、各店舗合計3000円以上をお買い求めの方を対象に、抽選で100名の方に各社定期刊行物の年間購読プレゼントを行っています。

SMART MOBILITY CITY 2015

もっと自由に…クルマが変わる、暮らしが変わる、社会が変わる。 Supported by 



自動車メーカーのみならず多様な業種業態の企業・団体とともに、『エキシビション』、『テストライド』、『カンファレンス』を通して、クルマと暮らしと社会の未来を展望し、世界をリードする情報発信プログラム。

エキシビション

明日の街を散策しながら、次世代のクルマを、暮らしを、社会を体験しよう！

これまでの展示会の概念を大きく進化させて、企業・団体の出展ブースと主催者による駅や研究所などの展示により、都市とクルマと人々の関わりをリアルに体験できる「明日の街」を創り上げました。

そこで生み出される、クルマの新しい役割や価値、人々の暮らしやライフスタイルの変化、都市や社会との関わり、夢、楽しさ、喜びを体感してください。

2020年を目標とした東京の新たな進化と、その先を展望した先進の都市システムをイメージできます。

ステーションコア

「ステーションコア」は会場の中心部に置かれ、都市と交通に関する最新技術&システムを紹介するセントラルステーションです。駅前広場（屋内）からトラックヤード（屋外）まで走行できるユニークな特設コースを使って、話題の超小型モビリティを体験試乗することができます。



パーソナルモビリティ研究所

「パーソナルモビリティ研究所」は、クルマと人の共生を目指すパーソナルモビリティ研究の最先端技術を紹介する世界初の研究所です。



クルマとICT&E研究所

「クルマとICT&E (Energy/Entertainment)研究所」では、自動運転技術やFCV、EV、PHV/HV等の仕組み、クルマと情報・エネルギーやエンターテインメント等の最新技術をご紹介します。また屋上展示場の広いテストコースを使って、自動運転のデモンストラーションや体験試乗も実施します。



※詳しくは SMC 専用 Web サイトをご参照ください。 <http://www.tokyo-motorshow.com/smc/>

テストライド

次世代自動車に乗って SMART MOBILITY CITYを走ろう!

国内外の次世代自動車モデル（パーソナルモビリティ/超小型モビリティ等を含む）や自動運転等を試乗体験。新しいモビリティの楽しさや安全性などの魅力を実感できます。

参加メーカー
トヨタ
ホンダ
日産
WHILL
Ninebot
トヨタ車体
ジード

超小型 モビリティ 体験走行

コンパクトで地域の手軽な移動の足となる、1～2人乗りの新しいピークルです。開催期間：10月29日（木）～11月8日（日）
開催場所：ステーションコアから屋外へと続く特設コース



トヨタ
TOYOTA i-ROAD



日産
NISSAN New Mobility Concept



ホンダ
MC-β



トヨタ車体
COMS



ジード
Zied-C1

パーソナルモビリティ 体験走行

新しい移動手段として生まれた一人乗りのピークル。ますます便利さと楽しさを拡大します。開催期間：10月29日（木）～11月8日（日）
開催場所：パーソナルモビリティ研究所併設の体験コーナー

トヨタ
Winglet Long Type



ホンダ
UNI-CAB β

WHILL
WHILL Model A



Ninebot
Ninebot E



自動運転・高度運転支援システム デモンストレーション

ICTや新しい道路インフラを利用して、クルマの自動運転の技術は大きく進んでいます。開催期間：10月29日（木）～11月8日（日）
開催場所：屋上展示場特設コース



カンファレンス

さまざまな人々の知恵を集めて、
共に語ろう、共に夢みよう。



開催テーマについて、国内外の叢智を結集して議論する国際的なシンポジウムや、企業のプレゼンテーションなどを実施。また、次代を担う子ども向けのワークショップも開催します。

SMC国際シンポジウム

「自動運転は、クルマを、くらしを、社会をどう変えていくのか」

11月6日（金）10:30～17:10
会議棟6階 605-608会議室

「自動運転」にかかわる日米欧の技術者・有識者による国際シンポジウムです。国内外の行政・企業・研究機関等専門家の知見を集め、意見を交わし、自動運転の実現性とその課題、今後のクルマ、くらし、社会の展望等について、広く世界に情報発信します。

SMCフォーラム

「もっと自由に・・・
クルマが変わる、くらしが変わる、社会が変わる。」

11月2日（月）10:30～16:20
会議棟6階 605-608会議室

クルマの進化は、くらしや都市の構造を大きく変化させつつあります。今、東京も大きく変わろうとしています。それは新しい時代のモビリティ都市《SMART MOBILITY CITY》のグローバル・モデルとなるでしょう。明日のクルマと都市とくらしの在り方を、その期待を、そして夢を語り合みましょう。

読売新聞主催

未来貢献プロジェクト
「2020年以降を見据えた次世代自動車普及への取り組み」

11月1日（日）13:00～16:00
会議棟6階 605-608会議室

環境・エネルギー問題を解決しうるEV（電気自動車）やFCV（燃料電池車）等の次世代自動車は、日本の自動車産業が世界をリードしている分野です。今後のさらなる普及に向けて、経済産業省や各自動車メーカー等と連携し、課題と可能性について専門家や有識者らが語り合います。

アドバンス・テクノロジー・セミナー

11月4日（水）～5日（木）
会議棟6階 605-609会議室

11月4日（水）

- 一般社団法人電気自動車普及協会「国際学生EV超小型モビリティデザインコンテスト2015表彰式」
- 本田技研工業株式会社「スマートモビリティが変える未来の交通社会」～超小型モビリティ社会実証実験から得られた成果と可能性～
- さいたま市「スマートシティさいたまモデルの構築について」～公民+学による世界標準への挑戦～

11月5日（木）

- 株式会社エフエム東京「V-Lowマルチメディア放送が拓く次世代テレマティクスの地平」(~感動と共感を生む新しいモビリティライフの実現~)
- 株式会社ヒット「クルマ社会の発展で広がりゆく屋外大型デジタルサイネージの可能性」

キッズ・ワークショップ

クルマと社会の面白さを楽しく学んで明日の夢を思い描こう

次世代を担う子供たち（児童・生徒）に向けて、クルマと社会の面白さを楽しく学びながら、明日への夢を思い描いてもらうワークショップを実施します。

日産 わくわくエコスクール

10月31日（土）・11月1日（日）

【実施時間】

両日とも、
以下4回の実施を
予定

1回目：11:00-11:30
2回目：12:00-12:30
3回目：14:00-14:30
4回目：15:00-15:30



親子でつくろう!カーモデル教室

10月31日（土）・11月1日（日）・3日（火・祝）・
7日（土）・8日（日）

【実施時間】

各日2回の実施を
予定
・11:00-13:00
・14:30-16:30



マブチモーターで動く”木のくるま” をつくろう!

10月31日（土）・11月1日（日）・7日（土）・8日（日）

【実施時間】

各日3回の実施を
予定
・10:30-11:00
・11:20-11:50
・13:30-14:00
※各回先着16組
受付となります。

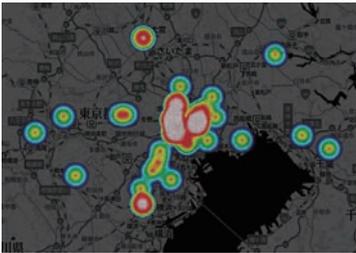


ナビタイムジャパン

経路探索エンジンで“未来”をナビゲート。

徒歩をはじめ、電車・バスなどの公共交通機関、自動車・バイク・自転車に至るまで、さまざまな移動をサポートするナビタイム。ビッグデータの時代、その便利さはさらに高まっていく。

TOPIC 1



ナビタイムジャパンの各種サービスで検索された回数が多い場所を示す「検索ヒートマップ」。混雑を予測できれば、臨時列車や臨時バスに対応できる。



プローブ交通情報を解析、交差点の右折・左折の待ち時間がわかる。混雑の原因を分析し、緩和させる。



「カーナビタイム」と「NAVITIME ドライブサポーター」に採用された「超渋滞回避ルート」。渋滞予測とプローブ交通情報から、高速道路を乗り降りしたり、遠回りしても目的地に早く着くルート(下図)を探索する。



交通ビッグデータを活用すれば、毎日の移動はもっと快適になる!

待ち合わせ場所に約束の時間に着くには、何時に家を出てドコの駅で乗り換えればいいのか?

かつては時刻表を調べたり、経験に頼るしかなかった移動手段を、携帯電話の画面で教えてくれたのが「NAVITIME」。2001年のことだ。

徒歩、電車、バス、クルマ、飛行機など様々な交通手段を組み合わせたルートを案内する「トータルナビ」を軸に、ナビタイムジャパンは様々なサービスをリリース。サービス全体のユーザー数は3000万人※に達している。

ナビタイムジャパンでは、経路を検索した情報や、ドライブ中のプローブ交通情報を独自のノウハウ

で分析。混雑のない、より快適な社会の実現を目指している。

例えば、数万人が集まるビッグイベントでは、最寄り駅の検索回数で電車の混雑を予測できる。新しい高速道路が開通して交通の流れが変わったか、プローブ交通情報で確認することができる。ビッグデータが、インフラ整備や交通機関の運行最適化に役立つのだ。

2020年の東京オリンピックでは、前例がない混雑が発生するかもしれない。そんな時も、ナビタイムなら、リアルタイムで移動に役立つ情報を提供してくれるだろう。

※ 2015年9月現在

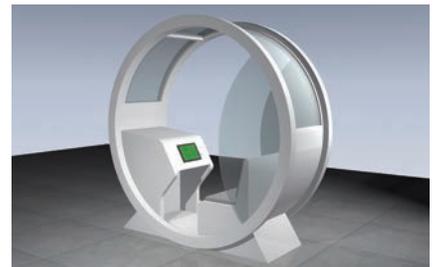
TOPIC 2

近未来にタイムトリップ! 自動運転車を声で操作してみよう。

ナビタイムブースの一押しは、小型モビリティ風のボックスに乗りこんで、自動運転を擬似体験するコーナーだ。音声操作システムの名前は「ボイスコントロール」。近未来のドライブを体験してみよう。

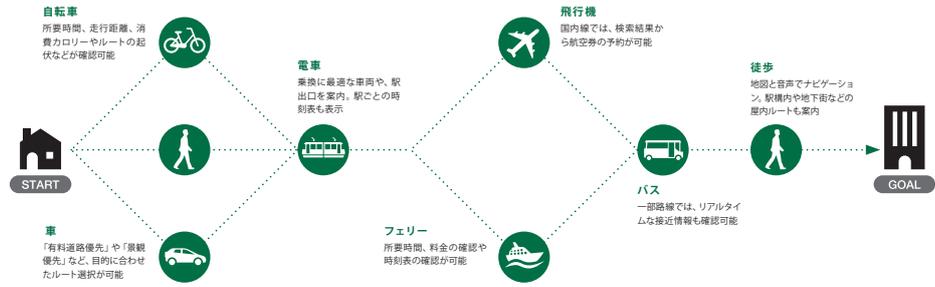
これから天気が悪くなる場合には、「〇〇さん、今日は午後から雨のようです。傘はお持ちですか?」とか、「雨が降ってきました。濡れないように南口につけましょうか?」と、気づかってくれる。

言葉を理解して目的地を探すだけでなく、天気や他の交通機関の情報を統合することで、ナビゲーションは自動運転車の頭脳としての役割を果たすようになる。



自動運転カーに話しかけると目的地までのルートを調べてくれる。ここでもナビタイムのトータルナビゲーションが活躍。案内ルートが混んでいる場合は、「途中から電車に乗りますか? 15分程早く着けますよ。」と駅まで連れて行ってくれるのだ。フツのカーナビではこうはいかない。

TOPIC 3



徒歩、電車、バス、クルマ、飛行機、自転車…。あらゆる移動をフルサポート。

様々な移動手段を組み合わせる最適ルートを提案してくれるのが、トータルナビゲーション「NAVITIME」のエライところ。一方、クルマ、オートバイ、電車、バスなどの専用アプリは、特定の移動手段を使うユーザー向けに機能を切り分けたものだ。ナビタイムブースでは10種類のアプリの体験コーナーを用意。あなたに合ったアプリを探してみよう。



TOPIC 4

快適な移動を、海外からのゲストにも。

ナビゲーションでどこにいても安心して移動できるサービスを目指す、というナビタイムの理念は海外にも進出している。乗換案内アプリ「NAVITIME Transit」は、東南アジアを中心とした19エリアで展開。日本語にも対応しているため、現地に旅行する日本人も利用できる。「NAVITIME for Japan Travel」は、日本を訪れた外国人観光客向け。英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語でトータルナビゲーションなどを提供する。



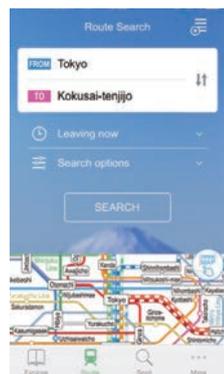
NAVITIME Transit
iOS Android



NAVITIME for Japan Travel
iOS Android



- 【対応エリア】
イギリス (ロンドン)
シンガポール
タイ (バンコク)
マレーシア(クアラルンプール)
香港・マカオ
台湾 (台北、高雄)
中国 (上海)
インドネシア (ジャカルタ)
アメリカ (ニューヨーク等)
韓国 (ソウル、釜山)
フィリピン (マニラ)
イタリア (ローマ、ミラノ)
スペイン (バルセロナ)
フランス (パリ)
ドイツ (ベルリン)
スウェーデン
フィンランド
ノルウェー
スイス (チューリッヒ)



外国人観光客の動向を調査し、地方活性化につながる取り組みも始まっている。

TOPIC 5



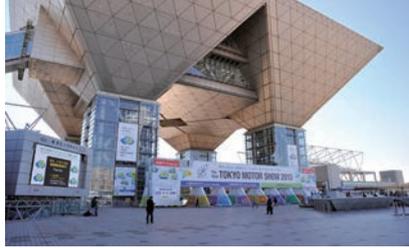
迷わなやいと!
Android

実際の街を歩きながら、“にんむ”をクリアし、楽しみながら方向感覚を養う。



もう迷わない!?
方向感覚を育てる新アプリ。

愛らしいキャラ「にゃびたいむ」が登場、大きなスマートフォンで操作できるので、小さなお子様も楽しめる体験コーナーだ。アンケートに答えると毎日400名に、にゃびたいむのLEDライトをプレゼント。



60年を彩った「エポックメイキング」たち

全日本自動車ショーと銘打って、日本初のモーターショーが開催されたのは1954年のこと。それから60年、さまざまなエポックメイキングな出来事とともに「ショウ」は「ショー」へ、“全日本”規模からグローバルサイズ＝“東京”へ、変化と進化を続けてきた。日本のモータリゼーションとともに刻まれてきた“43回分の足跡”を、振り返ってみよう。

①日本初の「モーターショー」は、日比谷公園で開催された。

②全日本からTOKYOへ。出品した海外メーカーは3社。

③完成車の輸入自由化とともに、国際ショーへと脱皮。

④史上初の“商用車オンリー”ショーを開催

⑤最初で最後の“競輪場”開催。遊園地感覚で賑わった。

⑥晴海会場を舞台に「ショウ」から「ショー」に進化。

⑦東京モーターショー

⑧安全・低公害への関心が加速。最後の毎年開催に。

⑨高級車志向が一気に加速。会場は幕張メッセへ。

⑩出品社数、展示車数ともに国際ショーへと成長。

⑪24年ぶりに東京に里帰り。ビッグサイズで“次世代”を語る

⑫出品車増に合わせて“乗用・二輪”を分離開催。

⑬東京モーターショー50周年として記念イベントを開催。

時代の流れを感じさせるポスターたち。○内の数字は開催回



①日比谷会場の空撮カット（1956年第3回全日本自動車ショー）。雨が降ったら逃げ場はないが、オープンエアな雰囲気はとても気持ち良さそうだ。②後楽園競輪場の風景。日比谷公園が工事されていたために、1度だけの開催となった（1958年第5回全日本自動車ショー）。③待望のインドア会場となった晴海の日本貿易センター。広さは日比谷の3倍、展示面積は移転当初から2倍に達していた（1960年第6回全日本自動車ショー）。④千葉幕張メッセ会場（2005年第39回東京モーターショー）。1991年の第29回では200万人を超える観客が集まった



第44回東京モーターショーの開催に先駆けた10月24日、60周年を記念するイベントが開催された。81台の「各年代を代表する乗用車、商用車、二輪車」が東京・日比谷をスタート。日本橋、銀座を巡るコースを華やかにパレードしていったのだ。

日比谷スタートはもちろん、日本初のモーターショー会場にちなんだもの。1954年、日比谷公園で開催された「第1回全日本自動車ショー」こそが、日本の自動車産業と市場を大きく成長させた「エポックメイキング」だった。以来60年、日本のモータリゼーションに大変革が訪れるとともに、ショーそのものもさまざまな変化を遂げてきた。

第1回ショーからしばらくは、主役はやはり商用車。だが1958年の第5回ショーからは、技術展示のほか「自動車相談所」なども設置、一般的にも「クルマを買う」ことへの関心が高まっていく。そんな変化は、出品車数の増加などに応じた会場の変遷にも表れる。日比谷公園での屋外展示に

始まり、一度きりの競輪場開催を経て、第6回、念願の屋内展示が晴海の日本貿易センターで始まった時、展示車両は300台を超えていた。ちなみにこの時に「ショウ」は、「ショー」の表記に変更されている。

やがて次第に庶民にも手が届くレベルの小型車が増加するとともに、日本市場だけではなくグローバルマーケットも見据えた華やかなスポーツモデルの試作車たちが次々に登場してきた。第9回ショーでは世界的にも評価が高かった「二輪の」ホンダが四輪に進出したことで話題を呼び、さらに乗用車の輸入自由化に伴って海外メーカーが初出展した第11回ショーからは、“全日本”レベルから国際級にステップアップ…日本語表記も“東京モーターショー”に統一された。

安全・環境が重要なテーマに

高度経済成長が実感され始めた60年代半ばには国産高級車も登場、やがてマイカー元年を迎える。クルマの普及が進むと

ともに、社会問題化していった交通安全に関するコーナーなどがショー会場に設けられたのも、この頃からだ。同じくクルマの高性能化とともに、公害防止に対する関心の高まりも加速していく。国際色が強くなればなるほどに、安全・環境という課題は切っても切れないテーマとしてショーに定着していった。以降、環境に関わるテーマ性が次第に深まる中、IT色も次第に濃度を増していくのだった。

乗用車・二輪車ショーと商用車ショーを切り離した毎年開催にチャレンジするなど、演出自体も時代の変化に合わせてさまざまな試行錯誤が繰り返されてきた。モータリゼーションの歴史がさまざまな挑戦の積み重ねだとするならば、それを象徴するショーもまた挑戦的であるのは、至極当然ということか。

さまざまなエポックメイキングに彩られた波乱万丈の60年という節目を超えて今、新たな東京モーターショーの「おそらくはもっと波乱万丈？」な60年が幕を開ける。

注目の展示車

モビリティの未来を提案するコンセプトカーや市販目前の最新モデルが会場を埋め尽くす。東京モーターショーに来たら必見!の車両をご紹介します。

国産車

JAPANESE PASSENGER CARS



東1・2・3

HONDA

ホンダ



新型FCV (仮称)

セダンのボンネット内に燃料電池のパワートレインを集約。大人5人が快適に座れる、ゆとりあるスペースを実現した。航続距離は700km以上、非常時には「移動発電所」として電力を供給することもできる。



新型NSX

徹底的に軽量化されたボディに、新開発の直噴V型6気筒ツインターボエンジンをミッドシップに搭載。画期的な3モーターハイブリッドシステム「SPORT HYBRID SH-AWD」を採用したスポーツモデルだ。



Honda Project 2&4 powered by RC213V

ホンダ プロジェクト 2&4 パワード バイ RC213V
1960年代のF1マシンをモチーフにしたデザインに、MotoGPクラス2連覇を達成したレースマシン「RC213V」の公道仕様車に搭載される990ccV型4気筒エンジン（公道仕様）を採用。二輪車の開放感と四輪車の運動性を兼ね備えている。

CIVIC TYPE R

シビック タイプR

新開発の2.0直噴ターボを初搭載。最高出力310ps、最大トルク400Nmは、歴代TYPE Rモデル最高のスペックを誇る。ニュルブルクリンク北コースでFF量産車最速タイムを記録したのもトピックだ。



西1・2

NISSAN

日産



NISSAN IDS CONCEPT

クルマの電動化と自動運転化の実現を謳う日産の「今」を象徴するコンセプトモデル。ストレスフリーの完全自動運転を実現しながら、時に意のままに操る楽しさを満喫できる、人とクルマの新しいコミュニケーションの提案だ。



TEATRO for DAYZ

テアトロ for デイズ

クルマに乗っている時も、仲間とつながり、体験をシェアできる軽の電気自動車。2020年以降に運転免許を取得する「Share Natives」世代に向けた提案だ。真っ白なインテリアには、好きな映像を映して楽しむことができる。

NISSAN GRIPZ CONCEPT

ニッサン グリップズ コンセプト
シリーズ・ハイブリッドEVシステム「Pure Drive e-Power」を搭載したスポーツクロスオーバー。日産リーフと同じ大容量モーターを、エンジンで発電した電気で駆動する。





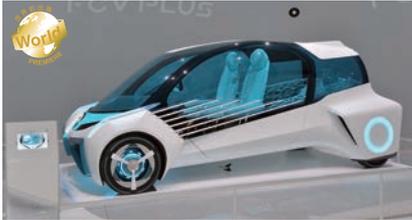
東4・5・6

TOYOTA

トヨタ

TOYOTA S-FR

トヨタ ライトウエイトスポーツの系譜を継承するコンセプトモデル。エンジンをフロントミッドシップに搭載した本格FRレイアウトを採用。意のままにクルマが反応し、クルマとの対話を楽しめるエントリーモデルだ。



TOYOTA FCV PLUS

FCVプラス

水素エネルギーが普及した近未来を想定した燃料電池車コンセプト。車外の水素でも発電が可能で、自宅や移動先でも電力の供給元となる。燃料電池スタックはフロントタイヤ間に、水素タンクはリアシート後方に搭載。

TOYOTA KIKAI

キカイ

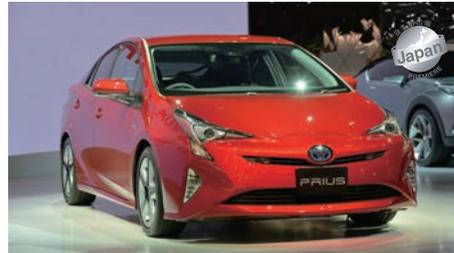
パワーユニットやサスペンションといった機械を見せるデザインは斬新、かつノスタルジック。人とクルマ（機械）の関係の再構築を目指すコンセプトカーだ。セータードライバー席の斜め後方左右にもシートを配した3人乗り。



TOYOTA C-HR Concept

C-HRコンセプト

こちらは「TOYOTA New Global Architecture」を採用したコンパクトSUV。高剛性ボディと優れた操縦安定性を備え、ドライバーの意のままにクルマを操ることができる。



新型PRIUS

プリウス

「TOYOTA New Global Architecture」を初採用したハイブリッド専用モデル。エンジンの熱効率を40%以上に高め、モーターや電池などをより小型化・軽量化、優れた低燃費性能を実現している。

東1・2・3

SUZUKI

スズキ

MIGHTY DECK

マイティデッキ

使い方に合わせて上下2段の高さを選べるオープンデッキと、キャンバストップを備えたピックアップトラック。デイリーユースからレジャーまで、多目的に使える「遊べる軽」だ。



Air Triser

エアトライサー

広い室内空間と便利なシートアレンジを備えた、コンパクト3列シートミニバン。駐車して仲間と過ごすシーンも考え、シートをコの字型に配置するラウンジモードや、スマートフォンのコンテンツを映す大画面モニターも装備。



ALTO WORKS

アルトワークス

アルトのホットモデル「ワークス」がすぐに復活。ミッションを5MT化しエンジン、足回りも専用チューニングとなる。シートはレカロだ。

Baleno

バレーノ

ダイナミックでエレガントなスタイリング、走行性能、燃費性能、実用性といった要素を高次元でバランスさせたBセグメントハッチバック。大人4人と荷物を載せて、ゆったりと遠出できる居住性も確保している。



IGNIS

イグニス

高めのアイポイントと大きめにとったロードクリアランスで、雪道や荒れた路面でも安心して走れるコンパクトクロスオーバー。オンにもオフにも使える新ジャンルの小型車だ。インテリアはシンプルかつ実用性が高い。

国産車

JAPANESE
PASSENGER
CARS



西1・2

MAZDA

マツダ

マツダ RX-VISION

「魂動（こどう）」デザインをもとに、FRスポーツカーとしての究極美を追求。長いボンネットの下には、次世代ロータリーエンジン「SKYACTIV-R」が搭載されるという。人馬一体を象徴する内装にも注目だ。



マツダ ロードスター NR-A

10月15日に発売開始された新型ロードスターの追加グレード「NR-A」は、サーキット走行も楽しめるモータースポーツベースグレード。パーティレース向けの用品を装着しての登場となる。(展示は10月29日以降)



マツダ 越KOERU

「SKYACTIV TECHNOLOGY」と「魂動デザイン」を全面採用した次世代のクロスオーバーのコンセプトモデル。車名には「既存の概念や枠組みを越える価値を提供したい」という思いが込められている。

東4・5・6

DAIHATSU

ダイハツ



TEMPO

テンポ
新ジャンルのスペース系商用車。助手席側にLED照明付の大型ガルウィングドアを採用。カウンターテーブルにショーケース、側面にはデジタルサイネージが組み込まれている。

HINATA

ヒナタ

“ナチュラルリラックス”をテーマにした、ラウンドデザインの軽自動車。両側観音聞きドアによる開放感と、緑側気分を味わえるレイアウトもある多彩なシートアレンジが特徴だ。



NORIORI

ノリオリ

超高齢化社会の「乗り降り」問題を、超低床フロアと車高が下がるニールダウンシステムで解決する近未来のマルチユース通勤車。さらに、助手席側に収納式スロープを、リヤにはフロアリフトを備えている。

D-base

Dベース

低燃費を追求するe:Sテクノロジーをさらに進化させた次世代環境車のコンセプト。空力性能を高めたスタイリッシュなエコ&スマートデザインで先進性を表現している。



東4・5・6

mitsubishi

三菱



eX Concept

eXコンセプト

航続距離 400km を実現する次世代のEVシステムを採用したコンパクト SUV のコンセプトカー。電動化技術と四輪制御技術に加え、コネクティッドカー技術や、先進の予防安全技術を組み合わせた自動運転技術も採用されている。



東4・5・6

LEXUS

レクサス



GS F

レクサスの高性能スポーツモデル「F」に新たに加わるのが「GS F」。直噴とポート噴射を併用した D-4S を採用する V 型 8 気筒 5L エンジンを搭載。大型スピンドルグリルや表皮一体発泡工法の専用シートなど、専用装備満載だ。



LF-FC

次世代レクサスのフラッグシップサルーンをイメージ。そのスタイリングは、流麗かつ圧倒的な存在感を誇る。パワートレインには、レクサス車として初めて燃料電池技術を採用している点にも注目したい。



東4・5・6

SUBARU

富士重工業



IMPREZA 5-DOOR CONCEPT

インプレッサ 5ドア コンセプト

次世代スバルのデザインコンセプト「ダイナミック（躍動感）×ソリッド（塊感）」のすべてが凝縮された、新世代スバルの第一弾。強いワイド&ロー感と、シャープなキャラクターラインが刺激的だ。



SUBARU VIZIV FUTURE CONCEPT

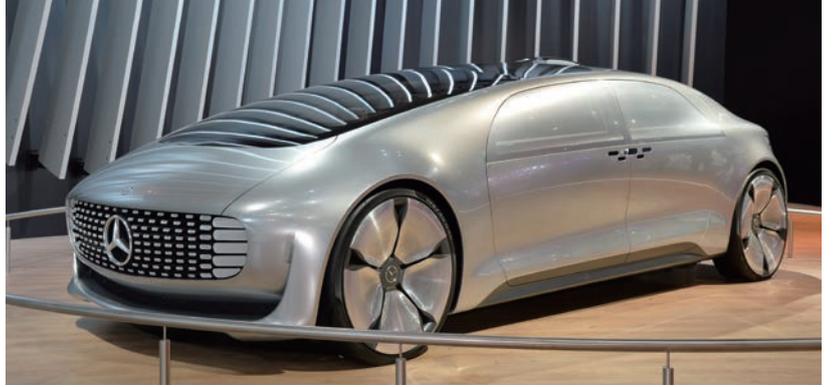
VIZIV フューチャーコンセプト

機能性とデザインを融合し、力強く躍動的な今後のスバルデザインの方向性を示すコンセプトモデル。進化版アイサイトと全方位レーダー、高精度地図データを組み合わせた自動運転技術も盛り込まれている。



輸入車

IMPORTED PASSENGER CARS



東1・2・3

smart スマート



smart fortwo / smart forfour

スマート フォーツー/フォーフォー

日本初デビューの新型スマート。これまでの2人乗りフォーツーに加え、4人乗りフォーフォーが加わっており、新型の大きなセールスポイントになっている。1.6 3気筒のエンジンに、6速DCTのミッションが組み合わせられる。

西1・2

Audi アウディ

A4
新型A4

アウディ自信のDセグメントのプランニュー。美しく、そしてバランスの取れたスポーティなフォルムは、5代目となってさらに磨きがかかっている。先代同様、多岐にわたるインテリジェントシステムも要注目だ。



東4・5・6

Jaguar ジャガー

F-Pace
Fペース

ジャガー初のパフォーマンスSUV。ボリューム感たっぷりのフォルムは、ジャガーブランドの個性を強く打ち出している。高級SUVのマーケットに一波乱起こしてくれそうだ。



東1・2・3

POLARIS ポラリス

SLINGSHOT SL
スリングショットSL

目をひく刺激的な3ホイール・ロードスターのスリングショット。360度オープンエアのcockpitは、五感に絶え間なく刺激を与え、ドライバー&パッセンジャーのアドレナリンは上がるばかりだ。



東1・2・3

Mercedes-Benz

メルセデス・ベンツ

F 015 Luxury in Motion

メルセデス・ベンツ F015

メルセデス・ベンツが提案する自動運転リサーチカー。未来の高級セダンのあるべき姿を具現化したもので、新たな移動手段のビジョンを示している。ハンドルやアクセル、ブレーキが装備され、ドライバーが運転することもできる。

西1・2

Volkswagen フォルクスワーゲン



Golf Touran

新型ゴルフトゥーラン

3月に開催されたジュネーブモーターショーで、初お披露目となったコンパクトミニバン新型「ゴルフトゥーラン」。フォルクスワーゲンの次世代を担う横置きエンジン用モジュールセット「MQB」が採用されている。

東4・5・6

LAND ROVER

ランドローバー

レンジローバー
スポーツSVR

5.0スーパーチャージドV8 (550ps/680Nm) 搭載のスーパーSUV。ニュルブルクリンク北コースを8分14秒で駆け抜ける実力の持ち主だ。映画007の最新作「スペクター」にも登場。



東4・5・6

Radical ラディカル

RXC-turbo STO

RXCターボ

ラディカル社初のクーペボディ。フォードエコブーストの3.5ℓ V6ツインターボエンジンを搭載し、横置き7速マニュアルパドルシフトで究極のドライビングプレジャーを楽しめる。硬派なSTOは、サーキット専用車だ。



東4・5・6

BMW

ビーエムダブリュー

7 Series
7シリーズ

BMWのフラッグシップ、新型7シリーズ。CFRP（炭素繊維強化プラスチック）やアルミを使った超軽量プラットフォームやプラグインハイブリッドを含む新世代エンジンを始め、最新のテクノロジーがふんだんに投入されている。



東4・5・6

MINI

ミニ



THE NEW MINI CLUBMAN

ミニ クラブマン
約7年ぶりにフルモデルチェンジされた新型ミニクラブマン。ボディサイズが拡大されるとともに、4ドア+リア2ドア（観音開き）の6ドアに変身。使い勝手が各段に向上している。



西1・2

Porsche

ポルシェ



MACAN GTS

マカン GTS

1964年登場のレーシングカー、904「カレラ GTS」に始まるポルシェ栄光のモデル名「GTS」を冠したマカンのニューモデルが登場。最も俊敏なダイナミクスを、快適性ととも実現。最高出力360psの3.0 V6 ツインターボエンジン搭載。



東4・5・6

ALPINA

アルピナ



B6 BITURBO CABRIO EDITION 50

B6 ビターボ カブリオ エディション50

ALPINA 社の創立50周年を記念して製作された、B6 Bi-Turbo をベースとしたアニバーサリー限定車。高級感のあるインテリアと最新のテクノロジーを組み合わせた。全世界50台限定。

西1・2

Renault

ルノー

Twingo

トゥインゴ

ゆるキャラをイメージさせる可愛らしいスタイリングは間違いなく、女性からの人気を集めそうだ。4人乗りというのも、好感がもたれそう。ただし、エンジンはリア搭載と、ちょっとマニアックだ。



西1・2

Peugeot

プジョー

508 GT

508ジーティー

ディーゼルエンジンを搭載したプジョーのフラッグシップモデル508GTが日本初公開。フルLEDライトや7インチタッチスクリーン、そして最高級ナッパレザーを採用するなど、上質で充実した装備にも注目したい。



西1・2

Citroën

シトロエン

C4 CACTUS

C4 カクタス

独創的なデザインは、シトロエンの“今”を体現。車重1t前後という軽量ボディは「TECHNOLOGIE（先端技術）」を実用化したもの。“旅すること”をテーマとした室内は「SMILE（笑顔）」と「WELL-BEING（幸福感）」が表現されている。



西1・2

DS

ディーエス

DS4

ディーエスフォー

シトロエンより独立した、DSブランドの最新デザイン言語を導入した流麗なエクステリアが、目をひく。ヘッドライトには、LEDが組み込まれている。ナッパレザーやセミアニリンレザーを使用したインテリアはゴージャスそのもの。



輸入車

IMPORTED
PASSENGER
CARS



西 アトリウム

Alfa Romeo

アルファロメオ



Alfa Romeo Giulietta

アルファ ロメオ ジュリエッタ

見惚れてしまうスタイリング、精悍な走り。伝統のイタリアン・プレミアム・コンパクトカーは、やはり他のブランドと一線を画す。ダウンサイジングテクノロジーを採用した1.4ℓマルチエアエンジン搭載と、先進性も抜かりはない。



Alfa Romeo 4C Spider

アルファ ロメオ 4Cスパイダー

クーペのスタイリングも美しいが、オープン化されてもその美しさを保った4Cスパイダー。ソフトトップをカーボンファイバー製のハードトップに変更できるオプションも用意されている。

西 アトリウム

FIAT

フィアット



Fiat 500X

フィアット 500X

フィアットブランド初の「コンパクトSUV」。ブランドイメージ通りのお洒落なフォルムの5ドアハッチバックに、タフなパワートレングが組み合わされている。ジープ・レネゲードとは兄弟関係となる。

西 アトリウム

Jeep

ジープ

Jeep Renegade

ジープ・レネゲード

ジープが初めて挑戦するスモールSUV、ジープ・レネゲード。小柄なボディとはいえ、佇まい、走りのそこかしこにジープらしさが満ち満ちている。FF(1.4ℓ)と4WD(2.4ℓ)のふたつのパワートレインを有し、4WDモデルには9速ATが組み合わせられる。



Fiat 500C

フィアット 500C

丸みを帯びたフォルムで、アイドル的人気を博すフィアット500のカプリオレ。「500C 1.2PopJ(直4 1240cc・ATモード付5速シーケンシャル)」と「500C TwinAir Lounge(直2 875cc・ATモード付5速シーケンシャル)」の2タイプが選択できる。



Jeep Wrangler

ジープ・ラングラー

ジープの本流ともいえるラングラー。その歴史は70有余年となるが、その機能優先のDNAは脈々と受け継がれている。ボクシーなフォルム、7スロットグリルと丸型ヘッドライトで構成されたフロントマスクが、そのことを如実に物語っている。

西 アトリウム

Abarth

アバルト

Abarth 695 Biposto

アバルト 695 ビポスト

レーシーを旨とするアバルトブランド。その中でも、スバルタンさを突き詰められたのが695ビポスト。徹底した軽量化が行われ、エアコンの設定もない。ビポストとは、2シーターの意だ。



Abarth 595 Turismo

アバルト 595 Turismo

1950年代から60年代にかけ、ジャイアントキラーとして名を馳せたアバルトチューン。2007年の復活後もその伝統は引き継がれている。595は、500をベースにサーキットドライバーとして磨き上げられたマシンだ。

二輪車 MOTORCYCLES



東1・2・3

YAMAHA

ヤマハ

MWT-9

ダイナミックでシームレスなボディに3気筒850ccエンジンを搭載。フロント2輪がもたらす圧倒的なコーナリング性能と、バンク角を最大化する外だしサスペンションレイアウトにより、高いスポーツ性能を発揮する。



Resonator125

バイクと共有するライフスタイルを提案するコンセプトモデル。ギターに用いる木目素材をあしらったタンクやシートカウル、管楽器の技法で装飾したマフラーやタンクキャップは、ヤマハブランドならではの。



PES2

既存のモーターサイクルファンにも違和感のない操作感と、新感覚の走りを実現するEV二輪のコンセプトモデル。「PES2」は前輪にインホイールモーターを装着するストリートスポーツ。

東1・2・3

KAWASAKI

カワサキ

Ninja ZX-10R ABS (KRT Edition)

2015年スーパーバイク世界選手権で年間タイトルを獲得したNinja ZX-10Rの新型。レースで得たノウハウをもとに、エンジン、シャーシを改良。次世代型電子制御技術も導入し、さらなるサーキット性能向上を果たしている。



Ninja ZX-14R ABS (High Grade)

パワフルで扱いやすい1441cc並列4気筒エンジンを搭載。Ninjaシリーズ最大排気量を誇るフラッグシップモデル。ハイグレード仕様は、ブレンボ製M50ブレーキやオーリンズ製TTX39リヤサスペンションを採用。



Z125 PRO

スーパーネイキッド「Zシリーズ」の最小排気量モデル。新設計の124cc単気筒エンジンと本格装備のシャーシ、そして前後12インチホイールがもたらす機敏な走りが楽しめるモデル。

東4・5・6

BMW MOTORRAD

ビーエムダブリュウ モトラッド

C EVOLUTION (参考出品)

既存のスクーターC-600 SPORTを水冷式モーターとリチウム電池で電動化し、48ps、72Nmという出力と100kmという航続距離を実現した電動スクーター。2時間で満充電の80%まで到達し、0-100km/hはわずか2.7秒。欧州の白バイにも導入され、新たに日本市場をうかがうエコバイクの一翼だ。



東1・2・3

HONDA

ホンダ



NEOWING

水平対向4気筒エンジンとモーターを組み合わせたスポーツハイブリッド三輪車。前輪に独自のリンク機構を採用、大型二輪車同様のスポーティーな走り、低速走行時の安定感を両立している。



Light Weight Super Sports Concept

ロングノーズの低く構えたクラウチングスタイル、スピード感のあるたたずまいを備えた次世代のスーパースポーツコンセプト。マットブラック基調のエクステリアは、美しさと迫力を兼ね備える。



EV-Cub Concept

初代スーパーカブ譲りの「扱いやすく経済的な二輪車」というコンセプトの電動バイク。バッテリーは脱着可能で、車体中央の低い位置にレイアウト。家庭用コンセントで充電できるのも使いやすい。

東1・2・3

SUZUKI

スズキ

Feel Free Go!

自転車のクロスバイクのような軽快なスタイル、「Feel Free GO! (フィールフリーゴー!)」は気軽に乗れる原付クロスバイクだ。ハンドル式のギヤチェンジを採用、メーター内にリアビュー画像を映す機能も搭載している。



HUSTLER SCOOT

遊び心満載の軽自動車「ハスラー」のようなポップなカラーリング。「ハスラースクート」は、シート下収納に加え、フットスペースにも取り外し可能な収納ケースを装備。様々な収納スペースを持つ遊べるスクーターだ。



concept GSX

「GSX」はスズキの高性能エンジン搭載車に冠せられてきた名称。新たな4気筒スポーツモデルを育む藪をイメージさせるコンセプトオブジェだ。いかに空力が良さそうなディテールに期待が膨らむ。

東1・2・3

Indian MOTORCYCLE

インディアンモーターサイクル

Scout

様々な世界記録を樹立し、稀代の名車と呼ばれたインディアン スカウト。その1920年式のフォルムを踏襲しつつ、軽量かつ高剛性なアルミ鋳造フレームを採用するなど、現在の技術が盛り込まれた独創的なミドルウェイト・クルーザーだ。



商用車

COMMERCIAL
VEHICLES



東1・2・3

HINO

日野



FUEL CELL BUS

高い環境性能に加え、外部給電機能も備える燃料電池バスのコンセプトモデル。今回のショーでは、日野は「暮らしやすい社会を支える移動」をテーマに、燃料電池バスを中心とした次世代のバス交通システムを提案している。

東1・2・3

ISUZU

いすゞ

新型GIGA

快適な運転環境、低燃費、大型トラック最高峰の先進安全装置、軽量化による高積載、情報通信を使った遠隔サポート。次世代トラックのあるべき姿を見据え、5つの性能を磨き上げた。



新型ERGA

2015年8月に発売した大型路線バス「エルガ」。燃費性能改善と軽量化のため、新型直列4気筒エンジンを採用。ノンステップエリアを拡大し、優先席を前向きに設置。室内高も見直して開放感もアップしている。



日野レンジャー ダカールラリー参戦車

1991年の初参戦以来、24回連続して出場し、毎回チーム完走記録を積み重ねてきた日野レンジャー。ダカールラリー2014で菅原照仁ドライバーが完走を果たした車両と、過去に受賞したトロフィなどを展示。

日野プロフィア ハイブリッド

大型トラック「日野プロフィア」をベースとしたハイブリッドトラック。長距離を走る大型トラックの燃費を改善するため、ハイブリッドシステムを応用した電動冷凍システム、廃熱回収発電システムなどの燃費向上技術も紹介。

東1・2・3

Mitsubishi Fuso

三菱ふそう



SUPER GREAT V / 2016Model

三菱ふそうのフラッグシップモデルの最新バージョン。「動力遮断自動制御システム」「オートクルーズエコノミーコントロール機能」といった最先端テクノロジーを搭載し、圧倒的な低燃費を実現。とくに高速道路走行で真価を発揮する。



SUPER GREAT V / SPIDER

街づくりのさまざまな場面を想定し、新型スーパーグレートVに、「つかむ」「すくう」「掘る」「砕く」のナックルブームクレーンを4基搭載。多機能でパワフルな「働くクルマ」をイメージしたコンセプトモデル。



CANTER / Power Supply Vehicle

小型ハイブリッドトラック「キャンター エコハイブリッド」をベースに、災害などの非常時にハイブリッドモーターを発電機として活用することで、外部への電力供給を可能とした。社会に貢献する次世代トラック。

東1・2・3

UD TRUCKS / VOLVO TRUCKS

UDトラックス/ボルボ・トラック



Quon Vision

「クオン・ビジョン」は、UDトラックスが掲げるビジョン「スマートロジスティクスの実現」に向けてのシンボリック存在。一歩先を行く、燃費・環境性能、稼働率・生産性、運転性能・安全性を目指して開発されている。

Volvo FH

2012年に設計思想から変えるフルモデルチェンジを行ったボルボ・トラックの主力モデル「ボルボFH」。キャブデザインを大幅に変更し、居住性や視認性、操作性を向上。デュアルビューモニターを標準装備し、安全機能も充実させた。



UD Electric Demonstrator

「UDエレクトリック・デモンストレーター」は、低ノイズ、高い輸送効率を実現する中型クラスのボディを採用、排気ガスを排出しない電動実験車。

2015
10.28 → 11.08
[入場無料]

TOKYO
MOTOR
FES
2015

with
みんモー

Part2
@ MEGA WEB

MEGA WEBで
いま注目の
クルマに
試乗できる!

東京ビッグサイト



ヴィーナスフォート・
メガウェブ

無料シャトルバスも
運行中!

それは、乗れるモーターショー!

東京モーターショーの開催中“見て、乗って、感じる”テーマパーク「MEGA WEB」に、いろいろなメーカーのクルマが大集合。ピストン西沢プロデュースのライフスタイル別展示をはじめ、特別プログラムなどクルマをもっと身近に楽しめるイベントが盛りだくさん。さあ、今年は湾岸エリアで、いま注目のクルマをまとめて楽しもう!

東京モーターフェス2015 with みんモーとは

今年のモーターフェスはピストン西沢の「みんなのモーターショー」がスケールアップしてお台場とMEGA WEBをジャック。新しいクルマ遊び文化を創るイベント「みんモー」ならではの見て、乗って、遊んで、1日中楽しめるイベントでクルマの魅力とテクノロジーを体感できる!



ピストン西沢が選んだ、
いま話題のクルマたち!
みんモー的
ライフスタイル展示

Luxury



TOYOTA クラウン アスリート

Family



DAIHATSU キャスト アクティブ

Smart



Volkswagen Golf

Active



MAZDA Roadster

各メーカー話題のクルマ、一気乗り!
ライドワン・テストドライブ



HONDA S660

大迫力のスポーツドライビングも!
最新テクノロジーも!
86エクストリーム走行/
テクノロジー・プレゼンテーション



TOYOTA 86

あの名車たちの、
受け継がれるDNA。
「伝承と進化」特別展示



TOYOTA 2000GT

クレイジーケンバンド
横山剣が登場!
スペシャルトークライブ
(11月3日)



展示・試乗車について、詳しくはWebサイトをご覧ください。 **みんモー**

主催：東京モーターフェス2015 with みんモー実行委員会 共催：一般社団法人 東京臨海副都心まちづくり協議会

後援：一般社団法人日本自動車工業会 東京都 協賛： 協力： 株式会社講談社ピーシー

クルマの技術やデザインには
建築のヒントが
たくさんつまっています。

隈研吾さん
建築家

クルマと建築には同じ手法が使われていることもある

「日を浴びる希少なチャンスですからね、オープンカーに乗るのは。だから雨が降らない限りは屋根を開けて走ります。10分走っただけでも気分をガラッと変えられるんですよ。オープンカーは、クルマとは別の種類の乗り物です」。

最初のサーブから現在のミニまで、ずっとオープンカーを乗り継いでいる隈さん。取材時で世界16カ国にプロジェクトを抱え、365日を目一杯使いながら世界の現場を回っていた。

「建築は絵で分からないことが多いから、必ず現地に行って、触りながら決めていきます。パリの空港から現地までの約1時間の移動時間も、フライト中に受けたメールの返信や、それに伴う指示だけで終わってしまいます」。

そのためオープンカーのステアリングを握る時間は、貴重なプライベート時間だという。

「最近ではAピラーが寝ているクルマも多いけど、サーブやミニはAピラーの角度が立っているから、その分、余計に日に当たれるわけ(笑)。クルマを運転しながら、そんなことを考えたりします」。

クルマを建築学的に見たりすることも? 「ありますよ。構造体とガラスの関係なんてまさにそうですが、クルマと建築は基本同じだと思います。技術的に建築と同じものもあります。例えばクルマのフロントガ

ラスの下って黒ですが、上にいくと次第に黒いドットになりますよね。そのドットもだんだん薄くなっていく。これは建築だと柱(クルマだとピラー)の存在を消すスパタリングという手法です」。

世の中の流れを知るためにはクルマのデザインは気になる

さらに、建築を考える上で、クルマがヒントになることもあるという。

「例えば最近のシトロエンはデザインの中にわざとノイズを入れているとか。こういうのは面白いな、建築にも取り入れてみたいと思うことは結構あります。建築だと打ち合わせから設計の提出まで約1年しかないし、基本的にはクライアントの要望が根底にあります。しかしクルマの場合、3年以上は考えるんですよ。しかも発表して終わりではなく、そこからいかに多くの人に買ってもらおうかという勝負になるわけですから、どうしても世の中の流れが今後どうなるかということまで考える必要がある。それどころか、世の中の空気をどうして行こうか、という意図すら感じます。ですからクルマのデザインは気になりますね」。

では、隈さんから見た世の中の流れとは? 「今は反コモディティ化の流れじゃないですか。20世紀はコモディティの時代で、家電やクルマ、建築も世の中にどんどん普及する過程で、均一的なものが主流になっていきました。けれど21世紀は、例えば中身は同じでも国ごとや地域毎にデザイン

の違うクルマが必要になってきたように、反コモディティの方向に振れ始めているんだと思います」。



残念ながら多忙を極める隈さんご自身は今回の東京モーターショーに足を運べそうにないという。しかし「毎回ウチのスタッフに行ってもらって、情報をキャッチアップしています」という。みなさんも、世の中の流れ、感じ取ってみたいはいかがでしょうか。

PROFILE

くまけんご ●1954年 神奈川県生まれ。1979年 東京大学建築学科大学院修了。1986年に空間研究所、1990年に隈研吾建築都市設計事務所を設立。2009年より東京大学教授。1997年「森舞台/登米町伝統芸能伝承館」で日本建築学会賞受賞、同年「水/ガラス」でアメリカ建築家協会ベネディクタス賞受賞。以降、世界的な建築家として活躍中。「小さな建築」(岩波新書)、「建築家、走る」(新潮社)など著書も多数。



“世界に通用する”12人の日本人

「TECHNOLOGY×FANTASY」をコンセプトとして、世界一の「テクノロジー・ショーケース」を目指す今回の東京モーターショー。そこで、表紙には12名の“世界に通用する日本人”に登場していただいた。世界で通用するためには何が必要か。12名の方々のお話にはそんなヒントがたくさん詰まっている。



レクサスの次世代フラッグシップカーのコンセプト「LF-FC」を世界初公開。独自のデザインフィロソフィーである「L-finesse」に基づき、スピンドルグリルからはじまる力強く美しいデザインを実現。またブースには日本初公開で年内発売が予定されている、5ℓ V8エンジンを搭載する「GS F」や新型の「RX」などが展示されている。

レクサスの次の10年に向けて 燃料電池車のコンセプトを発表

まるでスケートボードのように宙に浮いたホバーボードが走りだす。

グローバルブランド広告キャンペーン動画「AMAZING IN MOTION」の第4弾「SLIDE」編で、レクサスのプレゼンテーションははじまった。

登壇したレクサスインターナショナルプレジデントの福市得雄氏は、「これがレクサスが追求する“驚き”と“感動”なのです。レクサスはいつも想像を超える驚きや感動の提供を考えています」と述べ、日本国内で10周年を迎えたこのタイミングで、次の10年を見据えた次世代のフラッ

グシップカーをイメージしたコンセプト「LF-FC」を世界初公開した。

この「LF-FC」はレクサスとしては初の燃料電池車であり、前輪にインホイールモーターを採用し、四輪駆動となる。またFCスタックや水素タンクの配置を最適化し、均等な前後重量配分を実現することで優れた操縦安定性を実現。

さらにはクルマが高度な認識、予測判断を行い、車車間・路車間通信を活用する自動運転技術や、インテリアにはタッチパネルに触れることなく、ジェスチャー入力が可能な操作システムを搭載するなど、次世

代インターフェイスを探求している。

これまでレクサスは、グローバルでハイブリッドモデルを積極的に市場投入しており、12モデルの内9モデルに設定、その内2モデルが専用。全世界のレクサス販売の3割をハイブリッドモデルが占めるといふ。「レクサスはエコカーのイメージが強いブランドです。現在は来たるべき水素社会への準備期間であり、『LF-FC』はレクサスの新たな章を想像させる一例です。新たな驚きと感動を感じとってください」と福市氏は力強く語り、プレゼンテーションを締めくくった。



「安全になることでクルマはもっと楽しくなる」という理念を語り、自動運転技術などに関するさまざまな開発状況を説明する代表取締役兼CEOの吉永泰之氏。世界初公開となったのは左写真の「VIZIV FUTURE CONCEPT」と「IMPREZA 5-DOOR CONCEPT」の2台。WRX STIの特別仕様車「S207」は、限定400台を12月1日に発売すると発表された。

次期インプレッサ登場は2016年末と明言 2017年には高速道路での渋滞時追従機能を市販化

富士重工業（スバル）のプレゼンテーションは冒頭、代表取締役兼CEOの吉永泰之氏がグローバルでの好調な業績を発表。「スバルらしい独創的技術を長い時間かけて磨いてきた成果」との自負を示し、そのうえで「単なる道具としてのクルマではなく、ワクワクする人生のパートナーでありたい」とのビジョンを述べた。その言葉どおり今回のスバルブースは「New SUBARU Story」をテーマとし、安心して愉しい世界観を5つの大型スクリーンで表現する劇場型ブース「SUBARU Life Theater」となっている。各社が取り組んでいる自動運転について

は「2017年には高速道路での渋滞時追従機能を市販車に搭載する」と宣言し、2020年には高速道路上での自動運転を市販車で実現させるとの見通しを明示した。

そして世界初公開となったのが「VIZIV FUTURE CONCEPT」。現状のアイサイトを進化させた先にある自動運転技術や、ダウンサイジングターボとハイブリッドシステムを組み合わせたパワーユニットを採用するSUVタイプのコンセプトカーで、「スバルがお客様にお届けしたい安心して愉しいクルマづくりの将来ビジョンを具現化したモデル」とのこと。

そしてもう1台のワールドプレミアとなったのが、次期インプレッサのデザインスタディモデルである「IMPREZA 5-DOOR CONCEPT」。凝縮されたサイズの中にスバルらしいデザイン要素を表現したこのカタチは、今後のスバルデザイン全体の方向性を提示しているという。そして吉永社長は次期インプレッサの市場導入時期について「2016年末」と明言。またこのインプレッサから「スバル・グローバル・プラットフォーム」と呼ぶ新しい車台が採用され、「世界トップクラスの安全なクルマづくりを堅持する」との意気込みをアピールした。

アルファード・エルキュール・コンセプトのグリルはヨットの先端をイメージ。次世代パーソナルモビリティの「コムス・ネクスト」はインホイールモーターを搭載する。



PRESS BRIEFING

楽しい利用シーンが パツと思ひ浮かぶ 5台のコンセプトカー

ショーのテーマは「アクティブ・ライフ・ビークル」。同社が開発・生産するクルマに「思わずニコツとなる5つのドッキドキの、新たなライフスタイル」を5台のコンセプトカーで披露した。

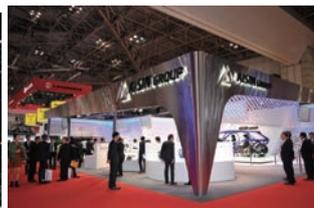
南欧の海を疾走するクルーザーに見立てた「アルファード・エルキュール・コンセプト」は、大きなソフトトップを備えたオープンカー。「ノア・アクティブ・クロス」はサーフィンボードなどを載せやすい

よう、ワンタッチで運転席以外のシートが床下に格納され、大きくフラットな空間が生まれる。そのほかクールなリムジンと化したハイエースや、スタイリッシュに仕立てられたランドクルーザー70などを展示。

AISHIN Seki

アイシン精機

東1-2-3



完全自動駐車や、ドライバーが運転中に不測の事態で意識を失ってしまった場合など、緊急時にクルマを安全に退避させる技術など、数々の技術開発が進められている。



「For a Better Tomorrow」 をスローガンに自動運転に 貢献する技術をさらに加速

アイシングループのプレスブリーフィングには、アイシン精機取締役社長の伊原保守氏が登壇。アイシン精機は今年で50年を迎えており、今後は「環境・燃費」「安心・安全」の2つのテーマをもとに技術開

発を進めていく。

「環境・燃費」に関しては、「熱マネジメント」「パワートレインの電動化」「伝達効率の向上」「空気抵抗値の低減」「軽量化」を追求し、2025年には車両トータルとし

て30%の燃費向上に貢献する技術を開発。

「安心・安全」については、画像認識や空間認識、車両制御などの要素技術を活かし、交通死亡事故ゼロのクルマ社会を目指し、この2つの課題に挑戦していくという。



「乗員の感情を理解するシート」を発表

自動車用シートやドアトリムなどを開発・生産するティ・エステックは、自社の若手エンジニアが集う研究会「座ラボ」から生まれた「感情を理解するシート」を発表。まったく新しいシートアレンジを提案するとともに、ドライバーや同乗者の脳波を読み取ってシートの色を変化させることで、自動運転時のより楽しい空間づくりを提案するという。このほかデザイナー／クリエイティブコミュニケーター根津孝太氏と共同開発した電動バイク「zecOO（ゼクー）」用のアクセル連動型シートの発表も行われた。



Eモビリティに向け、EVコンセプトカーを展示

1915年に設立され今年でちょうど100周年を迎えたZFでは、ドイツ本国からCEOのシュテファン・ゾンマー博士が来日。今年TRWオートモーティブを傘下に収め、さらに日本の横浜にも研究開発拠点を設立し、来たるべき自動車の電動化に向けた開発と設計に注力していくと語った。ブースにはZFが開発したEVコンセプト「アドバンスト・アーバン・ビークル（AUV）」を展示。半自動運転が可能で、ステアリングの切れ角75°、最小回転直径は約6.5mを実現する。都市型Eモビリティ（自動車の電動化）の開発が加速していく。



「SMART MOBILITY CITY 2015」の特設スタジオで公開放送

TOKYO FMは、「東京モーターショー2015」の期間中「KURUMA.LOVE」と題し、「クルマのある暮らし」「クルマのある未来」「クルマとの関わり方」を考えるスペシャルウィークを各番組で放送する。また、モーターショー会場内西展示棟4階の「SMART MOBILITY CITY 2015」内に特設スタジオを設け、キッズDJ体験コーナーなどの楽しい企画を展開。11月7日（土）10時~10時50分（開場10時）には、「TOYOTA Athlete Beat」（パーソナリティ：藤木直人/伊藤友里）の公開生放送が行われる。



現役時代は天才とうたわれ、数々のタイトルを獲得した元二輪レーサーにして現在は二輪ジャーナリストの宮城 光氏と、『脳を鍛える大人のDSトレーニング』の監修でもおなじみの東北大学 加齢医学研究所 所長・川島隆太氏による「バイクがある暮らし」に関するシンポジウム。会場は満員の大盛況であった。

やっぱり「バイクがある暮らし」は面白い！ マジメな爆笑トークに場内大満足

「はじめよう！楽しいバイクのある暮らし」と題された11月3日開催のシンポジウムは、二輪ジャーナリスト兼ライディング・インストラクターの宮城 光氏と、脳トレーニングゲーム開発者としても有名な東北大学教授・川島隆太氏による対談形式。超一流レーサーだった宮城氏と、学生時代からバイクを愛好し続けている川島教授の対談は爆笑につぐ爆笑でありながら示唆に富む内容で、満員の会場は終了後「このシンポジウムに来てよかった！」といった空気に包まれた。

まずはお二人のバイク遍歴披露から始まり、続いて話題は「バイクの魅力と楽しみ方」に。川島教授は「バイクに乗るということは本当に脳のトレーニングになり、そしてストレスを解放する最高の手段にもなる」と力説。それに対し宮城氏が「レース解説者とし

てテレビでしゃべる際も、四輪車でスタジオに行った日よりバイクで行った日のほうが滑舌が良くなりますね」というと、川島教授は「それはまさに我々が行った実験通りの反応!」と。すべての外界状況を素早く正確に把握し、そして予測したうえで即座に反応する必要があるバイクの運転中は脳の働きが活性化し、そして脳の力も向上するのだという。

バイクを愛する二人の盛り上がりトークはいつまでも尽きない様子だったが、最後に身の安全を担保する胸部プロテクター装着を熱烈に勧め、そしてシニアと言われる年齢になっても安全に楽しくバイクに乗るためのコツや心構えが伝えられ（宮城氏いわく速いライダーではなく“上手いライダー”を目指してほしいと）、バイク愛あふれる対談は惜しまれつつ終了した。



写真上:「シンポジウム」という堅苦しいイメージを超える楽しい内容だったが、お二人の経験と知識に基づく発言はどれも胸に刺さり、ライダーにとって有益な情報ばかりであった。写真中:胸部プロテクターの重要性を説くお二人。写真下:いちライダーとしてハイグリップタイヤに興味津々の川島教授。



“SMC Station Core”ブースは、超小型モビリティの試乗コース隣にある。真っ白な柱を組み合わせたクリーンなたたずまいで、展示のしかたもシンプルかつわかりやすい。入り口脇には、住友ゴム工業が開発した「空気を入れない」タイヤ“ジャイロブレイド”が、こちらもなかなか面白い。

多様化していく次世代モビリティを、賢くスマートに使いこなす新提案

西展示棟4階の大きなスペースを占めている“SMART MOBILITY CITY 2015”では、次世代モビリティの体験試乗コーナーが大人気。超小型モビリティやパーソナル・モビリティに対する関心は、非常に高い。

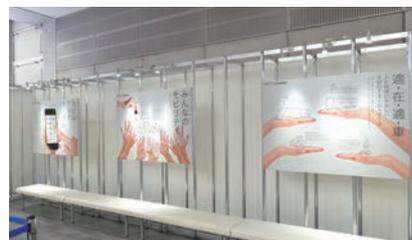
その試乗コースに隣接している主催者展示の“SMCステーションコア”では、バス高速輸送システムや次世代型路面電車システムといったバスや路面電車の進化形まで含めた、多様化する未来の都市交通システムの姿を総合的に紹介している。

そこでは、わかりやすいパネルを中心に各モビリティの概要を解説。さらに、それらが無駄なく賢く使い分け、乗りこなすという“マネジメント”の大切さ、楽しさも語られている。そうしたコンセプトを端的に表しているのが、“Multimodal<マルチモーダル>”

と呼ばれる考え方だ。

マイカー、公共交通機関、超小型モビリティなど、複数のタイプが異なる乗り物を連携させることで、地球環境への負荷を低減させるのが、マルチモーダルの主な目的。そして効率の良い乗り物を、より効率良く乗りこなすために、ハード面での進化だけではなく街づくりのレベルからさまざまな整備が必要になることも、理解することができた。そうしたスマートな街づくりへのアプローチは、交通弱者へのサポートに関しても、とても重要なファクターになりうるかもしれない。

ブースには、“国際学生 EV超小型モビリティ デザインコンテスト2015”の優秀作品も展示されている。超小型モビリティの未来形を提案したイラストは、どれも抜群にスタイリッシュだ。



写真上:シンプルな解説パネルは、「急がばマルチモーダル」「適・在・適・車」などなど、ウイットに富んだキャッチが目を惹く。写真中:“デザインコンテスト”の優秀作は、それぞれにとても個性的。機能一辺倒ではなく、デザイン性にも富んでいる。写真下:SMCステーションコア前から発着する超小型モビリティのシェアリングサービス。

メリハリの利いた駐車テクニックに、感嘆！



写真上：車外からもリモコンを使って「車庫だし」を自動で行える（デモは安全のためインストラクターが乗車）。写真下左：レーダーで車間を維持、カメラで前走車を追尾。コース上のパイロンをしっかりと避けて走る。写真下右：11月5日（木）まで三菱自動車、ホンダ、メルセデス・ベンツがデモンストレーションを実施。

「百聞は一見に如かず」…ではないけれど、各メーカーが開発にしのぎを削っている“自動運転”“高度運転支援システム”の完成度を実感できるのが、屋上展示場特設コースでの“デモンストレーション”。今回は、三菱自動車が開発中の、最新自動駐車と追従走行のシステムを実際に試乗してみることにした。

デモはまず、縦列駐車した状態で「クルマを出す」ところから始まる。ドライバーがするのは、リモコンのスイッチを押すだけ。ステアリング操作に加えシフト選択やアクセル、ブレーキ操作まで自動的に制御され、クルマは車線に向けて方向を変える。そこから走り出すと、前走車を感知して追従が開始される。障害物を避ける時も、しっかり追いかけていく。

続けての自動駐車もステアリング、シフト、アクセル、ブレーキの制御はお任せ。決してガラガラと止めるのではなく、かなりメリハリのきいた加減速感でビシッと止める。「オートな」ドラテクは、かなりの優れモノだった。

東京モーターショーのいぶし銀(?)、イケてる車体工業会合同ブース。



さまざまな「働くくるま」を展示中の車体工業会合同ブース（車体屋外展示場）。写真の救急車は軽自動車ベースの「こまわり救急」。スライドボディ付きダンプトラックも渋い。

乗用車の新技術も素晴らしいが、商用車も気になる…という来場者も多いだろう。東展示棟に来たならば、ぜひ車体屋外展示場にも足を延ばしてみよう。そこでは「働くくるまが大集合！」と題した車体工業会合同ブースが展開されているのだ。展示されているのはコンクリートミキサー車や飲み物を運ぶボトルカー、鋼材の輸送に使うトレーラーなどだが、これがメーカー担当者から説明を聞いてみるとめっぽう面白いのだ。

例えば日通商事の伸縮式セミトレーラーは、伸縮装置だけでなく実はトレーラーの後輪がステアリングと連動して4WS的に動く仕組み。またKYBのコンクリートミキサー車は、さまざまな情報化システムが乗用車だけでなく、ミキサー車の世界にも及んでいることがわかるハイテクぶり。働くくるまが好きなお子さんも、そして実は商用車萌えなお父さんも、行けば大満足間違いなしのこのブース、ぜひ注目してほしい。

ピストン西沢さんセレクトのライフスタイル別オススメ車。



来場者の平野雄大さん(左)は「実際見るとやっぱカッコいいですね」と。中家涼子さん(右)は「クルマに興味はなかったんですが、見ると欲しくなります(笑)」と語った。



東京モーターショー期間中開催されている「東京モーターフェス2015 with みんなモーター Part2 @MEGA WEB」では、「みんなモーター ライフスタイル展示」にも注目。人気DJのピストン西沢氏が「今みんなにオススメしたい」と考える「旬なクルマ」が勢ぞろい。趣味や好きなモノから導き出される4つのライフスタイル別オススメ車の中に、「あなたに一番似合うク

ルマ」が見つかるはず。

ピストン西沢氏によるそれぞれのクルマのチェックポイントも必見だ。東京モーターショー会場の大混雑ぶりとは比べれば比較的空いていたので、気になるクルマをじっくりチェックできる穴場スポットと言えるかも？ 11月8日(日)まで、毎日11時～20時開催。

日本自動車工業会トップの直筆メッセージは必見。

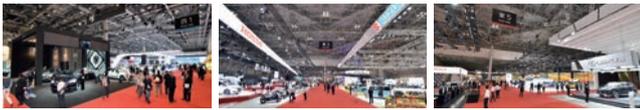


平日限定で来場者からもメッセージを募集。参加者には記念ステッカーをプレゼント。
(※配布予定数に達し次第終了となります)

「クルマと道と会話ができるとき」、「ガレージの愛車を一目見るたびに」、「晴れた休日にハンドルを握る瞬間」、「バイクをバンクさせてイメージ通りカーブを曲り切った瞬間」…。

クルマ好き&バイク好きならグッとくるメッセージがボンネットに書かれた白いS660が、西展示棟1階アトリウムに展示されている。

このクルマは、10月24日(土)に開催された「東京モーターショー60周年記念パレード」に参加した「東京モーターショー60周年記念パレード シンボルカー」。日本自動車工業会各社のトップが、今回の東京モーターショーのテーマ「きっと、あなたのココロが走り出す。」に寄せた直筆メッセージが書かれているのだ。好きなメーカーのトップのメッセージは？ 西展示棟1階に来たら、ぜひ立ち寄ってみよう。



会場 ウォッチング

Look around

TOKYO MOTOR SHOW

東京モーターショーニュース取材班が、
来場者の皆さんや出展社ブースに突撃取材。
東京モーターショー会場の熱気をお届けします!



東1・2・3

菅野 良践 さん

東京都 28歳

ヤマハのコンセプトモデルに興味津々。

ヤマハブースで出会った菅野さんは、オートバイもクルマも大好き。東京モーターショーへは初めての来場。ヤマハの2人乗りのピュアスポーツモデル「YZZ100R」も大変お気に入りだそうで、コクピットに収まっていただきました!



東1・2・3

川島 淳二 さん

東京都

由香利 さん

東京都

颯太 さん

東京都 12歳

朝から会場をくまなく見てまわりました!

家族3人で来場の川島さんファミリー。淳二さんのお目当てはホンダの新型「NSX」。颯太さんは、ホンダ「CR-Z」の運転席に座ってご満悦。「日産のコンセプトカーも印象に残ってますね」とのこと。朝から会場をくまなく見て回ったので、歩き疲れたそうです。



東4・5・6

小川 つかさ さん

群馬県 26歳

スマホで展示車両を
熱心に撮影。

キュートな姿からは想像できないけど、実は整備士の小川さん。東京モーターショーは4回目。一番興味深かったのは日産の自動運転技術だとか。愛車はエスクードという彼女、ボルボV60やサブ9-3といったチョイと古めの輸入車も好きなんだって。



AJAJツアー参加

野口隆彌 さん

神奈川県 74歳

晴海時代の東京モーターショーも知る老紳士

かつて自動車メーカーに在籍されていた野口さん。日本自動車ジャーナリスト協会(AJAJ)ツアーに参加したが、もう少し技術系の解説を聞いたかったとのこと。「参加者の興味の分野も異なるので、そういうグループ分けがあってもいいかもしれませんね」。



SMART MOBILITY CITY

笠原 修平 さん

群馬県 22歳

佐々木 瞬 さん

群馬県 21歳

人は多いけど、いろいろなものが見られて楽しい!

チューニング系が好きな佐々木さん(左)は、東京オートサロンは経験済みだがモーターショーは初めて。ホンダ「NSX」を見るのを楽しみにして来た。笠原さんも初来場で「ニッサン コンセプト2020 ビジョン グランツーリスモ」に注目している。

東4・5・6 カーメイト



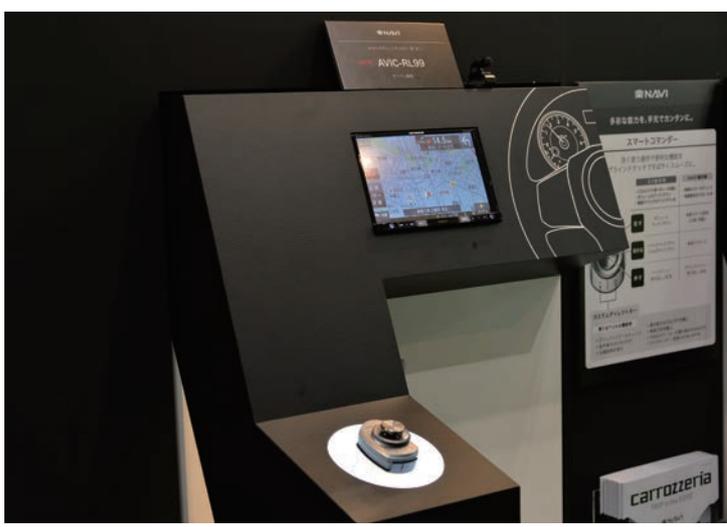
秘密基地でスマホと連携した最新カー用品をチェック!

センサーを組み込んだカー用品から送られる情報をスマートフォンに送りビジュアル化する「見える化」アプリが面白い。これは2つのセンサーを搭載したベースキャリアの取り付け具合や、積載重量がスマホに表示されるというもの。
「チャイルドシートリモートサンシェード」ではスマホやスマートウォッチからサンシェードの開閉ができるほか、日照センサー付きのオートサンシェードなども参考出品されている。またエンジンスタターをアプリで操作する「TouchStart Router」も体験できた。



来年創立50周年を迎えるカーメイト。50年振りにテレビに再登場した『サンダーバード ARE GO』とタイアップし、ブースを“最新カー用品を開発する秘密基地”として演出。記念撮影用の顔出しパネルも用意されています。

西3 パイオニア



楽ナビのニューモデルなど、最新のカーAV機器を触って体感。

SMCエリアとは別にもうひとつ設けられたパイオニア・ブースでは、最新の「楽ナビ」をチェック。先代モデルから採用された「スマートコマンダー」がより使いやすくなっている。「ダイレクトキー」に割り当てられる機能が46種類と増えたほか、高速道と一般道の切り替えなどルート探索の条件変更も可能。手元の操作で、よりスムーズにルートを探索できる。一時停止標識の地点データも収録。ルート上で一時停止ポイントに差しかけると、表示と音声で注意喚起してくれる。



ブース内には8型ラージサイズのAVIC-RL99と、180mm幅の7型モデル・AVIC-RZ99の楽ナビ最新モデルを展示するほか、サイバーナビの「ミュージッククルーズチャンネル」などを紹介。

東4・5・6 トヨタ紡織



ファーストクラス並みのゴージャスなシートに夢心地。

トヨタ紡織では「ラグジュアリーコンセプトシート」に座ることができる。トヨタモデリスタの「アルファード/ヴェルファイア Royal Lounge」に採用されたもので、後席を2列化しファーストクラス並みの極上空間を作り上げている。パワーアウトマンをはじめ、集中コントロールタッチパネル、アルミ削り出しの格納ケーブル、読書灯などを備えるほか、マッサージ機能も装備するなど贅をこらしたシートだ。このほか雷克萨斯「GS F」などに採用されている「表皮一体発泡工法」のシートも着座体験できる。



タブレットを使ったバーチャルなシートデコレーションも体験できる。でき上がったデザインはその場でシールにしてくれる。ブースの壁に貼って「Petal City」を完成させよう!

東京モーターショー 2015の
全てがわかる!

本誌全**12号セット**を**100名様**に!

TOKYO MOTOR SHOW 2015 NEWS

..... アンケートでプレゼント!

「東京モーターショー 2015」、楽しんでいただけましたか?

本誌の会場マップや記事は、皆さんの会場めぐりをサポートできましたか?

2年後、もっと便利なガイドブックをご提供できるよう、アンケートを実施します。

ご自宅に帰って今回の東京モーターショーを振り返りつつ、ご応募をお願いします。



TOKYO MOTOR SHOW 2015 NEWS コンプリートセット

「TOKYO MOTOR SHOW 2015 NEWS」は、会期中12日間、毎日日替わりで発行されています。つまり、今日あなたが手にとった号の他に、11号あるのです! アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で100名様に、01号~12号まで全12号まとめてプレゼントします。

ダブルチャンス!!



惜しくも全12号セットを逃した方の中から抽選で100名様に、TOKYO MOTOR SHOW 2015 NEWSのオリジナルQUOカード(500円)をプレゼント。

**特製QUOカード(500円)を
100名様に!**



このQRコードを
読み込んで応募!

【応募要項】

- 応募締め切りは、2015年11月20日(金) 24時です。
- QRコードをスマートフォンや携帯電話で読み込むと、アンケートフォームが表示されます。各設問にお答えいただき、送信すると応募完了となります。
- 必ず「プライバシーポリシーについて」をお読みいただき、同意の上、画面表示に従ってアンケートにご回答ください。
- 本抽選は日本国内在住の方に限ります。
- お一人様1回限りの応募となります。
- ご連絡先のメールアドレスをご記入ください。当選された方には、当選連絡メールをお送りします。1週間以内に賞品送付先のご住所を返信してください。
- @tokyomotorshownews.com からのメールを受信できるように設定をお願いします。
- 当選連絡後、1週間ご連絡をいただけない場合、当選連絡メールが届かない場合は当選無効となります。
- アンケートの回答内容、お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選、賞品の配送、個人を特定しない形での集計・分析、以外で使用することはありません。
- 応募者の個人情報をご本人の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。(法令等により開示を求められた場合を除く)
- 発表は発送をもって代えさせていただきます。

東京モーターショー 2015の公式SNSを開設中!



公式Webサイトよりも情報展開が速く、フットワークが軽い独自メディアとして活用しています。公式Webサイトにアップされたコンテンツのシェアにとどまらず、SNSオリジナルのコンテンツも用意し、東京モーターショーをよりディープに紹介できるように運営しています。

<日本語ページ>

Facebook : <https://www.facebook.com/tokyomotorshowjpn>
Twitter : https://twitter.com/tms_jpn
Instagram : https://instagram.com/tms_jpn/

<英語ページ>

Facebook : <https://www.facebook.com/tokyomotorshoweng>
Twitter : https://twitter.com/tms_eng
Instagram : https://instagram.com/tms_eng/



とう きょう 東京モーターショー2015オリジナルトミカが当たる!

わくわくスタンプラリー



きみ あつ 君ならいくつ集められるかな?

ちゅう せん とう きょう 抽選で東京モーターショー2015オリジナルトミカ
【No. 0 スタンプラリーイベントカー】をプレゼント
 お かず ひ かい すう ぶん 押したスタンプの数から2を引いた回数分、
 ちゅう せん さん か 抽選に参加できるよ!(5,000台)

※予告なくイベント内容、期間が変更になる場合がございます。
 ※スタンプラリーポイントは予告なく変更になる場合がございます。



東京モーターショー2015会場内
 「トミカコーナー」にて
 東京モーターショー開催記念トミカ
 No. 1号車~12号車を販売
 © TOMY「トミカ」は株式会社タカラトミーの登録商標です。

スタンプ設置施設

(スタンプラリーカード配布場所)



【スタンプラリーの楽しみ方】

① スタンプラリーカードに記載されている各施設(17ヶ所)でスタンプを押してください。

② 3ヶ所以上の場所でスタンプを集めて、抽選会場にお越しください。

参加賞として先着10,000名様にオリジナルクリアファイルをさしあげます。

③ 更に、押したスタンプの数から2を引いた回数分、抽選にご参加頂けます。

抽選で先着5,000名様にオリジナルトミカ【No. 0 スタンプラリーイベントカー】をプレゼントします。

- ・スタンプラリーへのご参加は、お一人様、一回までとなります。・スタンプラリーカードの引換は、ご本人様のみとさせていただきます。・小さいお子様は保護者同伴の上、ご参加ください。
- ・スタンプはスタンプラリーカード内の指定の場所に押してください。異なる場所に押されている場合は無効となります。
- ・オリジナルトミカ【No. 0 スタンプラリーイベントカー】はお一人様一個までとなります。抽選回数が残っていたとしても、アタリが出次第終了とさせていただきます。
- ・景品は無くなり次第終了となりますが、スタンプラリーは期間中開催いたします。・参加中のケガや事故につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。

【開催期間について】

10月30日(金)~11月8日(日)

・開催時間は各施設の営業時間に準じます。営業時間外、休館日はスタンプの押印ができません。また、最終日11月8日(日)は17:00終了となります。ご了承ください。

【抽選会場について】

東京モーターショー2015会場内「トミカコーナー付近(東京ビッグサイト 西3ホール)」と「ダイバーシティ東京 プラザ(4Fエンタメスペース)」の2ヶ所になります。

・開催時間は月+土(祝日含む) / 10:00-20:00、11月1日(日) / 10:00-18:00、最終日11月8日(日) / 10:00-17:00となります。但し、抽選受付については開催終了時間の30分前までとなります。
 ・第44回東京モーターショー2015会場内は、10月30日(金)に限り12:30開場となります。

〈お問い合わせ先〉わくわくスタンプラリー事務局
 受付時間 平日10:00-17:00

TEL:03-5565-4337

協力

一般社団法人 東京臨海副都心まちづくり協議会

食べ歩き達人たちのオールスターチーム “たべあるキング”とコラボレーション!

グルメキングダム 2015



たべあるキングとは?



美味しい食べ物を求め、日本全国を食べ歩きしてきた「食べ歩き達人」たちが集まり、より多くの人たちへ食の魅力を伝えるために活動を展開しているオールスター集団だ。現在は、各ジャンルに精通した30名ほどのメンバーが在籍し、さまざまなメディアや企業、自治体、官公庁などと手を組んで、食の企画を立ち上げている。

グルメキングダム2015には、そんなたべあるキングたちが厳選した全国のグルメ店がズラリと並ぶ。普段はイベントなどに出不着なようなお店も、たべあるキングが推すなら…と異例の出店を決断。その結果がここに紹介する強力なラインナップなのだ。

一度にこれだけのメニューを楽しめる機会はめったにないので、ぜひ食べ歩いてもらいたい。



フォーリンテプはっしー (オンザライス担当)

お米ソムリエの資格を持ち、肉を中心に白米のおかずを求めて食べ歩き、グルメエンターテイナー。Jリーグや肉フェスなどの大使も務める。



金成 姫 (激辛グルメ担当)

調理師免許を持つ1級フードアナリスト。幼い頃から唐辛子を食べ慣れ、今では年間300食以上の激辛マニア。商品開発やメディアなどで活躍中。



塚田 亮一 (餃子担当)

日本全国の餃子を紹介する餃子専門ブログ「東京餃子通信」の編集長。皮から作る自作の餃子も評判。スローガンは「餃子は完全食」。



本谷 亜紀 (ラーメン担当)

幼少よりラーメンに親しんで育ち、高校時代から食べ歩きを始め、今では年間300杯以上を食しながら講演もこなす女性ラーメン評論家。



Jaffa (ナポリピッツァ担当)

年間400枚を超えるナポリピッツァを食べ歩き、全国のイタリア料理やご当地グルメの店を紹介するブログ「旨い!ナポリピッツァ」が人気。



スイーツ番長 (スイーツ担当)

たべあるキング主宰。テレビ、ラジオ、雑誌などでも活躍するほか、スイーツのプロデュースも行う。日本女子博覧会実行委員会グルメプロデューサー。



はぴい (カレー担当)

カレーに特化した取材執筆をおこなうカレーライター兼ビデオブロガー。ブログ「カレーですよ。」は開設10年で総記事数2000超を誇る。



里井 真由美 (和食担当)

全国デパ地下グルメに詳しくメディア出演多数。特に唐揚げは商品開発歴10年以上。農林水産省食料・農業・農村政策審議会委員としても活動中。

キングが語るお店の魅力

厳選20店舗の中の「格之進」と「PIZZA SALVATORE CUOMO」の2店について、今回のグルメキングダム2015への出店を働きかけた、それぞれの担当キング2名がその魅力を語ってくれた。

「格之進」は、テレビや雑誌など多くのメディアで活躍している「オンザライス担当」のフォーリンテプはっしー。「PIZZA SALVATORE CUOMO」は、アジアで初めてのナポリピッツァ協会ナポリ本部オフィシャルブロガーとして認定された「ナポリピッツァ担当」のJaffaだ。2店ともに、そのこだわりが伝わってくる。

格之進

肉の熟成具合で焼き方も変えるほどのこだわりを持つ名店は、ハンバーグにも一切妥協はない。熟成の香りと、舌に残る奥深い肉の旨みが肉汁と共にじゅわっと広がるハンバーグ。肉に確固たる自信があるからこそ味付けはシンプルなのだ!



サルヴァトーレ クオモ

日本人初のナポリピッツァ世界チャンピオン大西誠氏が薪釜で焼くナポリピッツァはサクッとした縁の部分とモチッとした本体のコントラストが絶妙。モーターショーだけのスペシャルピッツァは食べなきゃ損だ!



他にもある! 東展示棟編

【東1ホール屋外休憩所(車体屋外展示場)】



カルダモン食堂

伝説のキーマドライ ¥700

鶏挽肉100%! カルダモンをはじめとした15種類のスパイスを赤ワインで煮詰め、経出汁でコクを加えた伝説の一品。



豚とん香

台湾まぜそば ¥850

点心飲茶も人気の高い麵屋から、地元グルメの宝庫・名古屋で、今地元の人たちに大人気の新名古屋めし台湾まぜそばが登場。

【東1ホール屋外休憩所(シャトルバス東1のりば)】



仙台牛タン専門店 陣中

厚切り牛タン串 ¥800

仙台名物の牛タンを、イベント会場でも手軽に楽しめる厚切りで串に! 熟練の職人が見極めたジューシーな牛タンをぜひ。



博多からあげ専門店 田中屋

博多からあげ ¥600

九州最大級のフードイベント3連覇の実績を誇る博多からあげ発祥のお店。創業以来継ぎ足しのタレで漬けたんだ“元祖”を。

【東6ホール屋外休憩所(東ゲート隣り)】



プチットノエ/ドミニクドゥーセ

タルトフランベ ¥850 / フレンチフライサンド ¥1,000

「プチットノエ」はタルトフランベ、「ドミニクドゥーセ」はフレンチフライサンドで、本場フランスの味を届けてくれる。



アジアタワン 168 カレッタ汐留

ガイヤーん ¥600

国内最大のタイフェスティバルに毎年出店! 大人気のガイヤーんやグリーンカレーをはじめ、タイ人シェフが腕を振るう本格タイ料理店。

たべあるキング厳選！車で行きたい全国の名店【西展示棟屋外展示場（メイン会場）】

グルメキングダム 2015 のメイン会場に出店する8店舗がこちら。数多くの来場者で賑わう東京モーターショーとのコラボレーションに向けて、各店それぞれが工夫を凝らしたメニューやオリジナルメニューを開発して提供してくれている。

👑 フォーリンデブはっしー 厳選！

格之進

究極の塩ハンバーグ丼
～秋のキノコバター添え ¥1,000

肉フェスでも4連覇を達成した、岩手を代表する肉の名店。今回は肉に塩麹、餡に三陸の塩を使った、「ダブルの塩」で肉本来の旨味を最大化させた、究極の塩ハンバーグ丼を共同開発。最後まで一粒残らず美味しく完食できるはず！



👑 Jaffa 厳選！

PIZZA SALVATORE CUOMO

Pizza Jaffa ¥1,200

サルヴァトーレは、ナポリ世界大会でNo.1受賞歴もある「ナポリピッツァ」を日本に広めたパイオニア。今回は特別にJaffaの好きなモノをトッピングした限定メニューを提供してくれる。ぜひ世界チャンピオンの一枚をお試しあれ！



👑 金成姫 厳選！

中国菜 老四川 飘香 (ピャオシャン)

麻婆豆腐丼 ¥900

本場四川が漂い香る料理で有名な井桁シェフのお店。中でも麻婆の個性溢れる麻婆豆腐がオススメ。現地調達こだわりのスパイスの芳醇な香りと本格的な麻婆豆腐の味を食べやすいよう丼で提供。今回だけの激辛 ver. もあります！



👑 スイーツ番長 厳選！

イタリアンかき氷 シロップ

ティラミスかき氷 ¥700

本場イタリアの2ツ星レストランで修行を積んだシェフが作る、ティラミスやバナナコッタといったドルチェスタイルの「イタリアンかき氷」はここだけ！イベント出店でもクオリティを下げずに表現した、これぞかき氷の進化系。



👑 塚田亮一 厳選！

浜松餃子 浜太郎

浜松餃子 ¥600

餃子の町で有名な浜松餃子専門店にして浜松餃子まつり最優秀グランプリ「餃王座」獲得の名店。品評会金賞受賞豚肉「浜名湖そだち」や国産野菜の厳選具材に特性スープを練り込んでジュシーに仕上げた、これぞ餃子の逸品！



👑 はびい 厳選！

銀座スuis

プレミアムカツカツカレー ¥1,300

創業者は首相官邸や国会記者クラブに料理を提供していた、銀座に70年続く老舗洋食。歴史と背景が違う、戦後日本の洋食の歴史そのもの。カットレットとカレーソースの本物のカツカレーはボリュームと品格が同居する逸品。



👑 本谷亜紀 厳選！

金右衛門

しじみゴールド ¥850

食ベログ3年連続1位 & 東京ラーメンショー杯数1位！今回はオリジナル金醤油にシジミ醤油をブレンドした唯一無二のあっさり濃コクラーメンを開発して参戦。スルッとのごし良い細麺ストレートにじんわり優しいスープでアナタを癒す！



👑 里井真由美 厳選！

職人のからあげ 華鳥

中津からあげ ¥600

から揚げの聖地と言われる大分県中津の人気店。熟成ダレとオリジナルペーストを配合し、子供が食べても辛いと言わない程度のニンニクを利かせた味付けは、冷めても美味しく食べて歩きにも最適！その味を大分ではなく東京で！



※事前の予告なく変更となる場合がございます。予めご了承ください。

他にもある！西展示棟編

※事前の予告なく変更となる場合がございます。予めご了承ください。

【東6ホール屋外休憩所（東ゲート向い）】



メデイトリーナ

アメリカンロングポテト ¥600
ソムリエ推薦。長さ30cmのアメリカンロングポテト。選べる6種のトッピングとホクホクもちもち食感がやみつきに！



エリジスケータリング

ケバブ ¥700
本場トルコで10年以上の修業を積んできたシェフが作る厳選された数種類の肉を使用しているケバブ。まさに本場の味だ。

【4F 屋上展示場】



ワイズマネージメント

アボ豚串 ¥700
美と健康をテーマに開発したオリジナルブランド豚・アボトン。柔らかい食感ととろける脂が堪能できるアボ豚を串焼きで！



ルウジャパン

ウィンナー盛り合わせ ¥600
神宮球場で人気のルウジャパンからは名物ウィンナーの盛り合わせ。たっぷり盛り合わせた厳選ウィンナーはボリューム満点。



博多こうじ屋

博多もつ焼き ¥700
こだわりのオリジナルタレが牛ホルモンに絡む博多もつ焼きはまさに絶品！焼きそばを合わせたもつ焼きそばもこの機会に。



アンドスマイルジャパン

西郷丼 ¥1000 (卵のせ ¥1100)
希少な鹿児島県産茶美豚をたっぷり使用。柔らかく甘みの強い豚肉を、ふくらご飯と温泉卵と一緒に楽しめる至福の一杯。

東京モーターショーと併せて満喫したいサービスがいっぱい!

東京臨海副都心エリアのお得なクーポン情報

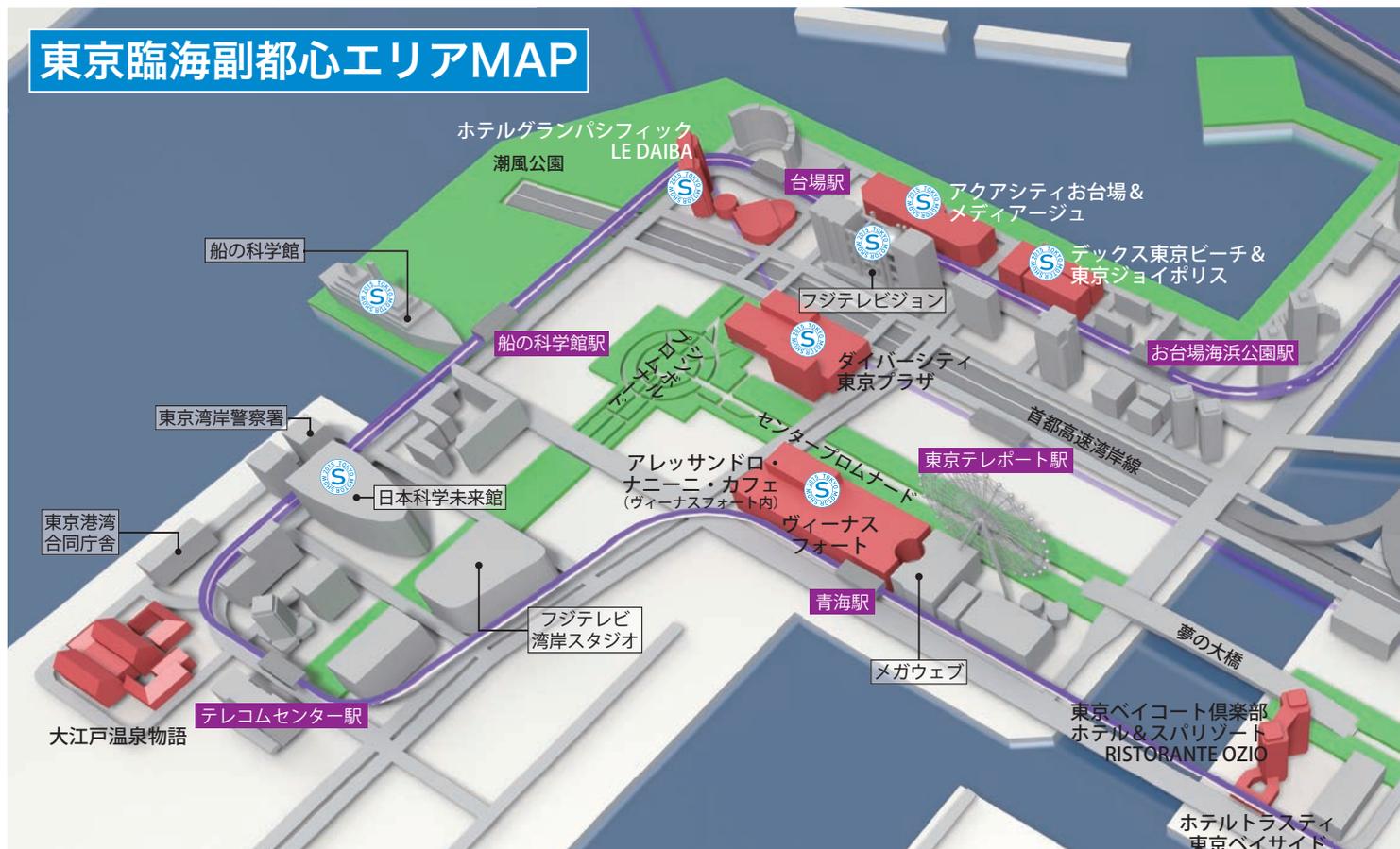
アミューズメントもショッピングが楽しめるエンターテインメントエリア「東京臨海副都心」

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて周辺開発が始まり、東京にとってますます重要な役割を担う東京臨海副都心エリア。1993年のレインボーブリッジ開通、1995年のゆりかもめ開業とその翌年の東京臨海高速鉄道りんかい線

の開業で交通網が確立された。東京モーターショーが開催されている東京ビッグサイト（東京国際展示場）は1996年にオープン以降数多くの商業・宿泊施設、オフィスビルが開業し、今なお発展を続けている。計画的な交通網の整備で、周辺施設への

アクセスも良く、会場からもっとも遠いゆりかもめ線台場駅でもわずか8分。そんな東京臨海副都心エリアの13の施設が東京モーターショーに協賛し、期間限定のサービスを用意して来場者をお待ちしているので、ぜひ足を運んで満喫してほしい。

東京臨海副都心エリアMAP



■サービスをうけるには

このTOKYO MOTOR SHOW NEWSをお店や施設で提示するだけ。当日号に限らず東京モーターショー期間中（～11月8日）ならどの号を提示しても大丈夫。ここに紹介された各施設を1日に何カ所も巡る…という使い方でも大丈夫です。

■「わくわくスタンプラリー」のスタンプ台はここに

このマークのある施設は、103ページ掲載の「わくわくスタンプラリー」のスタンプ台が設置してある場所を示しています。

■TFTビルではパネル展を実施中

東京ビッグサイトの目の前、TFTビル東館2階では、開催期間中の11月8日(日)まで、「東京モーターショー2015パネル展」を実施中です。「東京モーターショーと日本の60年。」の紹介や、第1回からの貴重なポスターの画像等がパネルで展示されています。なお、ポスター展示は、東京ベイ有明ワシントンホテル、ホテルサンルート有明、有明フロンティアビルでも実施しています。



有明客船ターミナル

1 アルポルト東京ビッグサイト店
ワインまたはソフトドリンク1杯をサービス



片岡護シェフプロデュース。西麻布の人気店がビッグサイト会議棟の8階に！ ベイエリアの夜景を眺めながらのディナーに最適です。本誌をご持参のお客様を対象に、ディナータイムご注文時にワインまたはソフトドリンクを1杯サービスいたします。ぜひ一度、本格的イタリアンをご賞味下さい。

営業時間 ディナー 17:00～20:00 (LO19:30)
※上記はモーターショー期間中のみ営業時間です
※貸切パーティ等によりディナー営業日が変更になることがあります。予めお問合せ下さい。
TEL 03-5530-1221

交通手段 東京ビッグサイト内会議棟 8階
(1階エレベーターからお上がりください)



2 東京ベイ有明ワシントンホテルで
ディナータイムのお会計が10% OFF!



東京ビッグサイト真正面に位置する東京ベイ有明ワシントンホテルのレストランで割引サービスが受けられます。1階「ジョージタウン」はステーキ&お寿司など20種以上のメニューが90分食べ放題。2階「チャイナグリル・マダムシェンロン」はニューヨークスタイルで中国料理を楽しめるお店。どちらもディナータイムのお会計時に10% OFF! ショー帰りにぜひご利用ください。

営業時間 ジョージタウン (1階) 17:00～21:30 (最終入店 21:00)
マダムシェンロン (20階) 17:00～22:00 (LO21:30)
※マダムシェンロンの食べ放題プランは適用外となります。

交通手段 ゆりかもめ「国際展示場正門」 駅徒歩約2分
りんかい線「国際展示場」 駅徒歩約2分



3 パナソニックセンター東京
ソフトドリンク1杯プレゼント&入場料OFFも!



パナソニックセンター東京は、快適な生活の提案や発売前の新製品を楽しくご体験いただける施設。理数の魅力とふれあう体感型ミュージアム「リスーピア」やカフェ「E-FEEL」なども併設しています。「E-FEEL」で本誌を提示すると、指定のソフトドリンク1杯プレゼント。リスーピアでは入場料100円OFF! (高校生以下は無料) ぜひご利用ください。最新技術で五輪を体験できる期間限定展示場もオープン。

営業時間 10:00～18:00 (リスーピア最終入場は 17:00)
月曜休館
※リスーピア混雑時は順次入場でお待ち頂く場合がございます。

交通手段 ゆりかもめ「有明」 駅徒歩約3分
りんかい線「国際展示場」 駅徒歩約2分



4 ホテルサンルート有明「創業Patio」
ランチ・ディナーの飲食代10% OFF!



東京ビッグサイトからもほど近い好立地にあるホテルサンルート有明。そのなかで真心を込めたサービスと体に優しい和洋創作料理、そして横浜の工場から直送される手造り地ビールを自慢としているのがレストラン「創業Patio」。本誌を提示するとモーターショー期間中、ランチ・ディナータイムの飲食代が10%オフ! ランチはビュッフェスタイルなので、きっと、あなたのお腹も大満足です。

営業時間 朝食 6:00～10:30 (LO10:00)
ランチ 11:30～14:30 (LO14:00)
ディナー 17:00～22:30 (LO21:30)

交通手段 ゆりかもめ「国際展示場正門」 駅徒歩約3分
りんかい線「国際展示場」 駅徒歩約3分



5 RISTORANTE OZIOで使える割引&サービス!
(東京ベイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート内)



完全会員制ホテル「東京ベイコート倶楽部」内にあるイタリアンレストラン「RISTORANTE OZIO」で本誌を見せると①ランチコース(2800円/4800円/6700円)30% OFF、②ディナーコース(6500円/9500円/14500円)50% OFF、③ディナーを5名様以上でご利用の場合1ボトルサービスの割引&サービスが受けられます。有効期限は2015年10月29日(木)～12月10日(木)まで。ご利用の際には事前にご予約をお願いします。

営業時間 朝 7:00～10:30 (LO) 昼 11:30～14:00 (LO、土日は14:30)
デザートビュッフェ 15:00～17:00 (平日のみ)
夜 17:30～21:30 (LO) ※要予約 (03-6700-0210)

交通手段 ゆりかもめ「国際展示場正門」 駅徒歩約6分
りんかい線「国際展示場」 駅徒歩約10分

※コース価格に別途消費税、サービス料10%を頂戴いたします。
※特典の1ボトルは銘柄を指定させていただきます。



6 ホテルトラスティ東京ベイサイド
「ラウンジクオーレ」のランチ10% OFF!

「東京ベイコート倶楽部」と同じリゾートトラスト(株)が運営する「ホテルトラスティ東京ベイサイド」の「ラウンジクオーレ」は、広い空間でゆったりとくつろげ、また、スタンディングスタイルのカウンターもある大人なお店。それでいてランチは980円〜とリーズナブルな価格なので近隣住民の方もよく訪れる。本誌をご提示いただければそのランチを10% OFFでご利用いただけます。

営業時間 ランチタイム 11:30 ~ 14:00
ディナータイム 17:00 ~ 23:00
(22:00 フードLO、22:30 ドリンクLO)

交通手段 ゆりかもめ「国際展示場正門」 駅徒歩約6分
りんかい線「国際展示場」 駅徒歩約10分



7 ヴィーナスフォート
「グルメクーポン」プレゼント



17〜18世紀の南フランスや北イタリアのような魅力的な街並みの中に多くのショップやレストランが並ぶハイブリッド型ショッピングモール、ヴィーナスフォート。その2階にあるインフォメーションで本誌を提示すると、カフェ&レストランで使える「グルメクーポン」がもらえます(受付時間11:00〜21:00)。3階のアウトレットもオススメです! ぜひご利用ください。

営業時間 ショップ 11:00 ~ 21:00
レストラン 11:00 ~ 23:00 (LO22:00)

交通手段 ゆりかもめ「青海」 駅直結
りんかい線「東京テレポート」 駅徒歩3分



8 モデルカーショップ グリースGPSで10% OFF!
アレックスドロ・ナニーニ・カフェは飲食20% OFF!

ヴィーナスフォート1F奥にあり、1/43や1/18スケールを中心にさまざまなモデルを陳列・販売するミニカーショップ「グリースGPS」。期間中は書籍・セール品を除き全品10% OFFでご提供。そこに併設され、クルマの写真やアイテムに囲まれた欧風な店内でくつろげるイタリアンカフェが「アレックスドロ・ナニーニ・カフェ」。イタリアンパルスタイルのパニーニやティラミスなど多彩なメニューが揃います。期間中は飲食20% OFF!

営業時間 11:00 ~ 21:00(LO20:00)

交通手段 ゆりかもめ「青海」 駅直結
りんかい線「東京テレポート」 駅徒歩3分



9 大江戸温泉物語
入館料割引サービス実施!

日本最大級の温泉テーマパーク「大江戸温泉物語」。地下1400mから汲み上げられたナトリウム・塩化物強塩温泉が、神経痛、筋肉痛、関節痛、疲労回復、冷え性などに効きます。その大江戸温泉物語から、一般公開日期間中の10月30日〜11月8日は、大人2,050円(ナイター 1,550円) 小人500円特別料金でご利用できます。1日の終わりに疲れを温泉でゆっくりと癒やしてみてください。

営業時間 11:00 ~ 翌朝 9:00 (最終入館受付 7:00)
※深夜割増(午前 2:00 ~)2000円

交通手段 ゆりかもめ「テレコムセンター」 駅徒歩2分



10 ダイバーシティ東京 プラザが
「お得クーポン」をプレゼント!



建物を背に屹立する実物大ガンダム立像(全高18m)が目を引くダイバーシティ東京 プラザは、アパレルショップ、エンターテインメント施設、レストランなどの飲食店が多く入った複合商業施設。3階の総合案内所に本誌を持参すると、館内のショップやレストランなどで、お得な特典やサービスが受けられる「お得クーポン」がプレゼントされます(受付時間10:00〜21:00)。この機会にぜひ!

営業時間 ショッピング・サービス 10:00 ~ 21:00
フードコート 10:00 ~ 22:00
レストラン 11:00 ~ 23:00 ※店舗により異なります

交通手段 ゆりかもめ「台場」 駅徒歩5分
りんかい線「東京テレポート」 駅徒歩3分



©創通・サンライズ

11 ホテル グランパシフィック LE DAIBA
お食事ご利用10% OFF!



「Vacance et Elegancé(ヴァカンス & エレガンス)」をコンセプトに、フランス風のエレガントを感じさせるホテルグランパシフィック LE DAIBA。最上階の地上30階にあるダイニング&バー「スターロード」で本誌をご提示いただくと、お食事ご利用10% OFF(8名様まで)という特典が受けられます。レインボーブリッジやライトアップされた東京タワーを見ながら優雅なディナーをお楽しみください。

営業時間 ディナータイム 17:30 ~ 21:00

交通手段 ゆりかもめ「台場」 駅直結
りんかい線「東京テレポート」 駅徒歩10分



12 アクアシティお台場
館内施設で使えるクーポンプレゼント



お台場海浜公園に隣接し、自由の女神とレインボーブリッジ越しに都心を一望できる絶好のロケーションにある大型ショッピングセンター「アクアシティお台場」。モーターショー期間中に3階のインフォメーションで、入場券もしくは本誌を提示すれば、館内66店舗で使える「ナイスクーポン」がプレゼントされます(引き換え時間11:00〜21:00)。レインボーブリッジや東京タワーを見ながら、エリア最大級の飲食店街で優雅なディナーをお楽しみください。

営業時間 物販・サービス・フードコート 11:00 ~ 21:00
飲食 11:00 ~ 23:00
※一部店舗により異なります

交通手段 ゆりかもめ「台場」 駅徒歩1分
りんかい線「東京テレポート」 駅徒歩6分



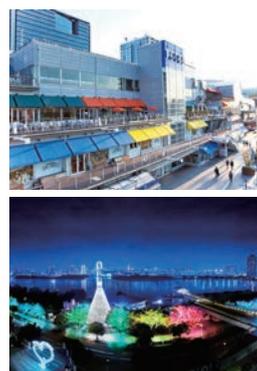
13 デックス東京ビーチからは
「DECKS プレミアムカード」プレゼント!



東京ジョイポリスやレゴランド・ディスカバリー・センター 東京、マダム・タッソー東京などエンタメゾーンが充実。またレインボーブリッジや東京タワーが目通りのシーサイドレストランでのお食事やショッピングなど、1日楽しめる要素が集まった複合施設。シーサイドモール3階のインフォメーションカウンターに本誌をご提示いただくと、館内約60店舗でお得な特典が受けられる「DECKS プレミアムカード」がプレゼントされます。

営業時間 11:00 ~ 21:00
飲食店 11:00 ~ 23:00 (5F) / 11:00 ~ 24:00 (6F)

交通手段 ゆりかもめ「台場」 駅徒歩2分
りんかい線「東京テレポート」 駅徒歩5分





その一瞬を、守り抜く。

株式会社ブリヂストン

【お客様相談室】フリーダイヤル0120-39-2936
受付時間：月～金（祝日・当社指定休日は除く）9:00～17:00
月に一度は、空気圧の点検を！
www.bridgestone.co.jp

BRIDGESTONE
あなたと、つぎの景色へ



ちがいは、
密着力。

ロング
ライフ
スタッドレスタイプ

**WINTER
MAXX**



月に一度は空気圧の点検を！ ☎0120-39-2788
<http://tyre.dunlop.co.jp/> ダンロップ 検索

DUNLOP

Get! →

会場内の
Tポイント
スタンドで

5ポイント
Get!
期間中先着
50,000名



T-POINT

さらにWチャンス!! 期間中抽選で
100名様
5,000ポイント当たる!
詳しくはコチラ [<http://tsite.jp/tms>]

TAKARA TOMY

<出展内容>
・モーターショー開催記念トミカ販売 ・サンダーバードトミカ販売 ・ディズニーモーターズ先行販売等

ドリフトスピリッツ™
リアルドライブ

RD
REALDRIVE™
スポーツ走行体感マシン / リアルドライブ™

BANDAI NAMCO
Entertainment

<http://tms.drspi.bngames.net/>

©BANDAI NAMCO Entertainment Inc.

あなたに、ベスト・ウェイ。 **NEXCO**



Asahi
アサヒビール

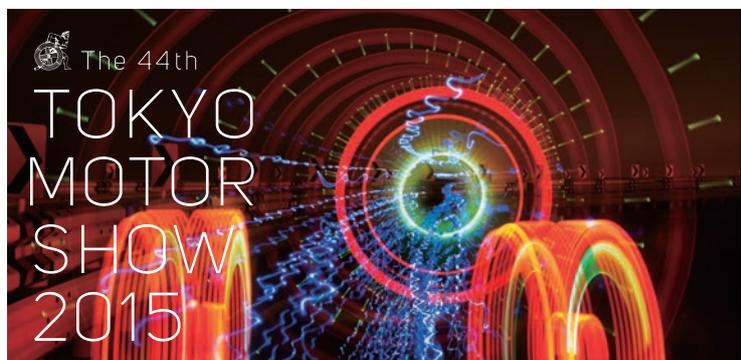
最もビールに
近い味を目指した
コクとキレ!
アサヒドライゼロ

アルコール
ゼロ!
カロリー
ゼロ!※
糖質
ゼロ!※

アサヒビールは、飲酒運転根絶に取り組んでいます。

ノンアルコールのんだあとはいりサイクル。※栄養表示基準による
◎この商品は20歳以上の方の飲用を想定して開発しました。

アサヒビール株式会社



□プレスセンター協力

brother
at your side

brother

Canon

Canon

Nikon
At the heart of the image

Nikon

Dominique Doucet

ドミニクドゥーセ

LE PETIT TONNEAU
ル・プチ・トノー

ル・プチ・トノー



THE NEW MINI CLUBMAN.



BMW EFFICIENT DYNAMICS.
LESS EMISSIONS. MORE DRIVING PLEASURE.

The all-new
BMW 7 Series



www.bmw.co.jp

駆けぬげる喜び



DRIVING LUXURY.

最も革新的なラグジュアリー・セダン。
ニューBMW 7シリーズ、誕生。

ラグジュアリーを駆ること。そして、ラグジュアリーという概念の基準を引き上げること。それこそがBMWが考える“Driving Luxury”。つまり、至高の一台としての在り方を問い直し、より革新的な存在として生まれ変わったニューBMW 7シリーズなのです。その贅を極めたフラッグシップ・モデルには、BMWの先進テクノロジーの粋が集結しています。例えば、手の動きを感知することで様々な機能の操作が可能になる世界初のジェスチャー・コントロール。車載カメラで前方の道路状況を常に把握し、快適な乗り心地を叶えるインテリジェントなサスペンション・システム。マッサージ機能付のシートに身を任せ、上質なマテリアルを惜しげもなく採用したインテリアを堪能すれば、新たなラグジュアリーを体感できます。運転席でステアリング・ホイールを握る時も、リヤ・シートでラウンジ気分を満喫する時も、こみ上げてくるのは、かつてない喜び。革新技術が実現した、まったく新しいドライビング体験の幕開けです。

ニューBMW 7シリーズは1,217万円から。

東6ホールのBMWブースで展示中。

※表示の価格は、税金(消費税を除く)、保険料、登録の諸費用、リサイクル料金、付属品価格等含まないメーカー希望小売価格(消費税込)です。販売価格はBMW正規ディーラーで各自定めておりますのでお問い合わせください。価格は予告なく変更場合がございます。
※写真の車は、BMW 750Li*ボディカラー:ソフィスト・グレー・ブリリアント・エフェクト。一部日本仕様とは異なります。またオプション装備 20インチ Vスポーク・スタイルック628 アロイ・ホイール 343,000円(消費税込)等は表示の価格に含まれません。※印刷の都合上、実際の色合いと異なる場合がございます。※記載の内容は2015年10月7日現在のものです。*1:導入時期につきましては、BMW正規ディーラーまでお問い合わせください。

【お問い合わせ】BMW カスタマー・インタラクション・センター 0120-269-437 平日9:00~19:00、土日祝9:00~18:00、年中無休。



SUBARU
Confidence in Motion

「スバルらしさ」とは何か。
「理想のクルマ」とは何か。
私たちは6つのチカラで、
その答を見つけていこうと思う。

#1 DRIVING 「思いのままに走る喜び」

#2 SAFETY 「大切なものを守る使命」

#3 CHALLENGE 「新しい自分との出会い」

#4 QUALITY LIFE 「より豊かな生き方」

#5 PARTNERSHIP 「分かち合える仲間」

#6 SMILE 「満ち足りる瞬間」



クルマは、人生を乗せるものだから。

New SUBARU Story

【SUBARUお客様センター】SUBARUコール0120-052215 受付時間：9:00～17:00(平日)、土日祝は9:00～12:00、13:00～17:00 ※平日の12:00～13:00及び土日祝日は各種インフォメーションサービスのみとなります。
オフィシャルサイトはこちら www.subaru.jp スマートフォンからもアクセス <http://sp.subaru.jp/>

安心と愉しさを。SUBARU